Pioneer sound.vision.soul

DVDプレーヤー

DVJ-1000

取扱説明書

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
特に、**「安全上のご注意」**は必ずお読みください。
なお、「取扱説明書」は「保証書」、「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

目　次

ご使用の前に

安全上のご注意 3
使用上のご注意 5
オペレーションガイド 6
本機で再生できるディスクについて 8
各部の名称と働き 11
- 操作パネル 11
- 表示部 13
- ジョグダイヤル表示部 14
- 後面パネル 14
- メインビデオ出力およびプレビュービデオ出力 15

接続のしかた 16
- 1.パイオニアのDJミキサー(別売り)との接続（音声出力およびコントロール端子の接続） 16
- 2.リレープレイをする場合のコントロールコードの接続 17
- 3.ステレオアンプとの接続（DJミキサーを使わない場合） 17
- 4.デジタル入力端子付き機器との接続 17
- 5.テレビモニタとの接続（コンポジットビデオ／Sビデオ） 18
- 6.ビデオミキサーとの接続 19
- 7.電源コードの接続 19

準備

セットアップ 20
- ビデオ出力のTV方式設定 20
- 設定操作方法 20
- セットアップナビゲーターによる設定 20
- 初期設定画面の項目 22
- すべての設定を出荷時に戻す 23
- 初期設定画面の操作方法 23
- 詳細な設定をする 24
- ドルビーデジタル音声を調節する 24
- デジタル出力の設定をする 24
- [音声2]の設定をする 25
- [映像1]の設定をする 26
- 画質を調整する 27
- [映像2]の設定をする 28
- [言語]の設定をする 29
- 視聴制限をする（パレンタルロック） 32

基本操作

ディスクの入れ方・出し方 34
基本操作 35
- 再生の開始 35
- オートキュー機能 36
- 再生を停止するには 36
- ディスクを取り出すには 36
- 再生を一時停止するには 36
- 再生中に音声／字幕を切り換える（DVDのみ） 36
- 映像のアングルを切り換える（DVDのみ） 37
- 早送り／早戻しをするには 37
- スキップするには 38
- タイトルサーチするには（DVDのみ） 38
- フォルダーサーチするには（MP3のみ） 38
- キューポイントの設定 39
- 再生スピードを変えるには 40
- マスターテンポをかける 40
- ジョグダイヤルの機能 40
- ジョグフィーリング調整機能 41
- WAVE表示について 41
- TEXT表示について 41
- 違う曲どうしをミックスする（つなぎ） 41

応用操作

応用操作 42
- スクラッチプレイをするには 42
- ハイパージョグモード 42
- スピンをするには 42
- ブレーキをするには 42
- ホットキューをするには 42
- ループ再生をするには 43
- バック＆フォースループモード 43
- リバース再生をするには 44
- フェーダースタートプレイについて 44
- 2台のプレーヤーを使ったリレープレイ 44
- MP3ナビゲーターを使って選曲する（MP3のみ） 45
- ガイド表示を見るには 45

メモリーカードを使った操作 46
- メモリーカードに記憶するには 46
- メモリーカードに記憶した内容を呼び出すには 47
- メモリーカードに記憶した内容を消去するには 49
- メモリーカードを複製するには 49

その他

故障かな？と思ったら 50
- エラー表示 52

ドットマトリックス部ガイド表示一覧 53
仕　様 54
保証とアフターサービスについて 55
ご相談窓口・修理窓口のご案内 .... 裏表紙

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。

⃠記号は禁止(やってはいけないこと)を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

⚠ 警 告

〔異常時の処置〕

- 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

- 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

〔設置〕

- 付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱により火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気づかず、重い物をのせてしまうことがあります。

- 放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、またラックに入れる時はすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
  - あおむけや横倒し、逆さまにする。
  - 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
  - じゅうたんやふとんの上に置く。
  - テーブルクロスなどをかける。

〔使用環境〕

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

- 風呂場・シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 表示された電源電圧(交流100ボルト 50 Hz/60 Hz)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。

〔使用方法〕

- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

- ぬれた手で(電源)プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

- 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。

- 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠注 意

〔設置〕

● 電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ(遮断装置)を抜く必要があります。万一の事故に備え、本機を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグ(遮断装置)に容易に手が届くように設置してください。

● 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

● 電源プラグは、根元まで差し込んでも緩みがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

● ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

● 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合はそれぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

● 電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

● 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

● 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

〔使用方法〕

● ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。

● レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

● 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

● 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。

● お子様がディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。

● ヘッドホンをご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

● 機器本体の電源スイッチを切っても、電源の供給は停止しません。電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ(遮断装置)を抜く必要があります。旅行などで長期間、この製品をご使用にならないときには、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

〔保守・点検〕

● 5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

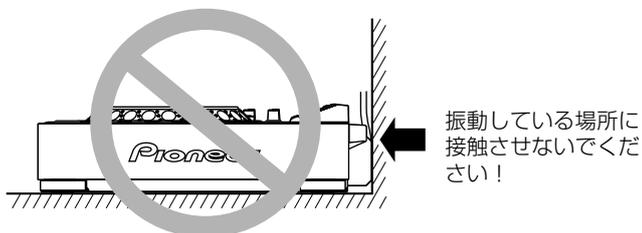
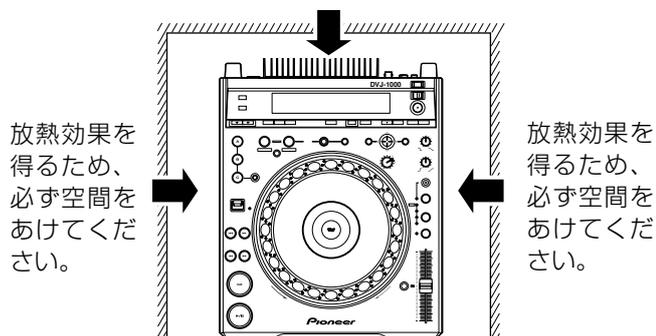
● お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

使用上のご注意

設置場所について

- 熱を発生するアンプなどの上に直接置いたり、スポットライト等の近くで長時間使用すると、ディスクや本体に悪い影響を与えますので、おやめください。
- チューナーやテレビから離して設置してください。近くに置いた場合は、雑音や映像の乱れが生じることがあります。なお、雑音や映像の乱れは、室内アンテナをご使用の場合に起こりやすく、このようなときは、屋外アンテナを使用するか、本機の電源を切ってください。
- スピーカーの近くなど、大音量の環境で使用すると音飛びを生じることがあります。このような場合にはスピーカーから離すか、スピーカーの音量を下げてください。
- 本機は水平で堅牢な床のある場所に設置してください。
  また、下記のようなことに注意して設置してください。

プレイする状態ではパネルやビデオ・オーディオコード、電源コードが振動している場所に触れないように設置してください。振動が製品の脚部以外から伝わると、音飛びの原因となる場合があります。キャリングケースなどに収納して使用する場合に注意してください。

放熱効果を得るため、必ず空間をあけてください。

放熱効果を得るため、必ず空間をあけてください。

移動について

■再生中は本機を絶対に動かさない

再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。
ディスクを傷つける恐れがあります。

■本機を移動する場合

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出し、電源を切ってください。
ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。また、移動中に本機が熱を受けたり、水などがかからないようにしてください。

キャリングケースについて

ジョグダイヤル天面にはスイッチが内蔵されています。
キャリングケースに収納する時に、ジョグダイヤルに力が加わらないようにしてください。

結露について

本機を冷え切った状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりしますと、動作部に水滴が生じ (結露) 、本機の性能を十分に発揮できなくなることがあります。
このような場合には本機の電源コードを抜いて1～2時間放置するか、徐々に室温を上げてから使用してください。

製品のお手入れについて

通常は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は水で5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞ったあと、汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
お手入れの際は、差し込みプラグをコンセントから抜いて行ってください。

レンズクリーナーについて

ピックアップレンズは通常汚れるものではありませんが、ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときは「**保証とアフターサービスについて**」(☞P.55)をお読みのうえ、修理をご依頼ください。なお、市販されているレンズクリーナーは、レンズを破損する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

著作物等に関するDVJ－1000の正当な使用方法

弊社及び弊社の取扱代理店は、お客様によるDVJ-1000のご使用に関して何らの責任も負いません。お客様が、DVJ-1000にて、他者が権利を保有する映像・音楽等の素材（以下著作物といいます）をご利用されるにあたっては、お客様の責任において、必要な全ての許諾並びに同意（複製権、翻案権、上映・演奏権、実演家の権利等）を得る必要があります。上記には、著作物の上映・演奏に関する権利の管理団体からの許諾や、その他の権利者からの同意を含むものとします。

オペレーションガイド

本機はディスコ・クラブでの使用に求められている機能と操作性をCD/DVDで実現しました。DJ用アナログプレーヤー以上の操作性/音質/機能を備えたDJ/VJ向けDVDプレーヤーです。

JOG DIAL

アナログターンテーブルを超える操作感覚を実現する直径206 mmの大型ダイヤル

● PITCH BEND
ジョグダイヤルを回転する方向とスピードに比例して再生テンポが変化します。

● SCRATCH PLAY
VINYLモード時にジョグダイヤルの天面を押すと再生が停止し、ジョグダイヤルを回転する方向とスピードに応じて再生します。また、ジョグダイヤルへのタッチ/リリース時の立ち上がりを調整することができ、新しいDJテクニックを可能にします。

● FRAME SEARCH
ポーズ中にジョグダイヤルを回転すると、フレーム(1/75秒)単位でポーズ位置を移動できます。

● SUPER FAST SEARCH
マニュアルサーチボタン、トラックサーチボタンまたはタイトルサーチボタンを押しながらジョグダイヤルを回転すると、通常のサーチやトラックサーチおよびタイトル/チャプターサーチよりも速いサーチができます。

● HYPER JOG MODE
VINYLモード時にジョグダイヤルを回したとき、回転に応じた音声/映像の変化量が4倍になります。通常モードと使い分けることによりパフォーマンスの幅が広がります。

JOG ADJUST

ジョグダイヤルの回転時の負荷を調整できます。

ON JOG DISPLAY

ジョグダイヤル中央部に、ディスクの動作状態の表示、キューポイントの位置表示、音声/映像メモリー状態表示、ジョグタッチ検出表示、VINYLモード表示などを行います。

WAVE DISPLAY

アナログレコードならばレコード面の溝を見て曲のブレイクを探し、ミックスポイントやエンドポイントに使用していたように、曲のブレイク部分を先行して表示しますので、ブレイクポイントを予測して、操作できます。

CUE/LOOP MEMORY

本機はディスクごとのキューポイントやループポイントを、SDメモリーカードや、マルチメディアカード(MMC)に記憶でき、ディスクに合わせて呼び出すことができます。

HOT CUE

あらかじめ3つまでのホットキューポイント(A、B、C)を登録しておくことにより、瞬時にそのポイントから再生できます。ホットキューポイントはキューポイントだけでなく、ループポイントも登録することができます。

REVERSE PLAY

ディレクション切換スイッチを手前(REV位置)にすると逆方向に再生します。

TEMPO CONTROL

曲のスピードを自由に調節できる長さ100 mmの高性能スライダー
0.02 %単位(±6 %レンジ)のデジタル表示を利用して、テンポ合わせがより正確かつ簡単にできます。

● TEMPO CONTROL RANGE
最大可変範囲が±6 %、±10 %、±16 %、WIDEの4段階に設定できます。

● TEMPO CONTROL RESET
スライダーの位置にかかわらずテンポを0 %にすることができます。

● MASTER TEMPO
曲のスピードを変えても音程を保つことができます。

CUE

● BACK CUE
キューポイントをメモリーして音出ししたあとキューボタンを押せばキューポイントに戻り、再度そこからのスタートが可能です。

● AUTO CUE
曲頭の無音部分を飛ばして、音の出る直前の位置で自動的にスタンバイし、プレイボタンで曲は瞬時にスタートします。

● CUE POINT SAMPLER
メモリーしたキューポイントから、ワンタッチ演奏が可能です。頭出ししたいポイントの確認やサンプラーとしての使用に便利です。

REAL TIME SEAMLESS LOOP

ループの設定・解除が簡単にできます。曲をプレイしながら、ここだと思ったときにすぐループを設定できます。また、曲の終了間際にループを組んで曲を終わらせないこともできます。さらに、ループイン・アウトポイントの修正がワンタッチで行えるADJUSTモードを追加し、ループ機能が使いやすくなりました。

RELOOP

一度設定したループに何回でも戻ることが可能
ループプレイの解除後にリ・ループボタンを押すと、設定してあるループに戻ってループプレイを行います。リズムに合わせてオン・オフを使いこなせば、さまざまな可能性が広がります。

4-BEAT LOOP

4-BEAT/ONE-TRACKループボタンを押すと、押したポイントをループインポイントとし、自動的に4ビート後をループアウトに設定してループ動作を行います。

ONE-TRACK LOOP

4-BEAT/ONE-TRACKループボタンを1秒以上押すと、チャプターループまたはトラックループを行います。

BACK&FORTH LOOP

バック＆フォースループモードはループインポイントからループアウトポイントまでフォワード再生後、ループアウトポイントからループインポイントまでリバース再生を繰り返すプレイ方式です。

PLAYING ADDRESS

アナログレコードならば針の位置でわかる曲の進行状態を、瞬間的に把握できるようにバーグラフで視覚的に表示します。その長さで現在位置がすぐわかり、さらに点滅することにより曲が終わる前に警告します。

FADER START

パイオニアのDJミキサー(別売)と接続して、ミキサーのフェーダー操作によりフェーダースタートプレイやバックキューが行えます。

MULTI READ

CD-R／CD-RWディスク（音楽CDフォーマットまたはMP3で記録）、DVD-R／DVD-RWディスク（ビデオフォーマットまたはMP3で記録）の再生も可能です。ただし、本機はDJ操作を可能にするためデータの高速読み出しを行っている特性上、ディスクの特性、レコーダー側の記録特性、ディスクの汚れ、キズなどにより正しく再生できない場合があります。

MP3 DJ PLAY

CDまたはDVDに収録されたMP3ファイルをDJ機能を使って再生できます。

PREVIEW MONITOR OUTPUT

映像出力画面に操作情報をオーバーレイして出力する補助映像出力で、DJ操作を視覚的にサポートします。DVD使用時はキューポイント、ループポイント、ホットキューポイントのサムネイル画面を表示し、インタラクティブなDJ操作が可能となります。

LEGATO PRO

ディスク（DVD、CD）のフォーマットにより失われた音声情報をアップサンプリング（DVD：48 kHz →192 kHz、CD：44.1 kHz →176.4 kHz）することで再現するデジタルフィルターを搭載しています。

HI-BIT

音声データのビット長を拡張（伸張）する機能です。16 bitまたは20 bitデータを24 bitに変換することにより、微小信号において滑らかで繊細な音声を楽しむことができます。

DIGITAL AUDIO OUT

96 kHz 24 bitのデジタルオーディオデータが、ノーマルモードだけでなくDJモードでも出力可能です。

【DJモードでのDVD再生について】

DJモードでは、各種DJ操作に対応するため、NORMALモードでのSCAN動作のような特殊な再生制御を行っています。このため、NORMALモードでの通常再生時に可能な動作が、DJモードでは制限を受ける、もしくは利用できない場合があります。DVDの全機能を利用する場合にはNORMALモードでご使用ください。

DJモードで制限を受ける、もしくは利用できない内容

- サブピクチャの再生ができません。
  （字幕、ボタン等の表示ができません）
- 埋め込みコマンドの実行ができません。
  （インタラクティブなコンテンツにおいて、NORMALモードと同じ動作をしない場合があります）
- タイトルの途中までしか再生できない場合があります。
- タイトルの一部が飛ばされる場合があります。
- 音声切り換えの際、再生が一旦停止します。
- アングル切り換えの際、再生が一旦停止します。
- パンスキャン表示ができません。
- タイトルそのものがDJ操作できない場合があります。その場合DJ操作は禁止され、NORMALモードと同じ動作になります。

本機で再生できるディスクについて

本機で再生できるディスクの種類

- 以下のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

注1） DVD-Rディスクの再生について
本機はDVDビデオフォーマットまたはMP3で記録されたDVD-Rディスクを再生することができます。

注2） DVD-RWディスクの再生について
- 本機はDVDビデオフォーマットまたはMP3で記録されたDVD-RWディスクを再生することができます。
- DVDレコーダーで編集した箇所を再生すると、そのつなぎ目で一瞬画面が静止画になることがあります。
- DVDレコーダーで録画、または編集したディスクを再生すると編集位置が多少ずれることがあります。

※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

注3） CD-TEXT表示について
表示できる文字数は、ディスクタイトルで72文字まで、トラックタイトルで48文字までです。15文字以上のときはスクロール表示になります。アルファベット、数字および一部の記号のみ表示可能です。

注4） CD-R/CD-RWディスクの再生について
本機は音楽CDフォーマットまたはMP3で記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。
※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

8 cm CDには、必ず8 cm CDアダプターを取り付けてください(☞P.34)。

> **本機は8 cm DVDの再生はできません。**
> **CD用の8 cmアダプターは絶対に使用しないでください。**
> **回転中にアダプターが外れてディスクや本機を破損する恐れがあります。**

DVD はDVDフォーマットライセンシング(株)の商標です。

■ 本機で再生できないディスクの種類

- リージョンナンバーが「2」、「ALL」以外のDVDビデオ
- VRフォーマットで記録されたDVD-R/DVD-RW
- DVDオーディオ
- MP3ファイルがないDVD-ROM/DVD-R/DVD-RW
- DVD-RAM
- ビデオCD
- MP3ファイルがないCD-ROM/CD-R/CD-RW
- フォトCD
- DTS-CDなど

ご注意

- レコーダー、またはパソコンで記録したDVD-R/DVD-RW、およびCD-R/CD-RWディスクを再生できないことがあります（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など）。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください）。
- 本機はビデオフォーマットで記録されたDVD-R/DVD-RWディスクで、ファイナライズされていないディスクの再生はできません。
- 本機はVRフォーマットで記録されたDVD-R/DVD-RWディスクの再生はできません。
- 本機はCD-R/CD-RWディスクの未ファイナライズディスク（パーシャリーディスク）の再生はできません。
- 詳しいDVD-R/DVD-RW、およびCD-R/CD-RWディスクの取り扱いについては、ディスクケースなどに記載されている使用上の注意をご覧ください。

■ コピーコントロールCDについて

当製品は音楽CD規格に準拠して設計されています。
CD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

■「DualDisc」の再生について

「DualDisc」は、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオが、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
DVD面ではない、オーディオ面は、一般的なCDの物理的規格に準拠していないために、再生できないことがあります。
「DualDisc」のDVDの面は再生可能です。
ただし、DVD-Audioは再生できません。
なお、「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

■ DVD-R/DVD-RW、CD-R/CD-RWディスクについて

DVD-R/DVD-RW、CD-R/CD-RWディスクは、長時間のポーズ（もしくはキュースタンバイ）状態を続けると、ディスクの性質上その場所が再生しづらくなる場合があります。また、ループ機能を使用して特定の場所を極端に繰り返し再生した場合も同様の症状になる場合があります。
大切なディスクを使用される場合は、バックアップディスクの作成をお勧めします。

DVDに表示されているマークについて

DVDのディスクレーベル、またはパッケージには以下のようなマークが表示されています。

マーク	意　味
2	記録されている音声の数
2	記録されている字幕言語の数
3	記録されているアングル数
16 : 9 LB	記録されている映像のアスペクト比
2　ALL	再生可能な地域番号（リージョンナンバー）を表します。 本機は地域番号「2」を含むか「ALL」と表示されたディスクを再生できます。

DVDの操作制限について

DVDでは、ディスク制作者の意図により、操作方法を変更したり、特定の操作を禁止しているものがあります。このためディスクによって操作方法が異なったり、特定の操作ができないことがあります。本機ではディスクによって禁止されている操作をしたときは画面に「ディスクによる禁止」マーク（ ）を表示します。また、メニューや再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、一部の操作ができないことがあります。このような場合、本機では画面に「プレーヤーによる禁止」マーク（ ）を表示します。

著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 本機には、マクロビジョンコーポレーションおよび他の権利保有者が所有する合衆国特許および知的所有権によって保護された、著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許可が必要であり、同社の許可がない限りは一般家庭およびそれに類似する限定した場所での視聴に制限されています。解析や改造は禁止されていますので行わないでください。

MP3再生について

MP3再生を行うためには、下記フォーマットに従っていることが必要です。

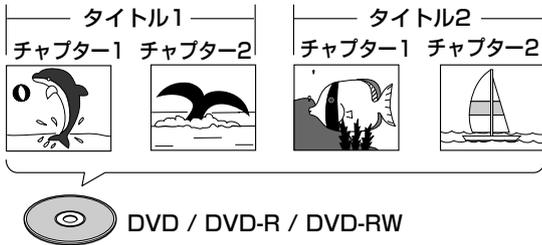
ＭＰ３ フォーマット	MPEG-1	Audio Layer-3 のサンプリング周波数 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、 ビットレート 32 Kbps ～ 320 Kbps に対応しています。
	MPEG-2	Audio Layer-3 のサンプリング周波数 16 kHz、22.05 kHz、24 kHz、 ビットレート 16 Kbps（ステレオ）～ 160 Kbps に対応しています。
	ID3 タグ	ID3 Ver 1.0/1.1/2.2/2.3/2.4 に対応しています。 タイトル、アーティスト、アルバム名を表示します。
Disc フォーマット	ファイル拡張子	.mp3、.MP3、.mP3、.Mp3
	フォルダー階層	最大８階層 ８階層を超えるフォルダーのファイルは再生できません。
	最大フォルダー数	99（フォルダー 99+ ルート１）
	最大ファイル数	999（1 フォルダーにつき）
	CD-R/CD-RW 記録方式	ISO9660 ファイルシステムに従って記録してください。 ディスクアットワンスまたはトラックアットワンスのみ対応しています。 パケットライトは対応していません。
	DVD-R/DVD-RW 記録方式	ISO9660 ファイルシステムに従って記録してください。 マルチボーダー記録は対応していません。

※ 本機にはファイル名やID3タグによる再生順のソート機能はありません。ディスクに記録された順番で再生します。
※ CDまたはDVDに記録された、MP3ファイルを再生します。
　SDメモリーカード、マルチメディアカード（MMC）に記録された、MP3ファイルは再生できません。
※ フォルダー数が多くなるほど、起動時間は遅くなります。

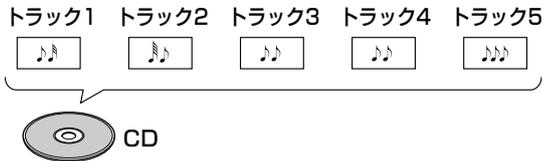
ディスクの構成について

DVD

DVDビデオ、DVD-RまたはDVD-RWではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています。また、ディスクによってはメニュー画面を持つものがあります。メニュー画面はどのタイトルにも属しません。映画などではふつう1つの映画が1つのタイトルに対応しています。カラオケディスクでは1曲が1タイトルとなっています。ただし、このような区切りになっていないディスクもありますので、サーチ機能などを使用する際はご注意ください。

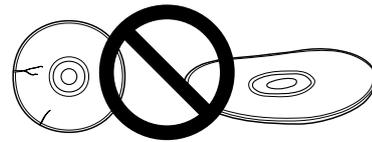
DVD / DVD-R / DVD-RW

CD

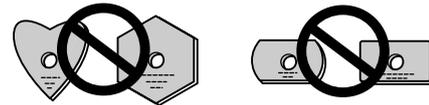
CDではディスクをトラックという単位で分けています（一般的には1曲が1つのトラックに対応しています。また、さらにトラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります）。

CD

ディスクの取り扱いについて

■ 信号面を触らないようにしてください。

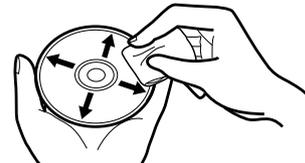
■ 信号面に傷や汚れをつけないでください。
■ ディスクに紙やラベル用シールなどを貼り付けないでください。ディスクが反って、不具合が発生する恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。

■ 損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。

■ 特殊な形のディスクについて

- 本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクは使用しないでください。

■ ディスクの保管

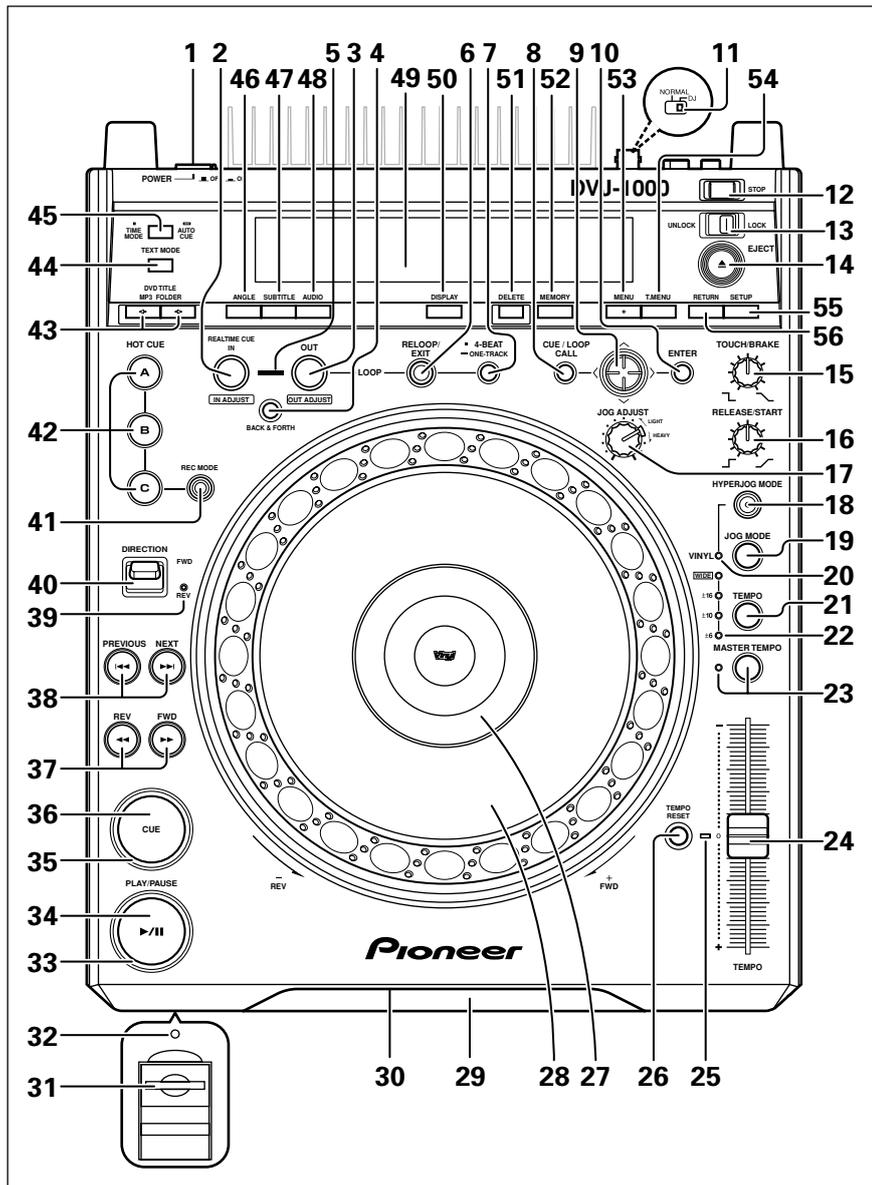
- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。車のシートの上なども予想以上に高温となりますのでご注意ください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

■ ディスクのお手入れ

- 柔らかい布でディスクの内側から外側方向へ軽く拭いてください。

- ディスクの清掃には、市販のディスククリーニングセットの使用をお勧めします。
- レコードスプレー、帯電防止剤などは使用できません。
  また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけると表面を傷めることがあります。
- 汚れがひどい場合には柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で水気を拭き取ってください。

各部の名称と働き

操作パネル

DJ マークを付けた操作ボタン類はNORMAL/DJスイッチがNORMALの場合は機能しません。
NORMAL マークを付けた操作ボタン類はNORMAL/DJスイッチがDJの場合は機能しません。

1 電源スイッチ(POWER ■OFF/▂ON)
本機の後面にあります。

2 ループイン/リアルタイムキュー/ループインポイント修正ボタン/インジケーター DJ
(IN/REALTIME CUE/IN ADJUST)
リアルタイムキュー ☞P.39
ループインポイント入力 ☞P.43
ループインポイント修正 ☞P.43

3 ループアウト/ループアウトポイント修正ボタン/インジケーター DJ (OUT/OUT ADJUST)
ループアウトポイント入力 ☞P.43
ループアウトポイント修正 ☞P.43

4 バック&フォースボタン DJ
(BACK & FORTH) ☞P.43
通常のループモードとバック&フォースループモードを切り換えます。

5 ループモードインジケーター DJ ☞P.43
バック&フォースループモードのとき点灯します。

6 リ・ループ/イグジットボタン/インジケーター DJ
(RELOOP/EXIT) ☞P.43

7 4ビート/ワントラックループボタン
(4-BEAT/ONE-TRACK) DJ ☞P.43

・ 4ビートループ
押したポイントをループインポイントとし、4ビート後をループアウトポイントにしてループ再生をします。

・ ワントラックループ
1秒以上押し続けると、チャプターループまたはトラックループ再生をします。

8 キュー/ループコールボタン DJ
(CUE/LOOP CALL) ☞P.47
キューポイントナビモードのオン/オフをします。

9 カーソルボタン(</>/∧/∨)
キューポイントナビ、またMP3再生時は、MP3ナビゲーターの選択やDVDの各種設定時に使用します。

10 エンターボタン(ENTER)
キューポイントナビ、またMP3再生時は、MP3ナビゲーターの選択やDVDの各種設定時に使用します。

11 NORMAL/DJスイッチ☞P.17
本機の後面にあります。

12 ストップボタン(STOP)
ディスクの再生を停止します。
イジェクト・ストップモード切換スイッチが「LOCK」位置のときは、ポーズ状態にしてからボタンを押さないと、停止しません。

13 イジェクト・ストップモード切換スイッチ
(UNLOCK/LOCK)
UNLOCK:プレイ中にイジェクトボタンを押すと、ディスクをイジェクトします。また、プレイ中にストップボタンを押すと、ディスクの再生を停止します。
LOCK:プレイ中にイジェクトボタンを押しても、ディスクをイジェクトできません。ポーズ状態にしてから押すと、ディスクをイジェクトできます。また、プレイ中にストップボタンを押しても、ディスクの再生は停止しません。ポーズ状態にしてから押すと停止します。

14 イジェクトボタン(EJECT▲)
ボタンを押すとディスクの回転が止まってから、ディスク挿入口からディスクが出てきます。
イジェクト・ストップモード切換スイッチが「LOCK」位置のときは、ポーズ状態にしてからボタンを押さないと、ディスクが出てきません。☞P.34

15 タッチ/ブレーキ応答調整つまみ DJ
(TOUCH/BRAKE)
ジョグモードがVINYLモードONのとき、ジョグダイヤルの天面を押したときに、再生が止まるまでの減速スピードを調整します。左に回すと素早く止まり、右に回すとゆっくりと減速して止まります。

16 リリース/スタート応答調整つまみ DJ
(RELEASE/START)
ジョグモードがVINYLモードONのとき、ジョグダイヤルの天面から手を離したときに、再生が立ち上がる加速スピードを調整します。左に回すと素早く定速に達し、右に回すとゆっくりと加速して定速になります。

17 ジョグフィーリング調整ツマミ(JOG ADJUST)
ジョグダイヤルを回転させるときの負荷(軽い/重い)を好みに合わせて調整します。

18 ハイパージョグモードボタン/インジケーター DJ
(HYPERJOG MODE)
ジョグモードがVINYLモードONのときにオンすると、ジョグダイヤルの回転角度に対する画像と音の変化量がオフ時の4倍になります。

19 ジョグモード切換ボタン DJ (JOG MODE)
押すたびにVINYLモードをオン/オフします。
VINYLモードON:プレイ中にジョグダイヤルの天面を押すと再生を停止し、そのまま回転すると回転に応じた映像・音声が出ます。(ジョグダイヤルの天面を押さないように斜面を操作すれば、ピッチベンドの操作も可能です。)
● 電源をオフしてもジョグモードは記憶されます。
VINYLモードOFF:ジョグダイヤルの天面を押しても、上記の動作はしません。

20 VINYLモードインジケーター DJ (VINYL)
ジョグモードがVINYLモードONのときに点灯します。

21 テンポコントロールレンジ切換ボタン DJ (TEMPO)
押す度に、テンポ調整つまみの可変範囲(±6 %/±10 %/±16 %/WIDE)が切り換わります。
WIDE選択時は、DVD再生時およびMP3再生時+70 %〜−100 %の可変範囲となり、CD再生時±100 %の可変範囲となります。

22 テンポコントロールレンジインジケーター DJ
(±6、±10、±16、WIDE)
- テンポコントロールレンジが±6 %のとき**±6**が点灯します。
- テンポコントロールレンジが±10 %のとき**±6**と**±10**が点灯します。
- テンポコントロールレンジが±16 %のとき**±6**と**±10**と**±16**が点灯します。
- テンポコントロールレンジがWIDEのとき**±6**と**±10**と**±16**と**WIDE**が点灯します。

23 マスターテンポボタン/インジケーター DJ
(MASTER TEMPO) ☞P.40
押すたびにマスターテンポ機能をオン/オフします。

24 テンポ調整つまみ DJ
手前(+)に動かすと演奏テンポが早くなり、奥(−)に動かすと遅くなります。

25 テンポリセットインジケーター DJ
テンポ調整つまみの位置にかかわらず、テンポ調整が「**0**」(通常テンポ)になっていることを示します。

26 テンポリセットボタン DJ (TEMPO RESET)
テンポ調整つまみの位置にかかわらず、テンポ調整を「**0**」(通常テンポ)にします。もう一度押すと解除されます。

27 ジョグダイヤル表示部 ☞P.14

28 ジョグダイヤル DJ (+FWD/−REV) ☞P.40

29 ディスク挿入口 ☞P.34

30 強制イジェクトホール ☞P.34

31 メモリーカードドア&挿入口 DJ ☞P.46

32 メモリーカードインジケーター DJ ☞P.46
メモリーカードが挿入され、ドアが閉じられているときに点灯、メモリーカードへアクセス中は点滅します。
● 点滅中はドアを開けたり、電源を切らないでください。

33 プレイ/ポーズインジケーター
プレイ時に点灯し、ポーズ時に点滅します。

34 プレイ/ポーズボタン(PLAY/PAUSE▶/❚❚) ☞P.36

35 キューインジケーター DJ ☞P.39
キューポイントが設定された状態で点灯します。
ポーズ状態の時に点滅します。

36 キューボタン DJ (CUE) ☞P.39
【キューポイントの設定】
【バックキュー】
【キューポイントサンプラー】

37 マニュアルサーチボタン(REV◀◀/FWD▶▶) ☞P.37

38 トラックサーチボタン(PREVIOUS|◀◀/NEXT▶▶|) ☞P.38
CD、MP3ではトラックを、DVDではチャプターを戻す/送る際に使用します。
DVD再生では、メニュー画面のページを戻す/送る際にも使用します。

39 リバースインジケーター DJ (REV)
ディレクション切換スイッチがリバースのとき点灯します。

40 ディレクション切換スイッチ DJ
(DIRECTION FWD/REV)
REV位置(手前)にするとリバース再生します。

41 ホットキュー 記録モードボタン DJ
(HOT CUE REC MODE) ☞P.42
ホットキューボタンの機能(記録/呼び出し)を切り換えます。
● 電源オン時は呼び出しモードです。

42 ホットキューボタン/インジケーター DJ
(HOT CUE A、B、C) ☞P.42
A、B、Cが赤色点灯時はホットキューポイント記録モードです。
A、B、Cが緑色(HOT CUEポイント)または橙色(HOT LOOPポイント)で点灯時は呼び出しモードで、ボタンを押すとホットキューポイントから再生できます。消灯はホットキューポイントが記録されていない状態です。

43 タイトル/フォルダーサーチボタン
(DVD TITLE/MP3 FOLDER ⬅/➡) ☞P.38
DVD再生時に、押すたびにタイトルを指定の方向へ送ります。
MP3再生時は、階層構造のCDまたはDVDのフォルダーを指定の方向に送ります。

44 表示切換ボタン (TEXT MODE) ☞P.41
押すたびに、WAVE表示とTEXTの曲名/アルバム名/アーティスト名表示を切り換えます。

45 タイムモード/オートキューボタン DJ
(TIME MODE/AUTO CUE)
TIME MODE:
押すたびに、表示部の時間表示が現在の再生曲の経過時間と残り時間(REMAIN)に切り換わります。
MP3の場合、再生する曲によっては残り時間(REMAIN)がすぐに表示されない場合があります。
● 電源をオフにしても、TIME MODEは記憶されます。
AUTO CUE:
1秒以上押し続けるとオートキュー解除/設定を切り換えます。
5秒以上押し続けるとオートキューレベルを切り換えます。
☞P.36
● 電源をオフにしても、AUTO CUEのオン/オフとオートキューレベルは記憶されます。

46 アングルボタン(ANGLE)
DVD再生時のアングルを切り換えます(対応ディスク使用時)。
● DJモードでアングルを切り換えると映像と音声が一時的に停止します(バッファメモリー書き換えのため)。

47 サブタイトルボタン(SUBTITLE) NORMAL
DVD再生時の字幕言語を切り換えます(対応ディスク使用時)。
● DJモードでは機能しません。

48 オーディオボタン(AUDIO)
DVD再生時の言語または音声を切り換えます(対応ディスク使用時)。
● DJモードで言語または音声を切り換えると映像と音声が一時的に停止します(バッファメモリー書き換えのため)。

49 表示部 ☞P.13····1〜24

50 ディスプレイボタン(DISPLAY) ☞P.45
DJモードでは、プレビュービデオ出力端子に接続したモニタに表示されるホットキュー、キューポイント表示、再生時間等のガイド表示をオン/オフします。
NORMALモードでは、ディスク情報等のガイド表示をオン/オフします。
● 電源投入時は、DJモードではオン(表示有り)、NORMALモードではオフ(表示無し)となります。

51 デリートボタン DJ (DELETE) ☞P.49
メモリーカードに記憶された、キューポイントやループポイントを消去します。

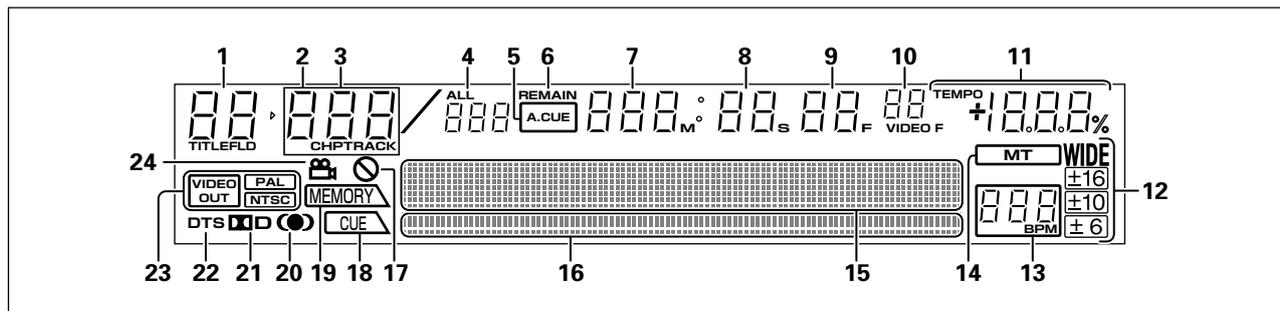
52 メモリーボタン DJ (MEMORY) ☞P.46
メモリーカードに、キューポイントやループポイントを記憶します。

53 メニューボタン(MENU)
DVDのメニュー画面を表示させます。
またMP3再生時は、MP3ナビゲーター画面を表示させます。☞P.45

54 トップメニューボタン(T.MENU)
DVDソフトの最上層のメニュー画面を表示させます。

55 セットアップボタン(SETUP) ☞P.20
初期設定画面を表示させます。

56 リターンボタン(RETURN)
初期設定画面やメニュー画面が表示されているときに押すと、1つ前の項目に戻ります。

表示部

1 タイトル/フォルダー番号表示(TITLE/FLD 00〜99)
DVDのタイトルナンバーを表示します。
MP3再生時は、フォルダーナンバーを表示します。
CD再生時は消灯します。

2 チャプター番号表示(CHP 000〜999)
DVDのチャプターナンバーを表示します。
CD、MP3再生時、「CHP」は消灯します。

3 トラック番号表示(TRACK 00〜99/000〜999(MP3))
CD、MP3のトラックナンバーを表示します。
DVD再生時、「TRACK」は消灯します。

4 全曲数表示(ALL)
DVD再生時はタイトル内のチャプター数を表示します。
オーディオCD再生時はディスクのトラック数を表示します。
MP3再生時はフォルダー内のトラック数を表示します。

5 オートキュー表示(A.CUE)
オートキューがオンのときに点灯します。
NORMALモードでは消灯します。

6 リメイン表示(REMAIN)
時間表示が曲の残り時間であることを示します。

7 時間表示(分)(000〜999 M)

8 時間表示(秒)(00〜59 S)

9 フレーム表示(00〜74 F)
オーディオフレームの表示です。75フレームで1秒です。
NORMALモードでは表示されません。

10 ビデオフレーム表示(00〜29 VIDEO F)
DJモードで、DVD再生時に点灯します。30フレームで1秒です。
CD再生時およびNORMALモードでは、ビデオフレームは表示されません。
本機はオーディオのフレーム(1/75秒)を基準にビデオフレーム(1/30秒)をコントロールしているため、両者の組み合わせで表示は最大1ずれる場合があります。

11 演奏速度表示(TEMPO)
テンポ調整つまみの操作によるテンポの変化を表示します。
NORMALモードでは消灯します。

12 テンポ調整レンジ表示(±6、±10、±16、WIDE)
テンポコントロールレンジ切換ボタンで選んだテンポ調整つまみの可変範囲を示します。
NORMALモードでは消灯します。

13 BPM表示
再生中の曲のBPMを表示します。
曲によってはBPMカウンターでBPMを測定できない場合があります。
NORMALモードでは消灯します。

14 マスターテンポ表示(MT)
マスターテンポ機能がオンのとき点灯します。
NORMALモードでは消灯します。

15 ドットマトリックス表示部(100 x 7ドット)
TEXT表示、WAVE表示、ガイド表示などを行います。
CD TEXTは、英語のディスクタイトルで最大72文字まで、トラックタイトルで最大48文字まで、MP3では最大48文字まで表示します(15文字以上はスクロール表示)。
WAVE表示は、1曲をフルスケール(横100ドット)として、再生曲の音楽レベルを表示します。
ガイド表示については、53ページの「**ドットマトリックス部ガイド表示一覧**」を参照してください。

16 プレーイングアドレス表示
再生曲の経過時間や残り時間を直感的に把握できるように、1曲がフルスケールのバーグラフとして表示します。
- 経過時間表示のときは、左から点灯します。
- 残り時間表示のときは、左から消灯します。
- 曲の残り時間が30秒以下になるとゆっくり点滅し、15秒以下になると早く点滅します。

17 禁止マーク表示(⦸)
DVDディスクまたはプレーヤーによって機能が制限されている操作をした場合に、約2秒間点灯します。

18 キューポイント表示(CUE)
選択されたトラックに、CUEボタン、IN/REALTIME CUE/IN ADJUSTボタンに登録されたポイントがあるときに「CUE」が点灯し、その開始位置を表示します(2ドット点灯)。
NORMALモードでは消灯します。

19 メモリー表示(MEMORY)
選択されたトラックにキューメモリーやループメモリーが登録されているときに「MEMORY」が点灯し、その開始位置を表示します。
1ポイントにつき2ドットで表示されますが、同じポイント内に複数の開始位置が登録されていても、表示は1つです。
NORMALモードでは消灯します。

20 SRSマーク表示((●))
TruSurround機能を選択しているときに点灯します。
DJモードでは対応しません。

21 ドルビーデジタル表示(DD)
ドルビーデジタル音声を選んで再生しているときに点灯します。

22 DTS表示
DTS音声を選んで再生しているときに点灯します。
DJモードでは対応しません。

23 ビデオアウト表示(VIDEO OUT/PAL/NTSC)
ビデオ出力のTV方式設定が、AUTOの場合、"VIDEO OUT"のみ点灯します。
NTSCが選ばれている場合は、"VIDEO OUT"、"NTSC"が点灯し、PALが選ばれている場合は、"VIDEO OUT"、"PAL"が点灯します。

24 アングル表示( )
DVDを再生しているときに、アングル変更が可能な場面で点灯します。

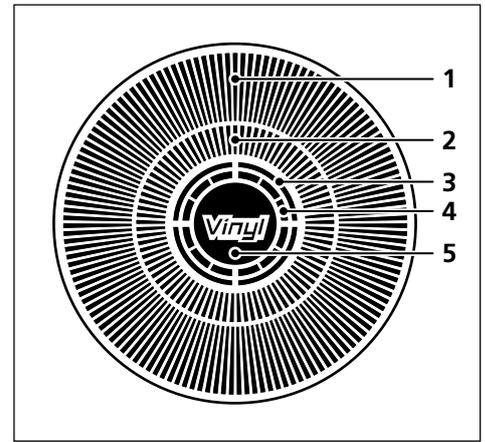
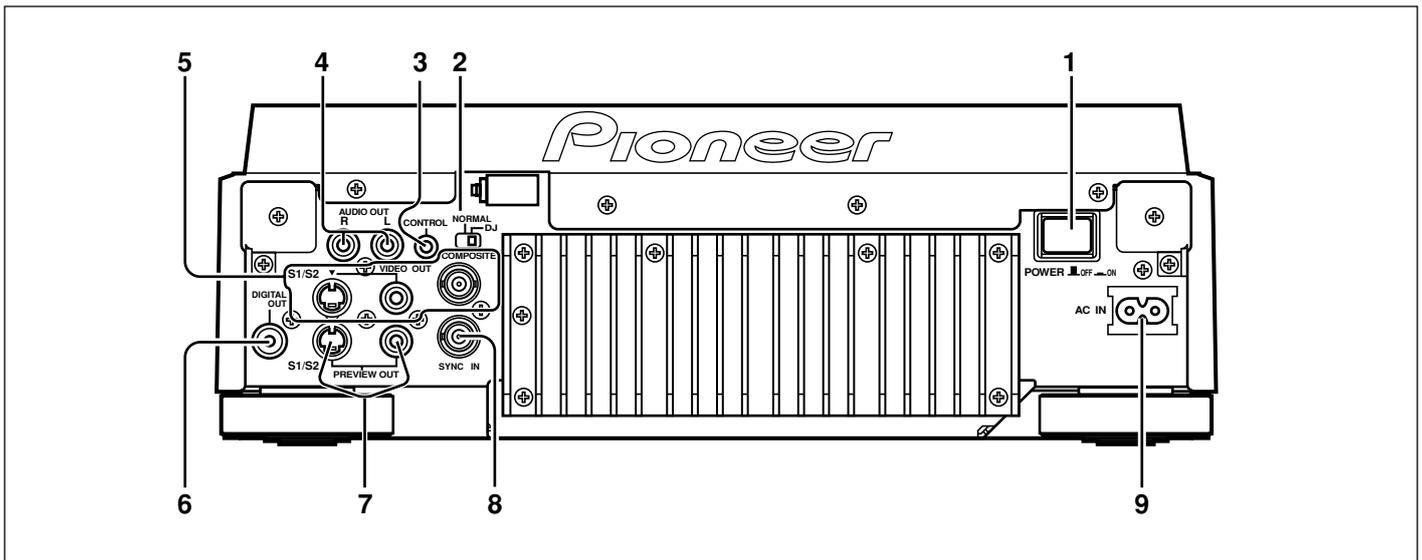
ジョグダイヤル表示部

1 動作表示
一周135フレームとして、プレイ位置を表示します。再生時は回転し、ポーズ中には停止します。

2 キューポイント位置表示
キューポイントの位置を表示します。

3 音声／映像メモリー状態表示
音声／映像メモリー書き込み中は点滅します。点滅中は、リアルタイムキューポイントの記憶、ホットキューポイントの記憶ができない場合があります。

4 ジョグタッチ検出表示
VINYLモードON時、ジョグダイヤル天面を押したときに点灯します。

5 VINYLモード表示(Vinyl)
VINYLモードONのときに点灯します。

後面パネル

1 電源スイッチ(POWER ■OFF/▬ON)

2 NORMAL/DJスイッチ ☞P.17
再生中に切り換えると再生を停止し、停止後はディスクの最初から再生します。
DJ：ジョグダイヤルの操作、テンポ可変などのDJ操作が行えます。DVD再生時は、サブタイトルなど対応しない機能や対応しない動作、再生できないポイントなどがあります。
NORMAL：DJ機能は働かず、ポーズは音出しではなく無音になります。DVD再生時はデジタル出力端子から設定された音声信号の出力が得られます。CD再生時はサブコードを含むデジタルデータが出力されます(CDグラフィックス非対応)。

3 コントロール端子(CONTROL)
付属のコントロールコードを使って、パイオニアのDJミキサー(別売り)と接続すると、DJミキサーから本機をコントロールしてフェーダースタートプレイやバックキューができます。
また、他のDJプレーヤーのコントロール端子と接続して、自動交互再生(リレープレイ)を行うことができます。 ☞P.44

4 オーディオ出力端子(AUDIO OUT L/R)
RCAタイプのアナログオーディオ出力端子です。

5 メインビデオ出力端子(VIDEO OUT)
DVDの再生映像のみをコンポジット信号で出力するRCAタイプの出力端子とBNCタイプの出力端子、およびSビデオ出力端子です。

6 デジタル出力端子(DIGITAL OUT)
AVアンプやドルビーデジタル／DTSデコーダー、CDレコーダーなどを接続する、RCAタイプの同軸デジタル出力端子です。
NORMAL/DJスイッチが「DJ」の場合、DVD再生時は選択した音声信号方式にかかわらず2チャンネルのリニアPCM方式のデジタルデータが出力されます。CD再生時はサブコードを含まないオーディオデータのみが出力されます。
NORMAL/DJスイッチが「NORMAL」の場合、DVD再生時は選択された音声信号方式のデジタルデータが出力されます。CD再生時は、サブコードを含むデジタルデータが出力されます。

7 プレビュービデオ出力端子(PREVIEW OUT)
DJが操作時に使用するモニタ用映像を、コンポジット信号で出力するRCAタイプの出力端子およびSビデオ出力端子で、さまざまな表示を行います。 ☞P.15

8 同期信号入力端子(SYNC IN)
外部からの同期信号を入力するBNCタイプの入力端子です。
別売りの専用機を接続して使用します。

9 ACインレット
付属の電源コードを使って、壁の電源コンセントと接続します。

メインビデオ出力およびプレビュービデオ出力

★ 表示例は表示イメージを模してイラスト化したものです。
実際の表示とは多少異なります。

本機にはメインビデオ出力(VIDEO OUT)とプレビュービデオ出力(PREVIEW OUT)があります。
NORMALモード時は、メインビデオ出力とプレビュービデオ出力は同じ映像になります。
DJモード時は、それぞれ以下のような出力となります。ただし、DJモードでもDJ操作ができない状態では、NORMALモードと同じ出力となります。

■ メインビデオ出力(VIDEO OUT)

DVDの再生映像のみを出力する端子で、クラブのメインモニタ用の映像を出力します。

■ プレビュービデオ出力(PREVIEW OUT)

DJが操作時に使用するモニタ用出力で、さまざまな表示を行います。

メインビデオ出力

プレビュービデオ出力

Play　1–001　–2. 36. 45/　3. 46

Ⓐ CUE 1–001　Ⓑ LOOP 1–001　Ⓒ CUE 1–005　CUE 1–018

ガイド表示エリア

HOT CUE、CUEボタンに登録されたポイントのサムネイル画面を表示するエリア

Play　1–010　3. 45. 67/　4. 56
REV

タイトル番号、チャプター番号

アングルインジケーター

チャプター内の経過時間を分、秒、フレームで表示
TIME MODEが残り時間表示(REMAIN)なら「－1.10.08」となります。

チャプターの総時間表示
(分、秒を表示)

禁止マークなどを表示

リバースモード時に「REV」を表示

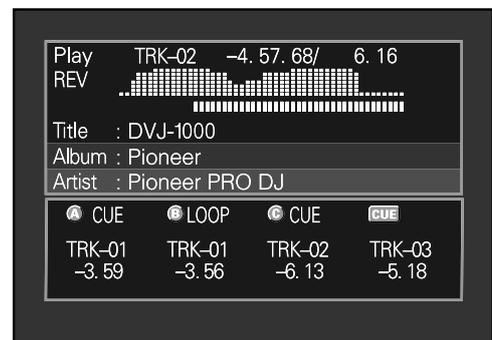
WAVE表示
1曲をフルスケールとして再生曲の音楽レベルを表示します。

プレーイングアドレス表示
再生曲の経過時間や残り時間を直感的に把握できるように、1曲がフルスケールのバーグラフとして表示します。

状態表示

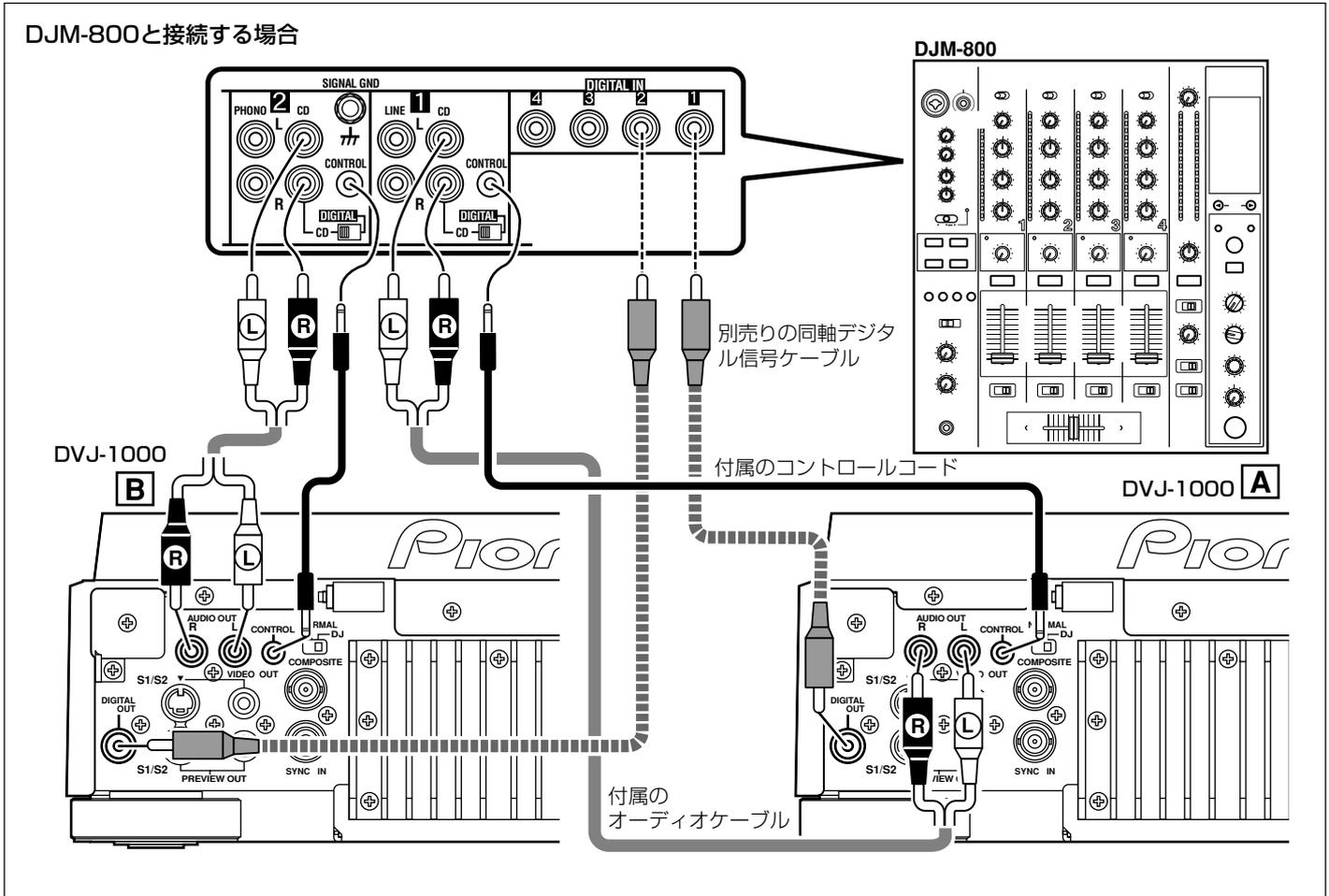
Play	再生中
Loop	ループ再生中
Cue	キュー待機中
Pause	ポーズ中
Scratch	スクラッチ中
Search	チャプター／トラックサーチ中
►►	フォワードサーチ(スキャン)中
◄◄	リバースサーチ(スキャン)中
Reading	ホットキュー、キューのリコール中

プレビュービデオ出力(MP3の場合)

プレビュービデオ出力(CDの場合)

接続のしかた

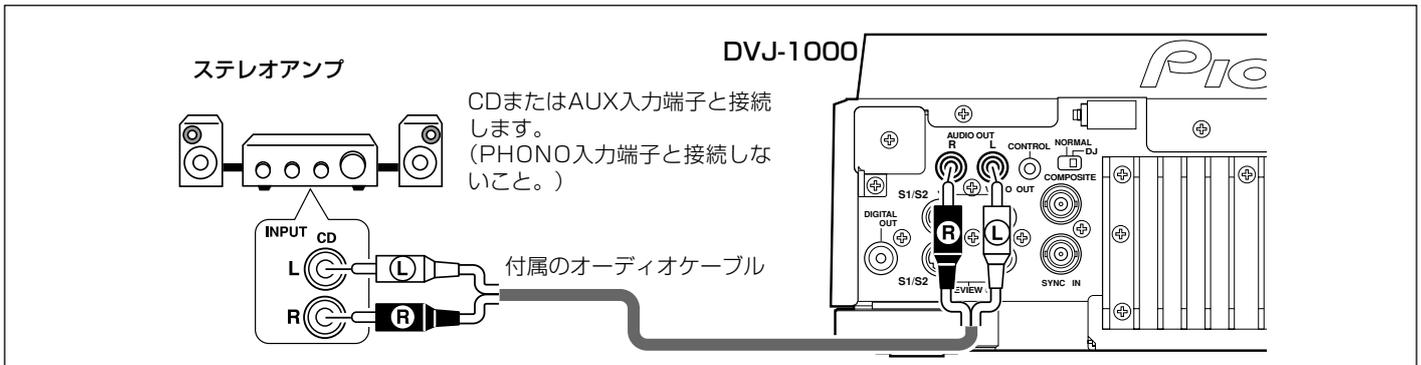
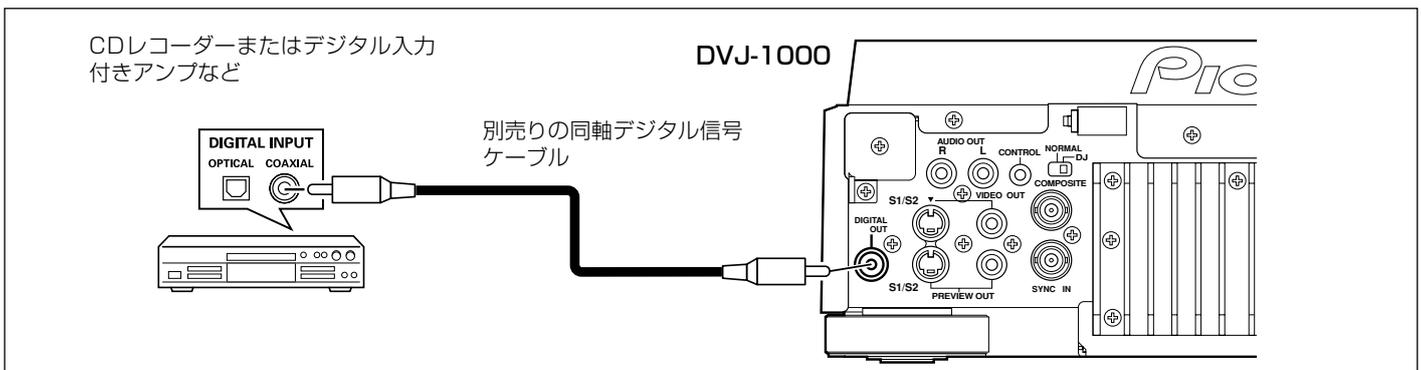
機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

1. パイオニアのDJミキサー(別売り)との接続（音声出力およびコントロール端子の接続）

付属のオーディオケーブルを使って、白のプラグはL（左）端子へ、赤のプラグはR（右）端子へつないでください。
また、付属のコントロールコードを接続すると、ミキサーから本機をコントロールしてフェーダースタートプレイやバックキューができます。デジタル入力があるDJミキサー（DJM-800、DJM-1000など）とはデジタル接続が可能です。本機のDIGITAL OUT端子をDJミキサーのDIGITAL入力端子と別売りの同軸デジタル信号ケーブルで接続します。

- DJM-1000と接続する場合は、CD/LINEの1つとA PLAYER、別のCD/LINEの1つとB PLAYERを付属のオーディオケーブルで接続します。オーディオ信号をデジタル接続するときは、本機のDIGITAL OUTをDJM-1000のチャンネル3～6のDIGITAL入力端子と別売りの同軸デジタル信号ケーブルで接続します。
- DJM-600、DJM-500、DJM-300と接続する場合は、CD1とA PLAYER、CD2とB PLAYERを付属のオーディオケーブルで接続してください。
- DJM-909、DJM-707、DJM-400と接続する場合は、CH-1 CDとA PLAYER、CH-2 CDとB PLAYERを付属のオーディオケーブルで接続してください。
- DJM-3000と接続する場合はA PLAYERをCH-1のLINE1、B PLAYERをCH-2のLINE3に接続してください。
- その他のオーディオミキサーと接続する場合は、本機のAUDIO OUT端子とミキサーのライン入力端子またはAUX端子を接続します。(★ **PHONO端子には接続しないでください。音が歪んだり、正常な演奏ができません。**）

2. リレープレイをする場合のコントロールコードの接続

付属のコントロールコードで2台のDJ用プレーヤーのコントロール端子どうしを接続すると、交互演奏を自動的に行えます。（☞P.44）

3. ステレオアンプとの接続（DJミキサーを使わない場合）

4. デジタル入力端子付き機器との接続

■ NORMAL/DJスイッチの設定（後面パネル）

通常、DJ用DVDプレーヤーとして使用するときは、「**DJ**」位置にしてください。
再生中に切り換えると再生を停止し、停止後はディスクの最初から再生します。

DJにしたとき（DJモード）：

- DVD再生時は、選択した音声信号方式にかかわらず、2チャンネルのリニアPCM方式のデジタルデータがデジタル出力端子から出力されます。また、サブタイトルなど対応しない機能や、対応しない動作などがあります。
- CD再生時は、デジタル出力端子からはサブコードを含まないオーディオデータのみ出力されます。ただし、サンプリング周波数は44.1 kHz固定です。CDレコーダーなど、接続される機器によっては録音機能等が制限される場合があります。詳しくは接続される機器の説明書をお読みください。
- DVD再生時に機能が制限を受ける、もしくは利用できない場合があります。☞P.7「**DJモードでのDVD再生について**」

NORMALにしたとき（NORMALモード）：

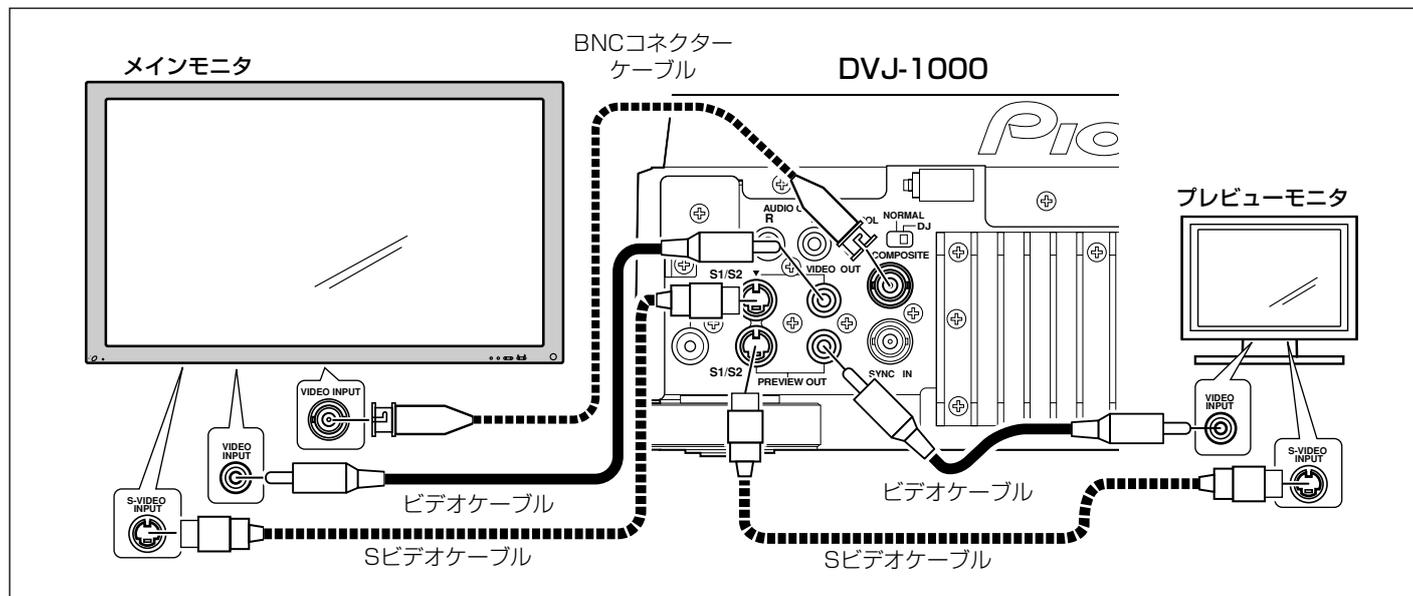
- デジタル出力端子からはサブコードを含むデジタルデータが出力されますが、本機のDJ機能は働かなくなります。
- 利用できない機能を操作すると、表示部に「**NORMAL**」と表示されます。
- 電源スイッチをオンにしたとき、NORMAL/DJスイッチが「**NORMAL**」になっていると、表示部に「**NORMAL**」と表示されます。
- DVD再生時にすべての機能を利用する場合はNORMALモードで使用してください。☞P.7「**DJモードでのDVD再生について**」

ご注意：
NORMAL/DJスイッチを「**NORMAL**」にすると、DJ機能（キュー、ループ、リ・ループ、テンポ調整、ホットキュー、ジョグダイヤル、リバース再生など）が働きません。また、ポーズは音出しポーズではなく無音になります。

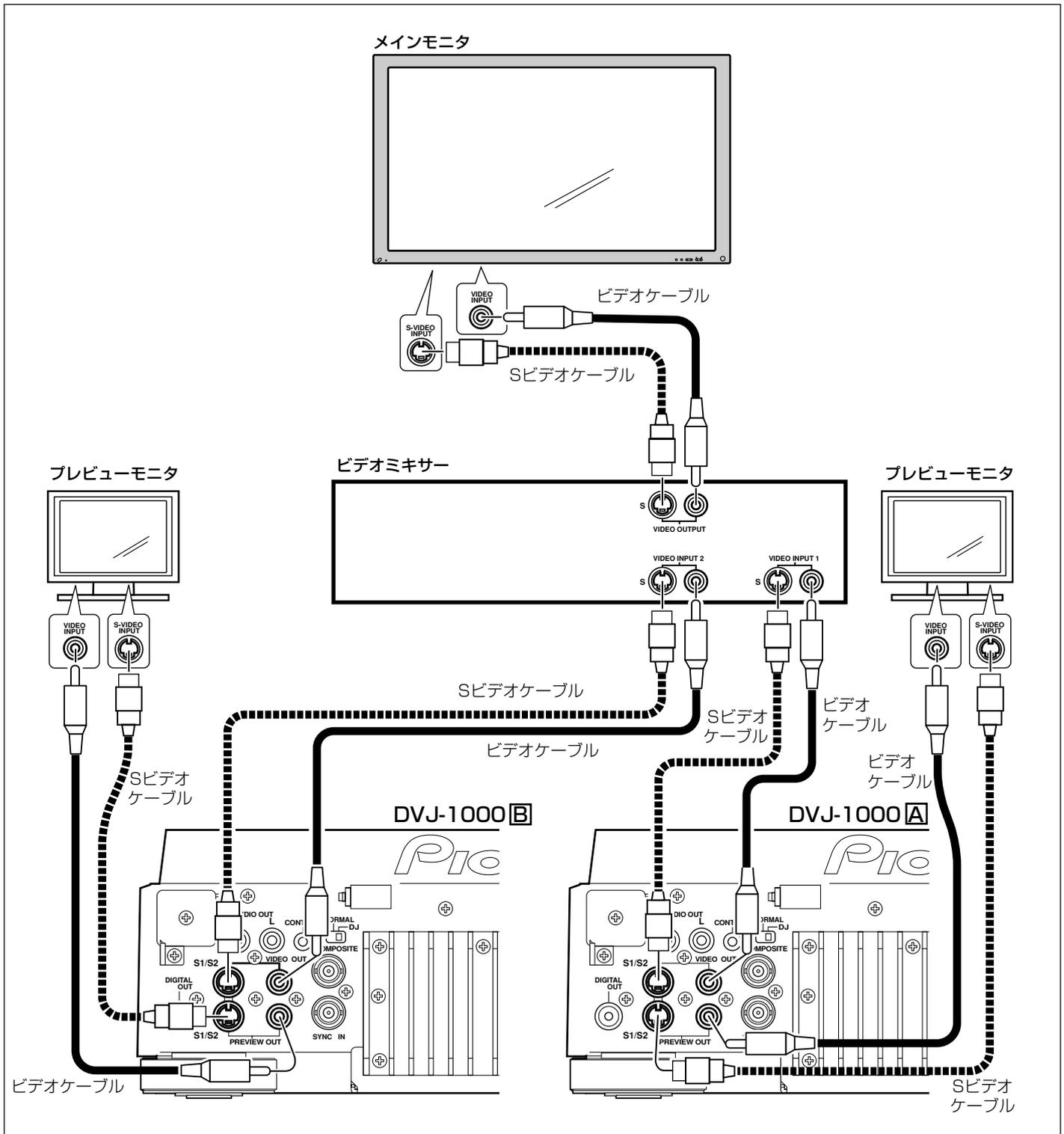
5. テレビモニタとの接続（コンポジットビデオ／Sビデオ）

本機には、DVDの再生映像のみを出力するメインビデオ出力端子（VIDEO OUT）と、DJが操作時に使用してさまざまな表示を行うプレビュービデオ出力端子（PREVIEW OUT）があります。

- それぞれのテレビモニタを、ビデオケーブル（RCAプラグ）またはSビデオケーブルで接続します。
- メインビデオ出力はBNCタイプの出力端子（COMPOSITE）も装備していますので、BNCコネクターケーブルで接続することもできます。

※ ビデオケーブルは1本付属しています。Sビデオケーブルおよびコネクターケーブルは付属しておりません。

★ **本機の映像出力は、ビデオデッキに接続せずに、直接テレビモニタに接続してください。（ビデオデッキを介するとコピーガードにより正常に再生できない場合があります。）**

6. ビデオミキサーとの接続

ビデオケーブル（RCAプラグ）またはSビデオケーブルで接続します。

7. 電源コードの接続

すべての接続が終了したら、プレーヤー部後面にあるACインレットに付属の電源コードの一端を差し込み、電源プラグを壁の電源コンセントへ接続します。

セットアップ

DVDを再生する前には機器の設定が必要です。

ビデオ出力のTV方式設定

ビデオ出力のTV方式を切り換えます。各種類のディスクがどのTV方式(AUTO、PAL/NTSC)で出力されるかを下表で確認してください。

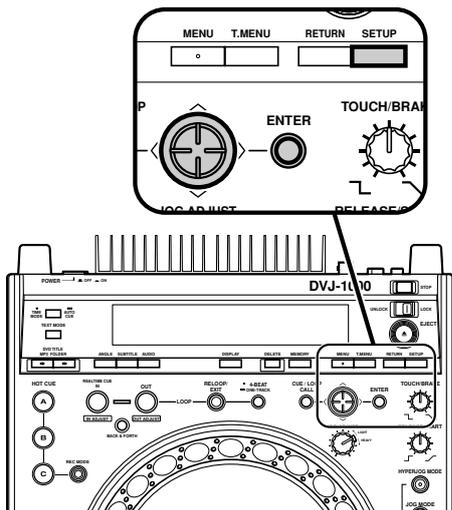
プレーヤーの設定 / ディスクの種類	AUTO モード	NTSC モード	PAL モード
DVD(NTSC)	NTSC	NTSC	PAL
DVD(PAL)	PAL	NTSC	PAL
CD または ディスクなし	NTSC または PAL	NTSC	PAL

1. 本機の電源スイッチをオフにする
2. DVD TITLE➡ボタンを押しながら、電源をオンにする
3. 本機の表示部にTV方式が表示されたら、DVD TITLE➡ボタンから手を放す

   1〜3の操作を繰り返すと、設定は次の順で入れ換わります。
   NTSC(工場出荷時の設定)→PAL
   PAL→AUTO
   AUTO→NTSC
   - ディスクの記録方式が出力するTV方式と異なる場合、画質が悪化することがあります。

設定操作方法

設定操作はSETUPボタンを押してテレビ画面にセットアップメニュー画面を表示し、カーソルボタンで選択・設定し、ENTERボタンで決定するという手順で行います。
カーソルボタンは4つのボタン(</>/∧/∨)を1つにしたものです。カーソルボタンの後側を押すとアップ(∧)、前側を押すとダウン(∨)、左側を押すとレフト(<)、右側を押すとライト(>)の機能になります。

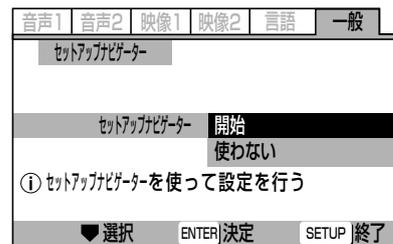
設定には接続するテレビやアンプに合わせるために対話形式で基本設定を行う「**セットアップナビゲーター**」と個別に設定していく「**初期設定モード**」があり、最初にSETUPボタンを押すと「**セットアップナビゲーター**」が起動します。
「**初期設定モード**」には「**ベーシック**」と「**エキスパート**」があり、「**エキスパート**」では細かく設定が行えます。

セットアップナビゲーターによる設定

「**セットアップナビゲーター**」により接続するテレビやアンプに合わせるための基本設定を対話形式で行います。表示される質問に答えていくと、本機の設定が自動的に完了します。再生中にこの機能を使うことはできません。
セットアップナビゲーターを開始すると以下の順に質問されます。
言語(画面表示言語) ➡ テレビとの接続(テレビの種類) ➡ アンプとの接続

1. POWERスイッチをオンにする

   すでにディスクが入っているときはディスクを取り出してください。

2. SETUPボタンを押す

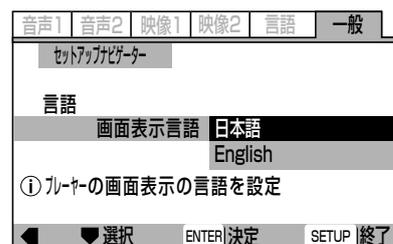
   セットアップナビゲーター画面が表示されます。

開始:
セットアップナビゲーターを開始するとき選択します。
使わない:
セットアップナビゲーターの設定がすでに完了しているとき選択します。
- [**使わない**]を選ぶと、次回からSETUPボタンを押すと初期設定画面が表示されます。

3. ENTERボタンを押す

   セットアップナビゲーターを開始します。

■ 設定の途中で前の設定画面に戻るには
カーソルボタンの左側(<)を押します。

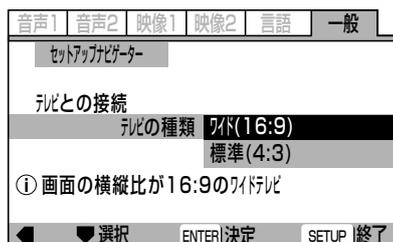
画面に表示する言語を選ぶ

日本語、または英語を選ぶことができます。
カーソルボタンの後側(∧)/前側(∨)で選び、ENTERボタンを押す

日本語:
画面に表示される言語が日本語になります。
English:
画面に表示される言語が英語になります。

- 画面表示言語で選んだ言語が、字幕言語、および音声言語に自動的に選択されます(P.29)。

接続したテレビの種類を選ぶ

本機に接続したテレビの種類を設定します。

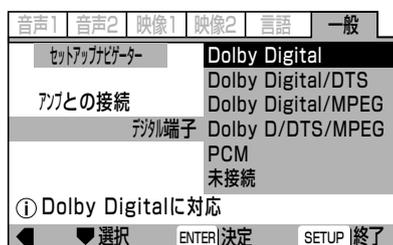
カーソルボタンの後側（∧）／前側（∨）で選び、ENTERボタンを押す

ワイド(16:9)：
ワイド (16:9)のテレビと接続したとき選択します。

標準(4:3)：
従来サイズ(4:3)のテレビと接続したとき選択します。

アンプが対応しているデジタル信号を選ぶ NORMAL

★ DJモードでのデジタル出力は自動変換されて、リニアPCMのみとなります。

接続したアンプが、どのデジタル信号に対応しているかを設定します(お手持ちのアンプの取扱説明書もあわせてご覧ください)。

カーソルボタンの後側（∧）／前側（∨）で選び、ENTERボタンを押す

Dolby Digital：
本機と市販のデジタル音声ケーブルで接続しているAVアンプなどがドルビーデジタル対応のとき選択します。

Dolby Digital/DTS：
本機と市販のデジタル音声ケーブルで接続しているAVアンプなどがドルビーデジタルおよびDTS対応のとき選択します。

Dolby Digital/MPEG：
本機と市販のデジタル音声ケーブルで接続しているAVアンプなどがドルビーデジタルとMPEG対応のとき選択します。

Dolby D/DTS/MPEG：
本機と市販のデジタル音声ケーブルで接続しているAVアンプなどがドルビーデジタル、DTS、およびMPEG対応のとき選択します。

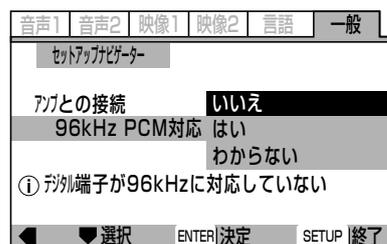
PCM：
本機と市販のデジタル音声ケーブルで接続しているアンプがステレオアンプ、またはドルビープロロジック対応アンプのとき選択します。

未接続：
付属のアナログ音声ケーブルのみでアンプなどと接続しているとき、またはアンプがどのデジタル信号に対応しているかわからないときに選択します。この項目を選択すると次の[96kHz PCM対応]の設定は必要がないため、『**セットアップナビゲーターを終了する**』へ移ります。

- DTS音声に対応していないアンプと接続しているとき[Dolby Digital/DTS]または[Dolby D/DTS/MPEG]を選択するとノイズが発生することがあります。

接続したアンプが96 kHz音声に対応しているかを選ぶ NORMAL

本機と接続したアンプがリニアPCMの96 kHzに対応しているか、対応していないかを設定します。

カーソルボタンの後側（∧）／前側（∨）で選び、ENTERボタンを押す

いいえ：
本機と接続したアンプがリニアPCMの96 kHzに対応していないとき選択します。

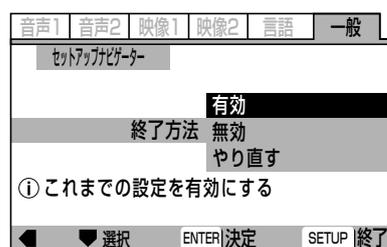
はい：
本機と接続したアンプがリニアPCMの96 kHzに対応しているとき選択します。

わからない：
本機と接続したアンプがリニアPCMの96 kHzに対応しているかどうかわからないとき選択します。

- [**いいえ**]または[**わからない**]を選択したときは、DVDの音声がリニアPCMの96 kHzであっても48 kHzに変換した信号を出力します。

セットアップナビゲーターを終了する

今まで設定した項目を有効にして終了するか、無効にして終了するか、またはやり直すかを選択します。

カーソルボタンの後側（∧）／前側（∨）で選び、ENTERボタンを押す

有効：
これまでの設定内容を有効にして終了します。

無効：
これまでの設定内容を無効にして終了します。

やり直す：
セットアップナビゲーターを使って行った設定を[画面表示言語]の設定からやり直します。

- [**有効**]、または[**無効**]を選んだときは、初期設定画面が消えます。
- [**やり直す**]を選んだときは、[**画面表示言語**]の設定画面に戻ります。

初期設定画面の項目

初期設定画面による設定は、セットアップナビゲーターよりも多くの設定ができます。項目名や選択肢からでは、どんな設定を行うかわからないときに、本書で説明しているページをここで知ることができます。

- ▮ は出荷時の設定を表します。
- ［網掛け］の設定は、初期設定モードが［エキスパート］のときに表示される項目です。

音声2

項目	設定	ページ
Virtual Surround	▮オフ / TruSurround	P.25
レガートPRO	▮オフ / スタンダード / エフェクト1 / エフェクト2 / エフェクト3	P.25
Hi-Bit	▮オン / オフ	P.26

映像1

項目	設定	ページ
テレビ画面	4：3（レターボックス） / 4：3（パンスキャン） / ▮16：9（ワイド）	P.26
S映像出力	S1 / ▮S2	P.27
スクリーンセーバー	▮オン / オフ	P.27

映像2

項目	設定	ページ
背景	▮パイオニアロゴ / 黒	P.28
画質調整	開始	P.27
ポーズモード	フィールド / フレーム / ▮オート	P.28
画面表示	▮オン / オフ	P.29
アングルインジケーター	▮オン / オフ	P.29

言語

項目	設定	ページ
画面表示言語	▮日本語 / English	P.29
音声言語	▮日本語 / 英語 / 他	P.29
字幕言語	▮日本語 / 英語 / 他	P.29
言語設定オート	▮オン / オフ	P.30
DVD言語	▮字幕言語に連動 / 日本語 / 英語 / 他	P.30
字幕表示	▮オン / オフ / アシスト字幕	P.31
字幕オフ時	音声連動 / ▮選択字幕	P.31

すべての設定を出荷時に戻す

各種の設定を変更をしたあと、すべての設定を出荷時に戻せます。

1. 本機を電源オフにする
2. STOPボタンを押しながらPOWERスイッチをオンにし、表示部の「POWER ON」表示が消えるまでSTOPボタンを押し続ける
   - すべての設定内容が出荷時の状態に戻ります。
     22ページの初期設定画面の項目以外に、以下のDJモードの機能が出荷時の状態になります。
     ·オートキュー: OFF
     ·オートキューレベル: −60dB
     ·ジョグモード: VINYLモードON
     ·タイムモード: REMAIN
     ·ビデオ出力のTV方式: NTSC

■ この操作を行うと、ビデオメモリー（☞P.27）など、記憶していたメモリーも同時に消去されます。操作を行う前に十分にご注意ください。

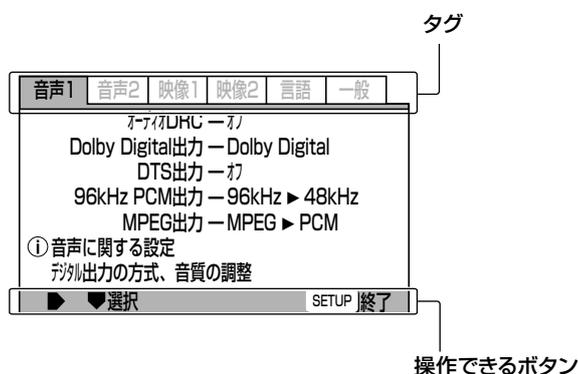
初期設定画面の操作方法

★ **初期設定の操作はDJモードでDVD再生中、およびCD再生時は操作できません。ストップ状態またはディスクを取り出してから操作を行ってください。**

工場出荷時の設定を変更したいとき、またはお好みの設定にしたいときに初期設定画面を操作して設定を行います。
初期設定画面の基本的な操作方法や使用するボタンについて説明します。

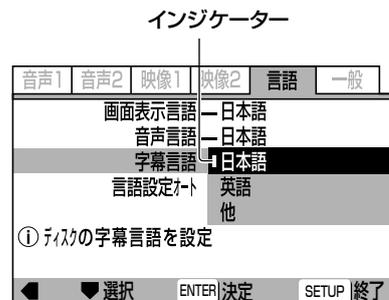
- 以前にセットアップナビゲーターを使った設定を行っていないときはセットアップナビゲーターの画面が表示されます。

電源が入っていることを確認してください。

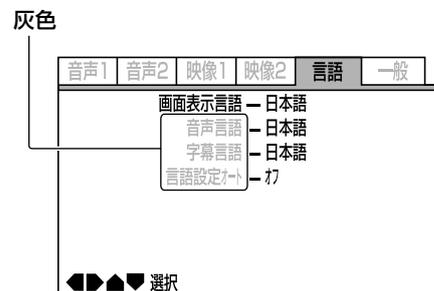
1. SETUPボタンを押す
   初期設定画面が表示されます。
   [例]

2. カーソルボタンの左側（<）／右側（>）でタグ（[音声1]、[音声2]、[映像1]、[映像2]、[言語]、[一般]）を選ぶ
3. カーソルボタンの後側（∧）／前側（∨）で設定したい項目を選ぶ
4. カーソルボタンの右側（>）で選択肢の欄にカーソルを移動させる
5. カーソルボタンの後側（∧）／前側（∨）で設定したい選択肢にカーソルを合わせる
6. ENTERボタンを押す
   他の項目の設定を変更するときは、手順2〜6を繰り返します。
7. SETUPボタンを押す
   初期設定画面が消えます。

- 初期設定を終了してから再び初期設定画面を表示させると、前回設定していた初期設定画面を表示します。

■ ディスクの種類によって変更できる/できない設定

ディスクの種類(DVD/CD)によって、変更できる設定が異なります。本機では選択項目の左にあるインジケーターの色で確認することができます。以下の表をご覧ください。変更した設定はすぐに有効になります。

インジケーターの色	ディスクの種類
青色、黄色	DVDのみ
緑色	ディスクの種類にかかわりません

■ 再生中に変更できない項目

再生中に設定を変更できない項目は、灰色で表示されます。
ストップ状態またはディスクを取り出してから操作を行ってください。

詳細な設定をする

初期設定画面には[**ベーシック**]と[**エキスパート**]の2種類があります。[**初期設定モード**]を[**エキスパート**]に設定すると、詳細な設定をすることができます。

エキスパート:
詳細な設定を表示します。
ベーシック:
基本的な設定を表示します。選択している項目の簡単な説明(ⓘ)が表示されます(出荷時の設定)。

ドルビーデジタル音声を調節する

★ **DJモードでのデジタル出力は自動変換されて、リニアPCMのみとなります。**

音声の強弱の幅(ダイナミックレンジ)を調節します。オーディオDRC(ダイナミックレンジコンプレッション)を切り換えることで、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生する効果があります。たとえば、テレビの会話などが聞きづらいときや深夜に映画を見るようなときに変更します。

- **操作方法はP.23をご覧ください。**

オフ:
オーディオDRCを解除します。高音質のスピーカーで臨場感が得られます(出荷時の設定)。
オン:
爆発音などの大音量を抑え、セリフなどが聞きやすくなります。

- オーディオDRCはドルビーデジタル音声にのみ働きます。
- ディスクによっては効果の少ないものがあります。
- オーディオDRCはデジタル出力(同軸)端子から出力される音声にも効果があります。
  ただし、[**Dolby Digital出力**]を[**Dolby Digital►PCM**]に設定して、さらに[**デジタル出力**]を[**オン**]に設定してください。
- オーディオDRCの効果は、お使いのスピーカーまたはAVアンプの音量設定などによっても変わります。実際に設定を切り換えながら、一番効果的な設定をお選びください。

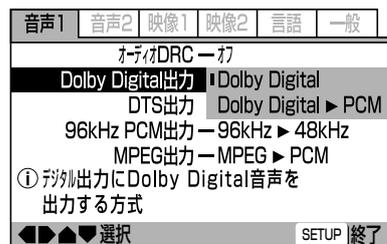
デジタル出力の設定をする

★ **DJモードでのデジタル出力は自動変換されて、リニアPCMのみとなります。**

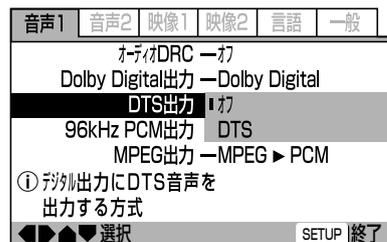
本機に接続したアンプが対応しているデジタル信号の種類を選択することができます。

- 適切な設定をしないと、ノイズが発生することがありますので注意してください。
- お手持ちのアンプの取扱説明書もあわせてお読みください。
- **操作方法はP.23をご覧ください。**

ドルビーデジタル出力 NORMAL

接続したアンプがドルビーデジタルに対応していない場合は、設定を[**Dolby Digital►PCM**]にします。

Dolby Digital:
ドルビーデジタル対応アンプまたはデコーダーと接続したときに選びます(出荷時の設定)。
Dolby Digital►PCM:
Dolby Digital信号をリニアPCM信号に変換して出力します。ドルビーデジタルに対応していないアンプと接続したときに選びます。

DTS出力 NORMAL

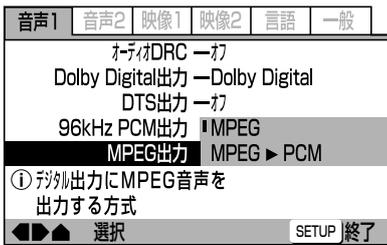
接続したアンプがDTS対応のときは、設定を[**DTS**]にします。

オフ:
DTSに対応していないアンプと接続したときに選びます(出荷時の設定)。
DTS:
DTS対応アンプ、またはデコーダーと接続したときに選びます。

96kHz PCM出力

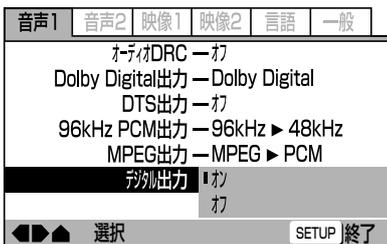
接続したアンプが96 kHz対応のときは、設定を[**96kHz**]にします。

96kHz►48kHz:
96 kHzの信号を48 kHzに変換して出力します。96 kHzに対応していないアンプと接続したときに選びます(出荷時の設定)。
96kHz:
96 kHz対応アンプまたはデコーダーと接続したときに選びます。

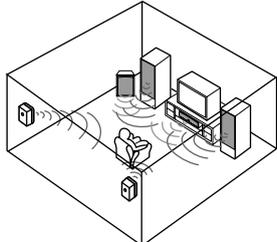
MPEG出力 NORMAL

接続したアンプがMPEG対応のときは、設定を[MPEG]にします。

MPEG：
MPEG対応アンプまたはデコーダーと接続したときに選びます。
MPEG▶PCM：
MPEG信号をリニアPCM信号に変換して出力します。MPEGに対応していないアンプと接続したときに選びます（出荷時の設定）。

デジタル出力をオン／オフする ［エキスパートモード］

デジタル音声出力端子から音声信号を出力しないように設定できます。

オン：
後面のデジタル出力端子から音声を出力します（出荷時の設定）。
オフ：
後面のデジタル出力端子から音声が出力されません。

■ 映画館のような迫力のあるサウンドが味わえる ドルビー＊1デジタル／DTS＊2 対応

ドルビーデジタル／DTS対応アンプなどと接続することで、5.1チャンネルで収録された映画／音楽DVDソフトを臨場感豊かに再現します。

■ バーチャルサラウンド機能を搭載

SRS (●) TruSurround

2つのスピーカーだけでも 5.1チャンネル音声の臨場感ある音声をお楽しみいただけます。
SRS TruSurround方式＊3 により、5.1チャンネルのデジタル音声データをダイレクトに処理します。

＊1 ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
＊2 "DTS"および"DTS Digital Out"は米国 Digital Theater Systems, Inc. の登録商標です。
＊3 TruSurround、SRS と (●) 記号は SRS Labs, Inc. の商標です。
TruSurroundは SRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。

[音声2]の設定をする

- **操作方法はP.23をご覧ください。**

サラウンド（立体音場）にする NORMAL

★ DJモードでは常にオフになります。
この機能は、音声出力端子に接続しているときのみ働きます。DTS音声、リニアPCM96 kHz 音声、CDを再生しているときは働きません。

オフ：
働きません（出荷時の設定）。
TruSurround：
サラウンド（立体音場）になります。

- DVDのドルビーデジタルの2ch音声ディスクで[TruSurround]を選択するとデジタル出力端子の音声レベルが小さくなります。また、ドルビーデジタル2ch以外のディスクで[**音声1**]の[**Dolby Digital出力**]の設定を[**Dolby Digital▶PCM**]にしているとき、[TruSurround]を選択するとデジタル出力端子から音声が出力されなくなります。
- ディスクによってはサラウンド効果の少ないものがあります。

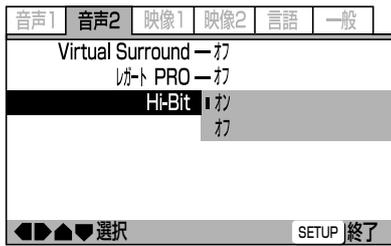
レガートPRO機能

4種類の音色の中から、お好みやお聞きになる曲に合わせて設定してください。それぞれの音色の特徴は下記をご覧ください。

オフ：
働きません（出荷時の設定）。
スタンダード：
臨場感があり、音に芯があるように感じられる音色です。
エフェクト1：
明るく華やかな音色です。
エフェクト2：
量感があり、柔らかく落ち着いた音色です。
エフェクト3：
重厚でバランスのとれた音色です。

- レガートPRO機能の切り換えによるオーディオ用デジタルフィルターの設定は、主に音声帯域外の特性を変化させています。
- 試聴環境によっては、音色の変化がわかりにくいことがあります。

Hi-Bit機能　[エキスパートモード] NORMAL

16 bit～20 bitの音声データを24 bitにすることにより、低レベルでも滑らかで繊細な音質を楽しむことができます。

オン：
Hi-Bit機能が有効になります（出荷時の設定）。
オフ：
働きません。

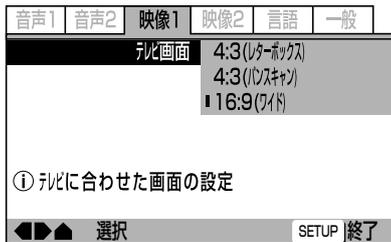
- **DJモードでは設定にかかわらず、常時24 bitで処理されます。**

[映像1]の設定をする

- 操作方法はP.23をご覧ください。

テレビに合わせて映像の縦横比を選ぶ

本機に接続したテレビにあわせて設定します。ワイドテレビに接続しているときは[**16:9（ワイド）**]に設定します。DVDの映画の多くは、ワイドテレビに対応しており、画面の比率（一般にアスペクト比と呼ばれています）が横16：縦9で記録されています。このため、DVDを従来サイズのテレビで見ると、映像が横4：縦3となり縦長になってしまいます。このような見えかたをなくすために、従来サイズのテレビをお使いのときは、[**4:3（レターボックス）**]、または[**4:3（パンスキャン）**]に設定してください。

- この設定は再生中に変更できません。

4:3（レターボックス）：
従来サイズのテレビと接続し、レターボックス方式で見たいときに選択します。
4:3（パンスキャン） NORMAL**：**
従来サイズのテレビと接続し、パンスキャン方式で見たいときに選択します。
16:9（ワイド）：
ワイド（16:9）テレビと接続したとき選択します（出荷時の設定）。

★ **DJモードでは、4:3（パンスキャン）には対応しません。パンスキャンが選択されている場合でもレターボックス設定で出力されます。**

- アスペクトの切り換えができるか、できないかはディスクによって異なります。詳しくはディスクのジャケットなどで確認してください。

■ 映像の見えかた

[従来サイズのテレビのとき]

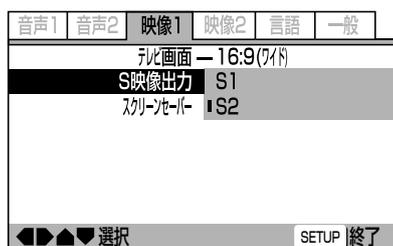
DVDに記録されている映像	本機の設定	映像の見えかた
16:9のディスク	4:3（レターボックス）	○ 上下に帯が付きますが正しく見えます
16:9のディスク	4:3（パンスキャン）	○ 画面の左右が切れますが正しく見えます
16:9のディスク	16:9（ワイド）	× 縦長に見えます このように見える場合は、本機の設定を[4:3（レターボックス）]または[4:3（パンスキャン）]に切り換えてください。
4:3のディスク	4:3（レターボックス） 4:3（パンスキャン） 16:9（ワイド） いずれの設定でも	○ 正しく見えます

[ワイドテレビのとき]

DVDに記録されている映像	本機の設定	映像の見えかた
16:9のディスク	16:9（ワイド）	○ 正しく見えます ディスクによっては上下に帯が付くことがあります。
4:3のディスク	16:9（ワイド）	○ 左右に帯が付きますが正しく見えます
		× 横長に見えます このように見える場合は、テレビ側の設定をノーマルに切り換えてください。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

S映像出力を切り換える　[エキスパートモード]

S映像出力端子から出力される映像信号を切り換えることができます。

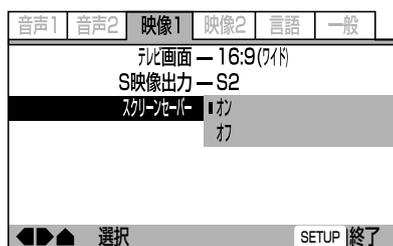
- 本機とテレビをS映像端子でつないでいるとき、映像を横方向に引き伸ばしてしまうことがあります。このようなときは[S1]を選択してください。

S2：
S2映像信号が出力されます(出荷時の設定)。
S1：
S1映像信号が出力されます。

S1映像出力
S1とは映像のアスペクト比（4：3、16：9）の識別信号が入ったS映像信号です。

S2映像出力
S1に加え、画像信号形態（レターボックス、パンスキャン）の識別信号が入ったS映像信号です。S2対応のワイドテレビでは、適切な映像モードに自動的に切り換わります。

スクリーンセーバーを設定する　[エキスパートモード]

スクリーンセーバーは、一時停止中など同じ画像が長時間表示されるときの画像の焼き付き(残像現象)を防ぐための機能です。

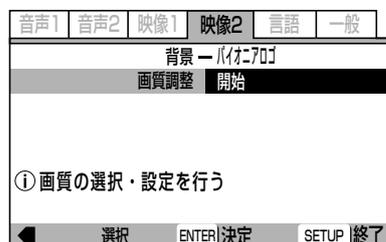
- 約5分間同じ画像が表示されるとスクリーンセーバー機能が働きます。

オン：
スクリーンセーバー機能が働きます(出荷時の設定)。
オフ：
スクリーンセーバー機能が働きません。

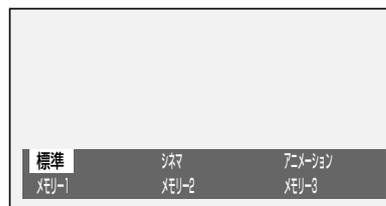
★ **DJモードでは、一時停止状態でスクリーンセーバー機能は動作しません。**

画質を調整する

映像（映画、アニメなど）に合わせた画質を選べます。また画質の設定項目をそれぞれお好みに調整して、さらにその設定を記憶しておくこともできます。初期設定画面を表示させた状態で再生を行うと、テレビの画面を見ながら画質を調整できます。

あらかじめ設定されている画質を選ぶ

1. カーソルボタンの左側（＜）／右側（＞）／後側（∧）／前側（∨）で［映像2］➡［画質調整］➡［開始］と選ぶ

2. ENTERボタンを押す
画質調整画面が表示されます。

3. ［ビデオメモリー選択］を選び、ENTERボタンを押す

4. カーソルボタンの左側（＜）／右側（＞）／後側（∧）／前側（∨）で好みの画質を選ぶ

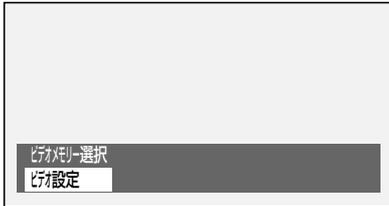
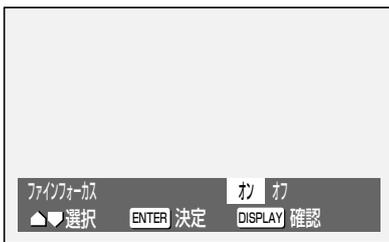
標準：
ディスクに記録されているそのままの画質です。
シネマ：
部屋を暗くして、映画館のような雰囲気で観賞するときに適した画質です。
アニメーション：
色をくっきりと表現する、アニメソフトに適した画質です。
メモリー1/メモリー2/メモリー3：
好みで調整した画質設定を記憶させることができます。次項の『**好みの画質に調整する**』をご覧ください。

5. ENTERボタンを押す
画質調整画面が消えます。

好みの画質に調整する

1. カーソルボタンの左側（<）／右側（>）／後側（∧）／前側（∨）で[映像2]➡[画質調整]➡[開始]と選び、ENTERボタンを押す

画質調整画面が表示されます。

2. カーソルボタンの後側（∧）／前側（∨）で[ビデオ設定]を選び、ENTERボタンを押す

3. カーソルボタンの後側（∧）／前側（∨）で調整する項目を選ぶ

DISPLAYボタンを押すと、調整項目の一覧を画面に表示します。もう一度押すと上の画面に戻ります。

ファインフォーカス：
[オン]に設定するとくっきりした高解像度の映像になります。
コントラスト：
最も明るい部分と最も暗い部分との明るさの比率を調整します。
シャープネス：
中域の周波数に対して画像の鮮明度を調整します。[**ファインフォーカス**]を[**オン**]に設定しているときには効果がありません。
色の濃さ：
色の濃さを調整します。色のりの多いアニメなどで効果があります。
色あい：
緑色と赤色のバランスを調整します。

4. カーソルボタンの左側（<）／右側（>）で各項目のレベルを調整する

[**ファインフォーカス**]の設定では[**オン**]、または[**オフ**]を選びます。

5. 手順3～4を繰り返してすべての項目を調整する

設定した内容を記憶させたいときはカーソルボタンの後側（∧）／前側（∨）で[**メモリー**]を選び、カーソルボタンの左側（<）／右側（>）で[**1**]、[**2**]、[**3**]のいずれかを選んで記憶させてください。

- すでに画質設定が記憶されているときは新しい設定内容が上書きされます。

6. ENTERボタンを押す

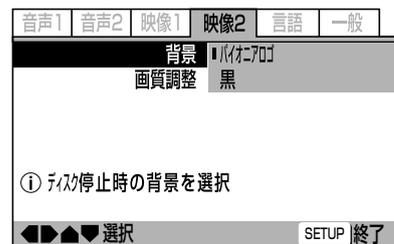
画質調整画面が消えます。

- ディスクやテレビ（モニター）によっては画質調整効果がはっきりしない場合があります。

[映像2]の設定をする

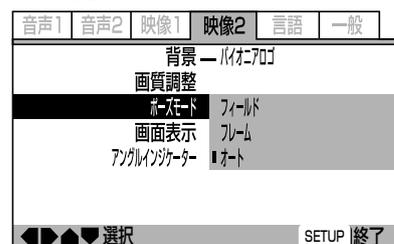
- **操作方法はP.23をご覧ください。**

背景を選ぶ

ディスクが停止しているときの画面の背景を選びます。

パイオニアロゴ：
パイオニアロゴを背景に表示します（出荷時の設定）。
黒：
黒色の背景色を表示します。

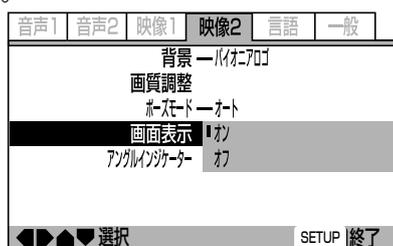
静止画像を切り換える　[エキスパートモード]

DVDを一時停止したときの画像のブレをなくし、画像を鮮明に見ることができます。

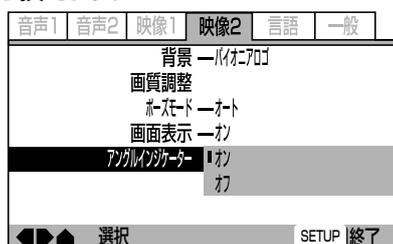
- ディスクによっては[**フィールド**]を選択しても画質が鮮明にならないことがあります。

フィールド：
静止画状態のとき、画像のブレをなくします。
フレーム：
通常モードです。
オート：
フィールドとフレームを自動的に切り換えます（出荷時の設定）。

- DJモードでは自動的に「**オート**」になります。

画面表示をオン／オフする [エキスパートモード]

本機が表示する操作表示などを表示するか、しないかを設定します。

オン:
画面表示をします(出荷時の設定)。
オフ:
画面表示をしません。

アングルマークを表示する [エキスパートモード]

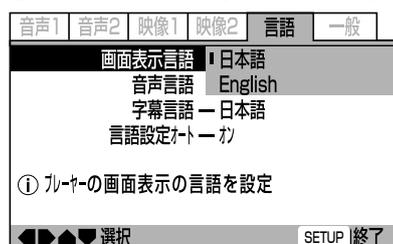
再生中に画面に表示されるマークを表示させたくないとき設定を変更します。DJモードでは、プレビュー映像出力のアングルマーク表示のオン／オフは、この設定にかかわらずDISPLAYボタンで切り換えます。

オン: 画面に マークを表示します(出荷時の設定)。
オフ: 画面に マークを表示しません。

[言語]の設定をする

DVDの中には1枚のディスクに複数の字幕や音声を収録し、目的に合わせて好きなように選べる機能を持っているものがあります。ここでは初期設定画面の[言語]にある、さまざまな言語と字幕に関する設定を行います。

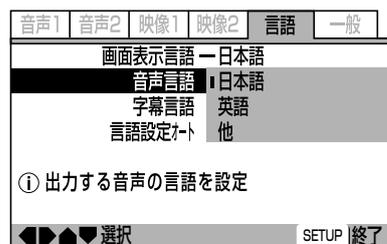
● **操作方法はP.23をご覧ください。**

画面表示言語を設定する

初期設定画面などに表示する言語を切り換えます。

日本語: 画面表示の言語が日本語になります(出荷時の設定)。
English: 画面表示の言語が英語になります。

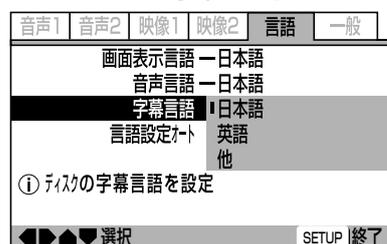
● DJモードでは、プレビュー映像などに表示されるガイド表示言語は、この設定にかかわらず英語になります。

音声言語を設定する

音声言語を選びます。この設定は再生中に変更できません。

日本語:
音声言語が日本語になります(出荷時の設定)。
英語:
音声言語が英語になります。
他:
136言語の中から任意の音声を選びます。
30ページの『**■ 字幕言語/音声言語/DVD言語の設定で[他]を選んだとき**』をご覧ください。

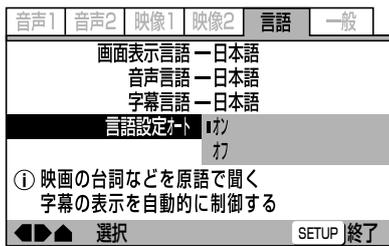
字幕言語を設定する NORMAL

表示する字幕言語を選びます。この設定は再生中に変更できません。

★ DJモードでは、字幕は表示されません。

日本語:
日本語の字幕を表示します(出荷時の設定)。
英語:
英語の字幕を表示します。
他:
136言語の中から任意の字幕を選びます。
30ページの『**■ 字幕言語/音声言語/DVD言語の設定で[他]を選んだとき**』をご覧ください。

● 音声、または字幕言語の設定で選択した言語がディスクに記録されていないときはディスクのオリジナルの言語が選択されます。

音声と字幕を自動的に設定する

音声と字幕を自動設定にするか、または初期設定で設定した音声/字幕にするかを選びます。この設定は再生中に変更できません。

オン:
[**音声言語**]と[**字幕言語**]が同じとき、および字幕表示がオンのとき有効となります(出荷時の設定)。一般の洋画DVDでは音声はオリジナル言語、字幕は日本語が選択され、邦画DVDでは音声は日本語、字幕はオフになります。ただし、ディスクによってはこのように動作しないものもあります。

オフ:
再生中の音声のオート設定が解除され、[**音声言語**]と[**字幕言語**]で設定している音声と字幕になります。

DVDのメニュー言語を設定する [エキスパートモード]

DVDの中にはメニューを持っているものがあります。そのメニューを表示するときの言語を選びます。

- この設定は再生中に設定できません。

字幕言語に連動:
[**字幕言語**]で選択されている言語でメニュー画面が表示されます(出荷時の設定)。

日本語:
日本語でメニュー画面が表示されます。

英語:
英語でメニュー画面が表示されます。

他:
136言語の中から任意の言語を選びます。詳しくは『**■ 字幕言語/音声言語/DVD言語の設定で[他]を選んだとき**』をご覧ください。

■ 字幕言語/音声言語/DVD言語の設定で[他]を選んだとき

P.31の**言語コード表**を見ながら操作します。DVDに収録されていない言語を設定したときは、収録されているいずれかの言語でメニュー画面が表示されます。

1. [他]を選び、ENTERボタンを押す

言語選択画面が表示されます。

[例]音声言語の場合

2. [言語表]、または[コード]を選ぶ

言語によっては言語コードしか表示されないものがあります。詳しくは**言語コード表**をご覧ください。

- 画面中の[コード]の(　)の中の数字は、設定できる数字の範囲を示しています。

以下のいずれかの操作をします。

■ [コード]で言語を選ぶとき

- **1ケタごとにカーソルボタンの後側(∧)／前側(∨)を押して数字を選択します(カーソルボタンの左側(<)／右側(>)を押してケタを移動します。)**

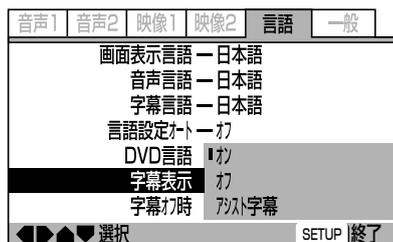
■ [言語表]で言語を選ぶとき

- [例] フランス語を選ぶ場合
  カーソルボタンの後側(∧)を2回押します

3. ENTERボタンを押す

字幕表示をオン/オフする ［エキスパートモード］

字幕を表示する、字幕を表示しない、またはアシスト字幕を表示するのいずれかを選びます。

- この設定は再生中に設定できません。

オン：
字幕を表示します（出荷時の設定）。

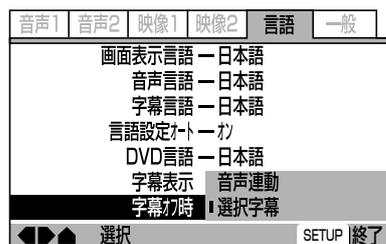
オフ：
字幕を表示しません。ただし、DVDの中には強制的に字幕を表示するものがあります（右記）。

アシスト字幕：
［**アシスト字幕**］は、たとえば耳の不自由な方のために場面の状況を説明する字幕です。この項目を選ぶと、アシスト字幕を表示します。ただし、アシスト字幕はディスクに収録されている場合のみ表示します。

強制的に表示される字幕の言語を設定する

［エキスパートモード］

DVDの中には、［**字幕表示**］を［**オフ**］にしても、強制的に字幕が表示されるものがあります。そのときの字幕の言語を選びます。

- この設定は再生中に設定できません。

音声連動：
再生されている音声の言語で字幕を表示します。

選択字幕：
初期設定画面の［**字幕言語**］で選択されている言語で字幕を表示します（出荷時の設定）。

言語コード表

言語名（言語コード）	入力コード	言語名（言語コード）	入力コード	言語名（言語コード）	入力コード
Japanese/japonais (ja)	1001	Hausa (ha)	0801	Quechua (qu)	1721
English/anglais (en)	0514	Hindi (hi)	0809	Rhaeto-Romance (rm)	1813
French (fr)	0618	Croatian (hr)	0818	Kirundi (rn)	1814
German (de)	0405	Hungarian (hu)	0821	Romanian (ro)	1815
Italian (it)	0920	Armenian (hy)	0825	Kinyarwanda (rw)	1823
Spanish (es)	0519	Interlingua (ia)	0901	Sanskrit (sa)	1901
Dutch (nl)	1412	Interlingue (ie)	0905	Sindhi (sd)	1904
Russian (ru)	1821	Inupiak (ik)	0911	Sangho (sg)	1907
Chinese (zh)	2608	Indonesian (in)	0914	Serbo-Croatian (sh)	1908
Korean (ko)	1115	Icelandic (is)	0919	Sinhalese (si)	1909
Greek (el)	0512	Hebrew (iw)	0923	Slovak (sk)	1911
Afar (aa)	0101	Yiddish (ji)	1009	Slovenian (sl)	1912
Abkhazian (ab)	0102	Javanese (jw)	1023	Samoan (sm)	1913
Afrikaans (af)	0106	Georgian (ka)	1101	Shona (sn)	1914
Amharic (am)	0113	Kazakh (kk)	1111	Somali (so)	1915
Arabic (ar)	0118	Greenlandic (kl)	1112	Albanian (sq)	1917
Assamese (as)	0119	Cambodian (km)	1113	Serbian (sr)	1918
Aymara (ay)	0125	Kannada (kn)	1114	Siswati (ss)	1919
Azerbaijani (az)	0126	Kashmiri (ks)	1119	Sesotho (st)	1920
Bashkir (ba)	0201	Kurdish (ku)	1121	Sundanese (su)	1921
Byelorussian (be)	0205	Kirghiz (ky)	1125	Swedish (sv)	1922
Bulgarian (bg)	0207	Latin (la)	1201	Swahili (sw)	1923
Bihari (bh)	0208	Lingala (ln)	1214	Tamil (ta)	2001
Bislama (bi)	0209	Laothian (lo)	1215	Telugu (te)	2005
Bengali (bn)	0214	Lithuanian (lt)	1220	Tajik (tg)	2007
Tibetan (bo)	0215	Latvian (lv)	1222	Thai (th)	2008
Breton (br)	0218	Malagasy (mg)	1307	Tigrinya (ti)	2009
Catalan (ca)	0301	Maori (mi)	1309	Turkmen (tk)	2011
Corsican (co)	0315	Macedonian (mk)	1311	Tagalog (tl)	2012
Czech (cs)	0319	Malayalam (ml)	1312	Setswana (tn)	2014
Welsh (cy)	0325	Mongolian (mn)	1314	Tonga (to)	2015
Danish (da)	0401	Moldavian (mo)	1315	Turkish (tr)	2018
Bhutani (dz)	0426	Marathi (mr)	1318	Tsonga (ts)	2019
Esperanto (eo)	0515	Malay (ms)	1319	Tatar (tt)	2020
Estonian (et)	0520	Maltese (mt)	1320	Twi (tw)	2023
Basque (eu)	0521	Burmese (my)	1325	Ukrainian (uk)	2111
Persian (fa)	0601	Nauru (na)	1401	Urdu (ur)	2118
Finnish (fi)	0609	Nepali (ne)	1405	Uzbek (uz)	2126
Fiji (fj)	0610	Norwegian (no)	1415	Vietnamese (vi)	2209
Faroese (fo)	0615	Occitan (oc)	1503	Volapük (vo)	2215
Frisian (fy)	0625	Oromo (om)	1513	Wolof (wo)	2315
Irish (ga)	0701	Oriya (or)	1518	Xhosa (xh)	2408
Scots-Gaelic (gd)	0704	Panjabi (pa)	1601	Yoruba (yo)	2515
Galician (gl)	0712	Polish (pl)	1612	Zulu (zu)	2621
Guarani (gn)	0714	Pashto, Pushto (ps)	1619		
Gujarati (gu)	0721	Portuguese (pt)	1620		

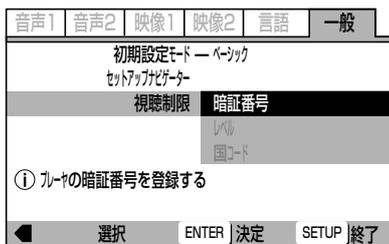
視聴制限をする（パレンタルロック）

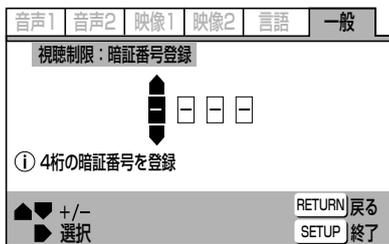
暴力シーンなどを含むDVDの中には、視聴制限のレベルを設けたものがあります（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます）。本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。たとえば、本機のレベルを6に設定しておくと、レベル7、レベル8のディスクを再生するためにはあらかじめ登録した暗証番号の入力が必要です。

- **操作方法はP.23をご覧ください。**

暗証番号を登録する

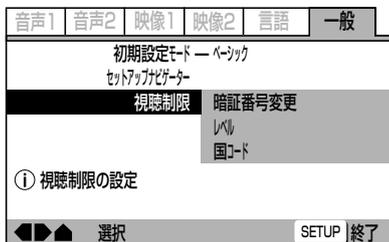
1. カーソルボタンの左側（<）／右側（>）／後側（∧）／前側（∨）で[一般]➡[視聴制限]➡[暗証番号]を選ぶ

最初に暗証番号を登録します。暗証番号を登録していないと[**レベル**]、および[**国コード**]を選択することはできません。

2. ENTERボタンを押す

[暗証番号登録]の画面が表示されます。

3. 暗証番号を4ケタで入力する

- カーソルボタンの後側（∧）／前側（∨）で1ケタごとに数字を選び、左側（<）／右側（>）でケタを移動します。

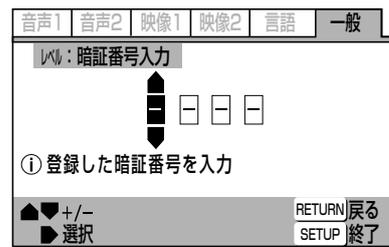
4. ENTERボタンを押す

以下の初期設定画面が表示されます。

暗証番号変更：
暗証番号を変更します。
レベル：
視聴制限のレベルを変更します。
国コード：
国コードを変更します。

- 暗証番号はメモしておくことをお勧めします。
- 暗証番号を忘れてしまったときは、出荷時の設定に戻して、再度設定してください。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみをとばして再生するものもあります。詳しくはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。

レベルを変更する

1. [レベル]を選び、ENTERボタンを押す

[暗証番号入力]の画面が表示されます。

2. すでに登録している暗証番号を4ケタで入力する

カーソルボタンの後側（∧）／前側（∨）で1ケタごとに数字を選び、左側（<）／右側（>）でケタを移動して、4ケタを入力します。

3. ENTERボタンを押す

視聴制限レベルの設定画面が表示されます。出荷時は[**オフ**]に設定されています。

4. カーソルボタンの左側（<）／右側（>）でレベルを選び、ENTERボタンを押す

視聴制限のレベルが設定されます。

■ 視聴制限できるDVDを再生するには

視聴制限されたディスクを再生すると暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。暗証番号を入力しないと再生することができません。
以下の手順で操作します。

① カーソルボタンの後側（∧）／前側（∨）で1ケタごとに数字を選び、左側（<）／右側（>）でケタを移動して、4ケタの暗証番号を入力する。
② ENTERボタンを押す。

暗証番号を変更するには

1. [暗証番号変更]を選び、ENTERボタンを押す

暗証番号入力の画面が表示されます。

2. すでに登録している暗証番号を入力する

カーソルボタンの後側（∧）／前側（∨）で1ケタごとに数字を選び、カーソルボタンの左側（<）／右側（>）でケタを移動して、4ケタを入力します。

3. ENTERボタンを押す
暗証番号変更の画面が表示されます。

4. 新しい暗証番号を4ケタで入力する
カーソルボタンの後側（∧）／前側（∨）で1ケタごとに数字を選び、左側（<）／右側（>）でケタを移動して、4ケタを入力します。

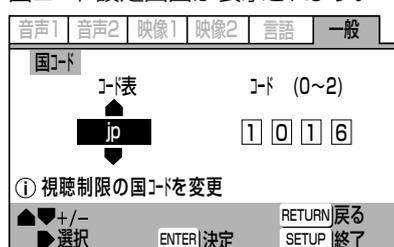
5. ENTERボタンを押す
暗証番号が変更されます。

国コードを変更する

右側の国コード表を見ながら操作します。

1. [国コード]を選び、ENTERボタンを押す
[暗証番号入力]の画面が表示されます。

2. すでに登録している暗証番号を4ケタで入力する
カーソルボタンの後側（∧）／前側（∨）で1ケタごとに数字を選び、左側（<）／右側（>）でケタを移動して、4ケタを入力します。

3. ENTERボタンを押す
国コード設定画面が表示されます。

4. [コード表]、または[コード]を選ぶ
画面中の[コード]の（　）の中の数字は、設定できる数字の範囲を示しています。

■ [コード]で国コードを選ぶとき

[例] 日本を選ぶ場合
カーソルボタンの後側（∧）／前側（∨）で1ケタごとに数字を選び、左側（<）／右側（>）でケタを移動して、4ケタ（1、0、1、6）を入力します。

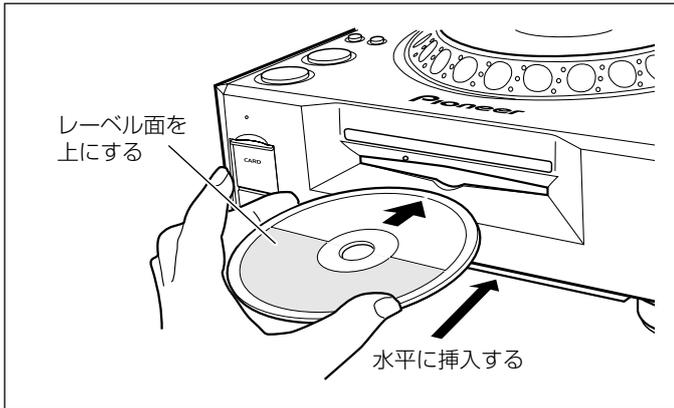
■ [コード表]で国コードを選ぶとき

[例] 日本を選ぶ場合
カーソルボタンの後側（∧）／前側（∨）で[jp]を選びます。

5. ENTERボタンを押す

国/地域コード表

国/地域名	入力コード	国/地域コード
アメリカ	2119	us
アルゼンチン	0118	ar
イギリス	0702	gb
イタリア	0920	it
インド	0914	in
インドネシア	0904	id
オーストラリア	0121	au
オーストリア	0120	at
オランダ	1412	nl
カナダ	0301	ca
韓国	1118	kr
シンガポール	1907	sg
スイス	0308	ch
スウェーデン	1905	se
スペイン	0519	es
タイ	2008	th
台湾	2023	tw
中国	0314	cn
チリ	0312	cl
デンマーク	0411	dk
ドイツ	0405	de
日本	1016	jp
ニュージーランド	1426	nz
ノルウェー	1415	no
パキスタン	1611	pk
フィリピン	1608	ph
フィンランド	0609	fi
ブラジル	0218	br
フランス	0618	fr
ベルギー	0205	be
ポルトガル	1620	pt
香港	0811	hk
マレーシア	1325	my
メキシコ	1324	mx
ロシア	1821	ru

ディスクの入れ方・出し方

1. 後面の電源スイッチをオンにする。

電源スイッチがオフの状態でディスクを無理に挿入しないでください。ディスクの破損や本機の故障の原因になります。

2. ディスクを入れる。
   - ディスクはレーベル面を上にして、前面のディスク挿入口に水平に挿入してください。
   - 8 cmCDディスクの場合はアダプターを装着してください。
   - 装着できるディスクは1枚のみです。一度にディスクを2枚以上挿入したり、プレイ時にディスクを無理に挿入しないでください。
   - ディスクを挿入するとき、ディスクがたわむような力を加えたり、無理に押し込んだりしないでください。また、本機がディスクを引き込もうとしているときや排出しようとしているときに、その動きに逆らうような力をディスクに加えないでください。ディスクの破損や本機の故障の原因となります。
3. UNLOCK/LOCKスイッチがUNLOCK位置のときは、EJECT▲ボタンを押してディスクを取り出す。
   UNLOCK/LOCKスイッチがLOCK位置のときは、再生中にPLAY/PAUSE(▶/II)ボタンを押すか、またはキューポイントが設定されている場合は再生中にCUEボタンを押して(バックキュー)からEJECT▲ボタンを押して、ディスクを取り出す。
   - ボタンを押すとディスクの回転が止まり、ディスク挿入口からディスクが出てきます。

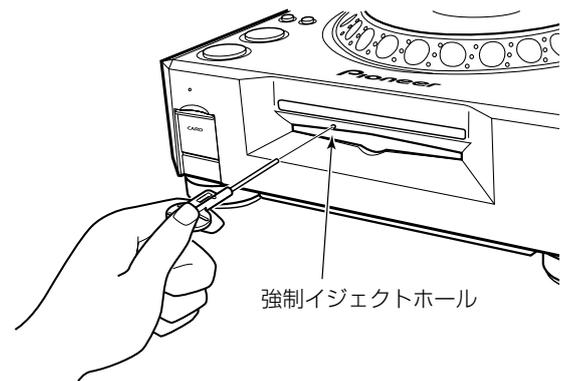
ご注意：
「EJECT」表示中にはディスクを押し戻さないでください。
「EJECT」表示中にイジェクト中のディスクを押し戻すと、動作が停止することがあります。このときはEJECT▲ボタンを押し、「EJECT」表示が消えてからディスクを挿入してください。

CDシングル(8 cmディスク)を再生するときのご注意：
① CDシングル(8 cmディスク)を再生するときは、必ず8 cm CDアダプターを使用してください。プレーヤーに挿入する前に、ディスクがツメに正しく装着されていることを必ず確認してください。誤って、アダプターなしで8 cmディスクを挿入したときは、すぐにEJECT▲ボタンを押してディスクを取り出してください。EJECT▲ボタンを一度押してもディスクが出てこない場合は、もう一度押してください。
② 8 cmディスク用アダプターは COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの付いたもの(推奨規格適合品)を使用してください。また、アダプターを装着したときに、ディスクが空回りしやすいものや、反り、ねじれがあるものは使用しないでください。

ディスクの強制イジェクトについて

本機が故障し、EJECT▲ボタンが機能しなくなったりディスクを取り出せなくなったときに、プレーヤー部前面の強制イジェクトホールに付属品のピンを押し込むことにより、ディスクを取り出すことができます。
強制イジェクトを行うときは、必ず下記の事項を厳守してください。
① 必ずプレーヤーの電源を切り、1分以上待ちます。

電源を切ってすぐに強制イジェクトを行った場合、次のような危険を伴いますので絶対に行わないでください。
- ディスクが回転したままプレーヤーの外部に出てくるため、指などに当たり、ケガをする危険があります。
- ディスクのクランプが不安定な状態で回転するため、ディスクに傷がつきます。

② 必ず付属品のピンを使用してください(他のものは使用しないでください)。**付属のピンは本機の底面にはめ込んであります。**
付属品のピンを強制イジェクトホールに**根元まで**押し込むと、ディスクがディスク挿入口から5 mm～10 mmほど出てきますので、指でつまんで引き抜いてください。

本機は8 cm DVDの再生はできません。
CD用の8 cmアダプターは絶対に使用しないでください。回転中にアダプターが外れてディスクや本機が破損する恐れがあります。

基本操作

DJ マークを付けた機能はNORMAL/DJスイッチがNORMALの場合は動作しません。
NORMAL マークを付けた機能はNORMAL/DJスイッチがDJの場合は動作しません。

再生の開始

使用するディスクの種類や、後面パネルのNORMAL/DJスイッチの設定、オートキューの設定などにより異なった動作になります。

CDをセットした時

後面パネルの**NORMAL/DJスイッチ**が「NORMAL」の場合は、1曲目から自動的に再生を始め、最終曲が終わると再生を終了(停止)します。DJ用の特殊機能は使えません。
後面パネルの**NORMAL/DJスイッチ**が「DJ」の場合は、オートキュー機能がオフの時は1曲目から自動的に再生を始め、最終曲が終わると再生を停止し待機します。オートキュー機能がオンの時は自動頭出しをしてキューインジケーターが点灯し、プレイ／ポーズインジケーターが点滅して、再生待機状態になります。ここで**PLAY/PAUSE(▶/II)ボタン**を押すと表示したトラックの無音部分をとばして、瞬時に再生を始めます。1曲の再生を終了すると、次の再生曲の頭出しをしてキューインジケーターが点灯し、プレイ／ポーズインジケーターが点滅して、再生待機状態になります。**PLAY/PAUSE(▶/II)ボタン**を押すと次曲の再生がスタートします。
MP3が記録されたCD再生時は、最初のフォルダー内の１曲目から自動的に再生を始め、フォルダー内の最終曲が終わると再生を停止し待機します。

DVDをセットした時

市販タイトルディスクで、「警告・注意」等の強制表示が設定されているディスクでは、まずこれが再生されます(この再生をスキップすることはできません)。メニュー画面付DVDで自動再生開始が設定されていないディスクでは、次にメニュー画面が再生されます。**MENUボタン**または**T.MENUボタン**を押してメニュー画面にすることもできます。メニュー画面では、音声や字幕の言語を切り換えたり、特別に収録された映像などを見ることができます。

[例]

Main Menu	
1	Highlight Clips
2	Chapter List
3	予告編
4	字幕
5	音声
6	本編 Start

ディスクによってメニューの表示形態、表示内容、操作方法が異なります。基本操作は**カーソルボタン(</>/∧/∨)**で項目を選び、**ENTERボタン**で決定するという手順になります。メニュー画面の詳しい操作方法については、ディスクに添付されている操作ガイドなどをご覧ください。
★ **メニュー画面ではDJ操作はできません。**

後面パネルの**NORMAL/DJスイッチ**が「NORMAL」の場合は、自動再生開始が設定されているディスクおよびメニュー画面で「本編Start」を選択すると再生を始めます。DJ用の特殊機能は使えません。
後面パネルの**NORMAL/DJスイッチ**が「DJ」の場合は、オートキュー機能(次項参照)がオフのときは、自動再生開始が設定されているディスクおよびメニュー画面で「本編Start」を選択すると再生を始めます。オートキュー機能がオンのときは自動頭出しをしてキューインジケーターが点灯し、プレイ／ポーズインジケーターが点滅して、再生待機状態になります。ここで**PLAY/PAUSE(▶/II)ボタン**を押すと表示したチャプターの無音部分をとばして、瞬時に再生を始めます。1曲の再生を終了すると、次の再生曲の頭出しをしてキューインジケーターが点灯し、プレイ／ポーズインジケーターが点滅して、再生待機状態になります。**PLAY/PAUSE(▶/II)ボタン**を押すと次曲の再生がスタートします。

● ディスクまたは再生部分によっては上記動作にならない場合があります。

ジョグダイヤル

オートキュー機能 DJ

★ **この機能は後面パネルのNORMAL/DJスイッチがNORMAL位置のときは動作しません。**

ディスクをセットした時とトラックサーチ（チャプターサーチ）の時および再生のトラック（チャプター）が変わった時に、実際に音声が始まる直前でキューポイントの設定（P. 39）を自動的に行う機能です。10秒間探して見つからない場合は、トラックの頭をキューポイントに設定します。

■ オートキュー機能をオン／オフするには

TIME MODE/AUTO CUEボタンを1秒以上押し続けるとオートキュー機能をオン／オフできます。表示部のオートキューインジケーター（A.CUE）が点灯するとオンです。

- 電源をオフしてもAUTO CUEのオン／オフ状態は記憶されます。
- オートキューレベルを変えることができます。

■ オートキューレベルの変更

1. **TIME MODE/AUTO CUEボタンを5秒以上押し続ける。**
   - 表示部に「A.CUE−60dB」（初期状態の場合）と表示されます。
2. **カーソルボタンの左側（<）または右側（>）を押して設定レベルを変更する。**
   - −36 dB、−42 dB、−48 dB、−54 dB、−60 dB、−66 dB、−72 dB、−78 dBから選べます。
   - TIME MODE/AUTO CUEボタンを押すか、15秒間放置するとレベル可変モードは解除されます。
   - 電源をオフしても、設定レベルは記憶されます。

再生を停止するには

■ **UNLOCK/LOCKスイッチがUNLOCK位置のときは：STOPボタンを押す。**

■ **UNLOCK/LOCKスイッチがLOCK位置のときは：再生中にPLAY/PAUSE（▶/❚❚）ボタンを押すか、またはキューポイントが設定されている場合は再生中にCUEボタンを押して（バックキュー）から、STOPボタンを押す。**

- STOPボタンを押すと、停止した場所を記憶します（レジューム機能）。
- 停止した場所から再生するには、PLAY/PAUSE（▶/❚❚）ボタンを押します。
- DVD TITLE/MP3 FOLDER⇐/⇒ボタンやPREVIOUS⏮/NEXT⏭ボタンを押すとレジューム機能が解除します。

ディスクを取り出すには

1. **UNLOCK/LOCKスイッチがUNLOCK位置のときは、EJECT⏏ボタンを押す。**
   UNLOCK/LOCKスイッチがLOCK位置のときは、再生中にPLAY/PAUSE（▶/❚❚）ボタンを押すか、またはキューポイントが設定されている場合は再生中にCUEボタンを押して（バックキュー）からEJECT⏏ボタンを押す。
   - 再生を終了し、ディスクが出てきます。

レジューム機能

- UNLOCK/LOCKスイッチがUNLOCK位置のときに、誤ってEJECT⏏ボタンを押した場合でも、すぐにPLAY/PAUSE（▶/❚❚）ボタンを押せば、EJECT⏏ボタンを押す直前の状態になります。ただし、この間の映像音声出力は停止します。
- ディスクのイジェクト後、再度同じディスクを挿入すると、イジェクトする直前の状態になります（ループを除く）。
- ディスクのイジェクト後、DVD TITLE/MP3 FOLDER⇐/⇒ボタンやPREVIOUS⏮/NEXT⏭ボタンを押すと、レジューム機能は解除されます。
- NORMALモードでのDVD再生時はレジューム機能が働かない場合があります。

再生を一時停止するには

再生中にPLAY/PAUSE（▶/❚❚）ボタンを押す。

- プレイ／ポーズインジケーターとキューインジケーターが点滅し、再生を中断します。
- DVDで一時停止がディスクにより禁止されている場合は、表示部の禁止マーク「⃠」が点灯し、画面に「⃠」が表示されて再生を続けます。
- 一時停止状態でPLAY/PAUSE（▶/❚❚）ボタンを押すと、プレイ／ポーズインジケーターが点灯し、再生を再開します。
- 一時停止状態で100分間以上操作しないと、自動的にディスクの回転が停止します。このときPLAY/PAUSE（▶/❚❚）ボタンを押せば再生を再開します。

[DJモードで、ジョグモードがVINYLモードOFFのときは]

- 一時停止中は、静止画で音出しポーズ（再生音がとぎれとぎれに出力される）になります。音を出したくない時はオーディオミキサーの出力レベルを下げてください。

[DJモードで、ジョグモードがVINYLモードONのときは]

- 一時停止中は、静止画で音無しポーズになります。
- TOUCH/BRAKEつまみで再生が止まるまでの減速時間を調整できます。
- RELEASE/STARTつまみで再生再開時の加速時間を調整できます。

[NORMALモードのときは]

- 一時停止中は、静止画で音無しポーズになります。

再生中に音声／字幕を切り換える（DVDのみ）

■ 再生中に音声を切り換える

複数の音声が記録されているDVDでは、再生する音声言語を変更することができます。

AUDIOボタンを押す。

現在選択している音声が画面に表示されます。押すたびに音声が切り換わります。

- DJモード時に切り換えると音声と映像が一旦停止します（バッファメモリ書き換えのため）。
- AUDIOボタンで音声を切り換えることができないディスクがあります（ボタンを押すと表示部の禁止マーク「⃠」が点灯し、画面に「⃠」が表示されます）。このような場合はディスクのメニュー画面で切り換えてください。
- ディスクを取り出すと、初期設定画面で選択された設定に戻ります。
- ディスクによっては音声を切り換えたときに一瞬静止画になることがあります。

■ 再生中に字幕を切り換える NORMAL

★ **この機能は後面パネルのNORMAL/DJスイッチがDJ位置のときは動作しません(DJモードでは字幕は表示されません)。**

複数の言語で字幕が記録されているDVDでは、表示する字幕言語を変更することができます。

SUBTITLEボタンを押す。

現在選択している字幕の種類が画面に表示されます。押すたびに字幕表示が切り換わります(「オフ」を選べば字幕が消えます)。

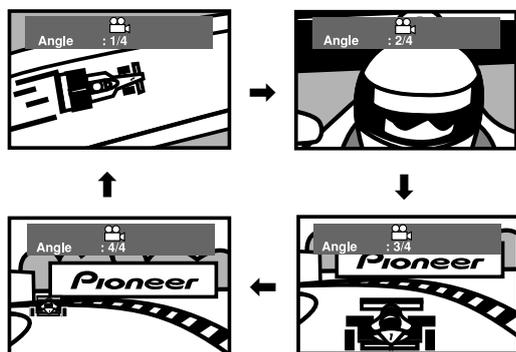
- SUBTITLEボタンで字幕を切り換えることができないディスクがあります(ボタンを押すと表示部の禁止マーク「⦸」が点灯し、画面に「⦸」が表示されます)。このような場合はディスクのメニュー画面で切り換えてください。
- ディスクを取り出すと、初期設定画面で選択された設定に戻ります。

映像のアングルを切り換える(DVDのみ)

複数の方向(アングル)から写した映像が収録されているDVDでは、再生中にアングルを切り換えることができます。

- 複数のアングルが収録されたDVDのジャケットには「🎥」マークが付いています。

再生中に 🎥 マークが表示されたら、ANGLEボタンを押す。

押すたびにアングルが切り換わります。

- DJモード時に切り換えると音声と映像が一旦停止します(バッファメモリ書き換えのため)。
- ディスクによっては「🎥」マークが表示されてもアングルを切り換えることができないものがあります。
- 一時停止中にアングルを切り換えると、一時停止は解除されます。(NORMALモード時、または「DISABLE DJ MODE」表示中)
- 一部のDVDでは、ディスクのメニュー画面でもアングルを切り換えることができます。

🎥 マークを表示させたくない場合

NORMALモード時は、初期設定画面の[**アングルインジケーター**]を[**オフ**]にします(P.29)。

DJモード時は、初期設定画面の[**アングルインジケーター**]の設定にかかわらず、🎥マークの再生中の個別での表示は行われません。

ディスプレイモードがオン(表示有り)の場合、プレビュー画面の再生時間等のガイドエリア内にアングル切り換え可能なポイント再生中に、🎥マークが表示されます。

早送り／早戻しをするには

再生中または一時停止中にREV◀◀/FWD▶▶ボタンを押す。

[CD再生中]
FWD▶▶ボタンを押している間、早送りします。
REV◀◀ボタンを押している間、早戻しします。

[DJモードでDVD再生中]
FWD▶▶ボタンを押している間、早送りします。
REV◀◀ボタンを押している間、早戻しします。
同一タイトル内での早送り／早戻しとなります。

[NORMALモードでDVD再生中]
FWD▶▶ボタンを押すと、早送りします。
REV◀◀ボタンを押すと、早戻しします。
ボタンを単発で押すと、押すたびに速さが変わります(3段階)。
サーチ状態から再生状態に戻すときは、PLAY/PAUSE(▶/❚❚)ボタンを押します。
マニュアルサーチ中の音声は出力されません。

- DVDでマニュアルサーチ動作がディスクにより禁止されている場合は、表示部の禁止マーク「⦸」が点灯し、画面に「⦸」が表示されて再生を続けます。
- DJモードでDVD再生において、ディスクまたは再生している部分によっては上記動作にならない場合があります。
- MP3の場合、同一フォルダー内のみで早送り、早戻しできます。
- MP3の場合、再生する曲によっては早送り、早戻しの速さが遅くなる場合があります。

■ スーパー・ファースト・サーチ DJ

REV◀◀/FWD▶▶ボタンのどちらかを押しながらジョグダイヤルを回す。

★ **この機能は後面パネルのNORMAL/DJスイッチがNORMALの場合は動作しません。**

- ボタンを押しながらサーチしたい方向にジョグダイヤルを回すと、高速早送りまたは高速早戻し動作をするモードに入ります。
- サーチ速度はジョグダイヤルの回転速度で変化します。DVDの場合は一定速度の高速サーチになります。
- サーチ方向はジョグダイヤルの回転方向に追従します。
  マニュアルサーチボタンの方向は無視されます。
- ジョグダイヤルを回すのを止めると、再生状態になります。
- マニュアルサーチボタンを離すと、このモードは解除されます。
- MP3の場合、同一フォルダー内のみで早送り、早戻しできます。
- MP3の場合、再生する曲によっては早送り、早戻しの速さが遅くなる場合があります。

ジョグダイヤル

スキップするには

PREVIOUS⏮/NEXT⏭ボタンを押す。

- 1回押すたびに、指定方向のチャプター(DVD)またはトラック(CD)にスキップします。再生中の曲の曲頭にスキップするにはPREVIOUS⏮を1回押してください。再生中に前の曲にスキップするには、続けて2回PREVIOUS⏮を押してください。
- 押し続けると連続送りになります。2秒以上押し続けると、送り速度が速くなります。
- オートキューが設定されていて、曲頭でキュースタンバイ中にPREVIOUS⏮を押すと、1曲前の曲頭でキュースタンバイします。
- MP3では、指定された方向で最初に見つかったトラックにスキップし、同一フォルダー内のみがスキップの対象となります。

[CDでは]
- 最初の曲(トラック01)の始めで続けて2回PREVIOUS⏮を押すと最終曲にスキップします。
  MP3のときは、一番若い番号のトラックからバックすると、同一フォルダーの最後のトラックへスキップします。
- 最終曲からNEXT⏭を押すと最初の曲(トラック01)にスキップします。
  MP3のときは、最後のトラックから進めると、同一フォルダーの一番若い番号のトラックへスキップします。

[DJモード時のDVDでは]
- 最初の曲(チャプター001)の始めで続けて2回PREVIOUS⏮を押すと最終曲にスキップします。
- 最終曲からNEXT⏭を押すと最初の曲(チャプター001)にスキップします。

[NORMALモード時のDVDでは]
- 最終曲からNEXT⏭を押すと次のタイトルをサーチします。

- DVDでチャプターサーチ動作がディスクにより禁止されている場合は、表示部の禁止マーク「⦸」が点灯し、画面に「🚫」が表示されて再生を続けます。
- DJモードでDVD再生において、ディスクまたは再生している部分によっては上記動作にならない場合があります。

■ スーパー・ファースト・トラックサーチ DJ

PREVIOUS⏮/NEXT⏭ボタンのどちらかを押しながらジョグダイヤルを回す。

★ **この機能は後面パネルのNORMAL/DJスイッチがNORMALの場合は動作しません。**

- ボタンを押しながらスキップしたい方向にジョグダイヤルを回すと、ジョグダイヤルの回転量に応じて高速スキップ動作をするモードに入ります。
- スキップ方向はジョグダイヤルの回転方向に追従します。PREVIOUS⏮/NEXT⏭ボタンの方向は無視されます。
- PREVIOUS⏮/NEXT⏭ボタンを離すと、このモードは解除されます。

タイトルサーチするには(DVDのみ)

DVD TITLE/MP3 FOLDER⇐/⇒ボタンを押す。

- 1回押すたびに、指定方向のタイトル(マルチPGCのディスクではPGC)にスキップします。
- 押し続けると連続送りになります。2秒以上押し続けると、送り速度が速くなります。

- DVDでタイトルサーチ動作がディスクにより禁止されている場合は、表示部の禁止マーク「⦸」が点灯し、画面に「🚫」が表示されて再生を続けます。
- DJモードでDVD再生において、ディスクまたは再生している部分によっては上記動作にならない場合があります。

■ スーパー・ファースト・タイトルサーチ DJ

DVD TITLE/MP3 FOLDER⇐/⇒ボタンのどちらかを押しながらジョグダイヤルを回す。

★ **この機能は後面パネルのNORMAL/DJスイッチがNORMALの場合は動作しません。**

- ボタンを押しながらサーチしたい方向にジョグダイヤルを回すと、ジョグダイヤルの回転量に応じて高速サーチ動作をするモードに入ります。
- サーチ方向はジョグダイヤルの回転方向に追従します。DVD TITLE/MP3 FOLDER⇐/⇒ボタンの方向は無視されます。
- DVD TITLE/MP3 FOLDER⇐/⇒ボタンを離すと、このモードは解除されます。

フォルダーサーチするには(MP3のみ)

階層構造を持っているCD、DVDから選曲するときに使用します。

DVD TITLE/MP3 FOLDER⇐/⇒ボタンを押す。

- 1回押すたびにフォルダーが指定方向に送られます。
  ルートディレクトリでは、フォルダー番号「00」、フォルダー名「ROOT」が表示されます。
- 押し続けると連続送りになります。2秒以上押し続けると、送り速度が速くなります。
- 一番若いフォルダーからバックすると、最終フォルダーをサーチします。
- 最終フォルダーから進めると、一番若いフォルダーをサーチします。
- 再生可能なトラックのないフォルダー(空きフォルダー)は無視され、 次のフォルダーをサーチします。

■ スーパー・ファースト・フォルダーサーチ DJ

DVD TITLE/MP3 FOLDER⇐/⇒ボタンのどちらかを押しながらジョグダイヤルを回す。

★ **この機能は後面パネルのNORMAL/DJスイッチがNORMALの場合は動作しません。**

- ボタンを押しながらサーチしたい方向にジョグダイヤルを回すと、ジョグダイヤルによってフォルダー番号を指定方向へ送ります。
- サーチ方向はジョグダイヤルの回転方向に追従します。 DVD TITLE/MP3 FOLDER⇐/⇒ボタンの方向は無視されます。
- DVD TITLE/MP3 FOLDER⇐/⇒ボタンを離すと、このモードは解除されます。

キューポイントの設定 DJ

★ **この機能は後面パネルのNORMAL/DJスイッチがNORMAL位置のときは動作しません。**

キューポイントをメモリーしておくと、再生中にCUEボタンを押してキューポイントで再生待機状態にすることができます。

- ジョグダイヤル表示部の、音声／映像メモリー状態表示が点滅中は記憶できない場合があります。

■ VINYLモードOFFでのキュー設定

1. 再生中、頭出ししたいポイントで、PLAY/PAUSE(►/II)ボタンを押して一時停止状態にする。

2. キューポイントの正確な位置を探す。

● フレームナンバーでキューポイントを決める。

1フレーム単位(75フレーム＝1秒)で頭出しの位置が設定できます。

ジョグダイヤルまたはREV◄◄/FWD►►ボタンを操作してフレームを送ります。ジョグダイヤル1回転で135フレーム、サーチボタンを押すと1フレーム、指定方向にフレームを送ります。

● 音声を聞いてキューポイントを決める。

ジョグダイヤルをゆっくり回して、再生を開始したい音声の直前まで戻します(音出しポーズ時に聞こえている音の直後がキューポイントになります)。

3. フレームナンバー、または音声が目的の頭出しポイントになったら、CUEボタンを押す。

- キューインジケーターが点灯したらキューポイントメモリーは完了です。
- DVD再生中は、キューポイントのサムネイルをプレビュー画面に表示します。
- CD、MP3再生中は、キューポイントのトラック番号と時間をプレビュー画面に表示します。
- 新しいキューポイントがメモリーされると、以前のキューポイントはクリアされます。

【キューポイントの修正】

1. 再生中、CUEボタンを押す。

- 設定してある頭出しポイントに戻ります。

2. REV◄◄/FWD►►ボタンを押して音出しポーズ状態にする。

3. 上記の「VINYLモードOFFでのキュー設定」の手順2、手順3を行う。

■ VINYLモードでのキュー設定

1. 再生中、頭出ししたいポイントで、ジョグダイヤルの天面を押さえるかPLAY/PAUSE(►/II)ボタンを押して一時停止状態にする。

2. ジョグダイヤルの天面を押さえたまま回し、再生を開始したい音声の直前まで戻す。

3. 音声が目的の頭出しポイントになったら、ジョグダイヤルの天面を押さえたままCUEボタンを押す。

- キューインジケーターが点灯したらキューポイントメモリーは完了です。
- 新しいキューポイントがメモリーされると、以前のキューポイントはクリアされます。

【キューポイントの修正】

1. 再生中、CUEボタンを押す。

- 設定してある頭出しポイントに戻ります。

2. 上記の「VINYLモードでのキュー設定」の手順2、手順3を行う。

- VINYLモードOFFと同様に、REV◄◄/FWD►►ボタンで修正することもできます。

■ リアルタイムキュー

フォワード方向に再生中、頭出ししたいポイントでIN/REALTIME CUE/IN ADJUSTボタンを押す。

- このポイントが新たなキューポイントとして記憶されます。

■ キューポイントを確認するには（キューポイントサンプラー）

キューポイントを設定後、キュースタンバイ中にCUEボタンを押す。

- CUEボタンを押している間、キューポイントからの映像と音声を再生確認できます。

■ キューポイントに戻るには(バックキュー)

再生中、CUEボタンを押す。

- 設定したキューポイントに戻り、音声をミュートして黒画面を出力してスタンバイします。
- PLAY/PAUSE(►/II)ボタンを押すとキューポイントから瞬時に再生します。
- DVDでタイトルサーチ等がディスクにより禁止されている場合は、表示部の禁止マーク「⦸」が点灯し、画面に「⦸」が表示されて再生を続けます。
- MP3のときは、同一フォルダー内でのバックキューが可能です。

ジョグダイヤル

再生スピードを変えるには DJ

★ **この機能は後面パネルのNORMAL/DJスイッチがNORMAL位置のときは動作しません。**

TEMPOつまみを前後にスライドする。

手前(+)に動かすと再生が速くなり、奥(−)に動かすと再生が遅くなります。

- 再生スピード(テンポ)の変化率が表示部に表示されます。
- 再生スピードを変えても音程を変えないで保つことができます(☞P.40「**マスターテンポをかける**」)。

■ テンポ調整範囲の選択

TEMPOボタンを押す。

押すたびに**TEMPO**つまみの可変範囲(±6 %/±10 %/±16 %/WIDE)が切り換わります。±6 %では0.02 %単位、±10 %では0.05 %単位、±16 %では0.05 %単位、WIDEでは0.5 %単位で調整できます。

- 可変範囲の設定値はTEMPO ±6、±10、±16、WIDEインジケーターおよび表示部に表示されます。
- WIDEレンジ時の調整範囲は、
  CD再生時　　　　　±100 %
  DVD、MP3再生時　+70 %〜−100 %
  となります。

■ テンポリセット

TEMPO RESETボタンを押す。

テンポリセットインジケーターが点灯し、**TEMPO**つまみの位置にかかわらず、テンポ変化率が「0」(通常テンポ)になります。

- もう一度、**TEMPO RESET**ボタンを押すと解除されます(**TEMPO**つまみの設定スピードに戻る)。

マスターテンポをかける DJ

★ **この機能は後面パネルのNORMAL/DJスイッチがNORMAL位置のときは動作しません。**

再生中にMASTER TEMPOボタンを押す。

マスターテンポインジケーターおよび表示部の「**MT**」が点灯し、**TEMPO**つまみでスピード(テンポ)を変えても、音程(キー、ピッチ)は変わりません。

- 音声をデジタル加工するため、音質が悪くなります。
- 電源ON時はオフに設定されます。

ジョグダイヤルの機能 DJ

★ **この機能は後面パネルのNORMAL/DJスイッチがNORMAL位置のときは動作しません。**

1. 再生中に回す。(ピッチベンド)

ジョグモードがVINYLモードONの場合は、ジョグダイヤルの外周(斜面)を操作してください。天面を押すと別の動作になります。

- 回転させた分、加速(**FWD+**)・減速(**REV−**)します。リバース再生モードでは、加速(**REV−**)・減速(**FWD+**)になります。
- 回転を止めると、回転前のスピードに戻ります。

2. 再生中に回す。(スクラッチプレイ)

応用操作の「**スクラッチプレイをするには**」(P.42)をご覧ください。

3. ポーズ時に回す。(フレームサーチ)

[ジョグモードがVINYLモードOFFの場合]

ポーズ時は静止画で音出しポーズになります。

- ジョグダイヤルを回転すると、回転方向へフレーム単位で音出しポーズ位置が移動します。
- ジョグダイヤルを1回転すると、1.8秒分(135フレーム)送ります。

[ジョグモードがVINYLモードONの場合]

ポーズ時は静止画で音無しポーズになります。

- ジョグダイヤルを回転すると、回転方向と回転速度に応じたスピードで再生され、フレーム単位でポーズ位置が移動します。
- ジョグダイヤルの天面から手を離して回転が止まると静止画で音無しポーズになります。
- ジョグダイヤルを1回転すると、1.8秒分(135フレーム)送ります。

4. 再生中またはポーズ時に回す。(スピン)

応用操作の「**スピンをするには**」(P.42)をご覧ください。

5. 再生中、REV◀◀/FWD▶▶ボタンを押しながら回す。
(スーパー・ファースト・サーチ)

REV◀◀/FWD▶▶ボタンを押したままジョグダイヤルをサーチしたい方向に回すと、回転方向にさらに高速でサーチします。

6. PREVIOUS⏮/NEXT⏭ボタンを押しながら回す。
(スーパー・ファースト・トラックサーチ)

PREVIOUS⏮/NEXT⏭ボタンを押したまま、ジョグダイヤルをトラックサーチ(チャプターサーチ)したい方向に回すと、回転方向と回転スピードに従ってさらに高速なトラックサーチ(チャプターサーチ)をすることができます。

7. DVD TITLE/MP3 FOLDER⬅/➡ボタンを押しながら回す。
(スーパー・ファースト・タイトルサーチ)(DVD)
(スーパー・ファースト・フォルダーサーチ)(MP3)

DVD TITLE/MP3 FOLDER⬅/➡ボタンを押したまま、ジョグダイヤルをタイトルサーチしたい方向に回すと、回転方向と回転スピードに従ってさらに高速なタイトルサーチ、またはフォルダーサーチをすることができます。

ご注意：

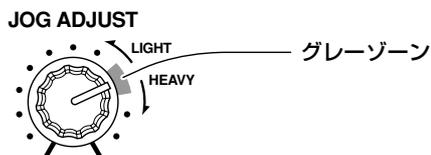
ジョグダイヤルの天面にはスイッチが内蔵されています。
物をのせたり、強い力を加えないようにしてください。
飲料などをのせないでください。こぼれて製品内部に入り、故障の原因となります。

ジョグフィーリング調整機能

ジョグフィーリング調整(JOG ADJUST)ツマミを回すことにより、ジョグダイヤルを回転させるときの負荷を調整することができます。

JOG ADJUSTツマミを回す。

- 右に回すと負荷が重くなります。
- 左に回すと負荷が軽くなります。
- 目盛りのグレーゾーンに合わせせると、CDJ-1000MK2と同等の負荷になります。

JOG ADJUST
LIGHT
HEAVY
グレーゾーン

WAVE表示について DJ

★ この機能は後面パネルのNORMAL/DJスイッチがNORMAL位置のときは動作しません。(TEXT表示になります)

WAVE表示は曲の低音ビート(バスドラム等)の変化をグラフ表示するので、曲のブレイク部や終了部をあらかじめ知ることができます。
TEXT MODEボタンでWAVE表示にしたとき、1チャプターまたは1トラックを1曲分フルレンジ(100ポイント)として表示します。

- 再生曲が変わってからすべてのWAVEが表示されるまでには、しばらく時間がかかります。メモリーカードにWAVE表示を記憶すると、次回からすぐにWAVEが表示されます。
- 低音ビートレベルの変化が少ない場合は、ブレイク部が正しく表示されないことがあります。
- 波形読み込み中にサーチ動作やポーズ動作が行われた場合は、正しく表示できません。
- DVD再生、MP3再生では、WAVEの先読み処理はできません。
- MP3の場合、再生する曲によってはWAVE表示がされない場合があります。

TEXT表示について

TEXT MODEボタンでTEXT表示にしたとき、CD-TEXTの曲名/アルバム名/アーティスト名を表示します。
MP3再生時は、ID3タグの曲名またはID3タグが記録されていない場合はファイル名/ID3タグのアルバム名/ID3タグのアーティスト名を表示します。

- それぞれ48文字まで表示可能で、15文字以上の場合はスクロール表示になります。
- 表示できる文字は、アルファベット、数字および一部の記号です。
- 対応するテキストが無い場合は「NO TEXT」を表示します。
- DVD再生ではテキストは表示されません。

TEXT表示の曲名が選択されたときは、「♪」アイコンに続き曲名(MP3ではID3タグのタイトル名またはファイル名)が表示されます。
また、MP3の場合は曲名に続きビットレートを表示します。

♪ DVJ-1000 【128 kbps】

TEXT表示のアルバム名が選択されたときは、「 」アイコンに続きアルバム名が表示されます。

Pioneer

TEXT表示のアーティスト名が選択されたときは、「 」アイコンに続きアーティスト名が表示されます。

Pioneer PRO DJ

MP3でフォルダーサーチを行うとサーチ中にフォルダー名を表示します。

Pioneer DJ

違う曲どうしをミックスする(つなぎ) DJ

★ この機能は後面パネルのNORMAL/DJスイッチがNORMAL位置のときは動作しません。

(例)　現在再生中の曲Aに対し、次にかける曲Bをミックスする。

- プレーヤーAをDJミキサーのCH-1へ、プレーヤーBをCH-2へ接続します。
- トリム、チャンネルフェーダー、マスターボリュームを適当な位置まで上げ、プレーヤーAが再生されるようにします。

1. DJミキサーのCROSS FADERつまみを左側(CH-1側)にしておく。
- 曲Aが再生されています。

2. プレーヤーBにディスクをセットする。

3. プレーヤーBのPREVIOUS◀◀/NEXT▶▶ボタンを押して曲Bを選ぶ。

4. DJミキサーでCH-2をモニターする。

5. DJミキサーのMONITOR LEVELつまみを回し、ヘッドホンに曲Bの音を出す。
- スピーカーからは曲Aだけの音が出ています。

6. ヘッドホンの音で曲Bの頭出しをする。

① プレーヤーBの再生状態で、頭出しをする付近でPLAY/PAUSE(▶/II)ボタンを押す。
- ジョグモードがVINYLモードOFFの場合は音出しポーズ状態になり、VINYLモードONの場合は音無しポーズ状態になります。

② プレーヤーBのジョグダイヤルを回して、曲の頭出しポイント(一拍目)を探す。

③ 頭出しポイントが決まったら、プレーヤーBのCUEボタンを押す。
- 無音になり、頭出しを完了します。

7. スピーカーからの曲Aに合わせて、プレーヤーBのPLAY/PAUSE(▶/II)ボタンを押す。
- スピーカーからは曲Aだけの音が出ています。
- ヘッドホンからは曲Bの音が出ます。

8. プレーヤーBのTEMPOつまみを動かして曲Aと曲Bの速さ(BPM=Beat Par Minutes)を合わせる。

曲AのBPMの数字に、曲BのBPMの数字が同じになるようにプレーヤーBのTEMPOつまみを動かす。
- BPMの数字が同じになれば、BPM合わせは完了です。

9. プレーヤーBのCUEボタンを押す。
- プレーヤーBはキューポイントでポーズ状態になります。

10. プレーヤーAの曲A(スピーカーの音)に合わせて、プレーヤーBのPLAY/PAUSE(▶/II)ボタンを押す。
- 曲Bがスタートします。

11. ヘッドホンで確認しながら、DJミキサーのクロスフェーダーつまみを徐々に右側に動かす。
- スピーカーからの曲Aの音に曲Bの音がミックスして出ます。
- DJミキサーのクロスフェーダーつまみが完全に右側へいったとき、曲Aから曲Bへつなぎは完了です。

■ ロングミックスプレイ

BPMさえ合っていれば、クロスフェーダーつまみが中間にあっても、曲Aと曲Bはきれいにミックスされます。

■ フェーダースタートプレイ

パイオニアのDJミキサー(別売)のクロスフェーダースタートを使えば、手順10を省略でき、より簡単にミックスできます。
さらに、クロスフェーダーつまみを戻すと、手順9の状態に戻るので、繰り返し音を出すことができます。

応用操作

DJ マークを付けた機能はNORMAL/DJスイッチがNORMALの場合は動作しません。

ジョグダイヤル

スクラッチプレイをするには DJ

★ **この機能は後面パネルのNORMAL/DJスイッチがNORMAL位置のときは動作しません。**

ジョグモードをVINYLモードONにすると、ジョグダイヤルの天面を押して回すことにより、ジョグの回転速度と回転方向に応じた映像と音声再生ができます。

1. JOG MODEボタンを押して、VINYLモードインジケーターを点灯する。
2. 再生中にジョグダイヤルの天面を押す。
   - 再生が減速されて停止します(停止するまでの時間は別途設定できます)。
   - 再生が減速されて停止する前にジョグダイヤルを回すと、減速途中で音声が停止し、手順3のジョグダイヤルの回転に応じた再生になります。
3. ジョグダイヤルを再生したい方向と速さで回す。
   - ジョグダイヤルの回転スピードと回転方向に応じたスピードと方向で再生されます。
4. ジョグダイヤルの天面から手を離す。
   - 再生が元の状態に戻ります(再生が元の状態に戻るまでの時間は別途設定できます)。

■ ジョグダイヤルの天面を押した時に、再生が減速して停止するまでの時間を設定する

TOUCH/BRAKEつまみを回す。

- 再生が停止するまでの時間が調節できます。
- VINYLモード時にPLAY/PAUSE(▶/II)ボタンを押して一時停止するときの、減速スピードの調整と共通になります。

■ ジョグダイヤルの天面から手を離した時に、再生が元の状態に戻るまでの時間を設定する

RELEASE/STARTつまみを回す。

- 再生が元の状態に戻るまでの時間を調節できます。
- VINYLモード時にPLAY/PAUSEボタン(▶/II)を押して再生を再開するときの、立ち上がりスピードの調整と共通になります。

[ハイパージョグモード]

ジョグモードがVINYLモードONのときに、HYPERJOG MODEボタンを押してインジケーターを点灯すると、ジョグダイヤルの回転角度に対する映像と音声の変化量が4倍になります。

スピンをするには DJ

★ **この機能は後面パネルのNORMAL/DJスイッチがNORMAL位置のときは動作しません。**

VINYLモードONでプレイ中に、ジョグダイヤルの天面を押すか、PLAY/PAUSE(▶/II)ボタンを押してポーズにしたあと、ジョグダイヤルを早く回すと、ジョグダイヤルから手を離しても回転に応じたスピードと方向で再生されます。

ブレーキをするには DJ

★ **この機能は後面パネルのNORMAL/DJスイッチがNORMAL位置のときは動作しません。**

- VINYLモードでプレイ中にPLAY/PAUSE(▶/II)ボタンを押してポーズにすると、TOUCH/BRAKEつまみに応じた速度で音声が止まります。
- もう一度PLAY/PAUSE(▶/II)ボタンを押してプレイにすると、RELEASE/STARTつまみに応じた速度で音声が立ち上がります。

ホットキューをするには DJ

★ **この機能は後面パネルのNORMAL/DJスイッチがNORMAL位置のときは動作しません。**

キューポイント、ループ情報を、あらかじめ3つまで(A、B、C)設定しておくことにより、瞬時にそのポイントから再生できます。

- ジョグダイヤル表示部の、音声/映像メモリー状態表示が点滅中は記憶できない場合があります。

■ ホットキューポイントの設定

1. HOT CUE REC MODEボタンを押して、HOT CUE A、B、Cボタンのインジケーターを赤色に点灯させる。
2. 再生中、ポーズ中またはキュースタンバイ中に設定したいところで登録したいボタン(A、B、C)を押す。
   - ボタンが押された時点の位置情報とその再生方法が記憶されます。
   - 押されたボタンが約2秒間赤色で点滅したあと、点灯します。
   - DVD再生中は、ホットキューポイントのサムネイルがプレビュー画面に表示されます。
   - ループ設定状態(OUT/OUT ADJUSTボタンとIN/REALTIME CUE/IN ADJUSTボタンが点滅中)にHOT CUEボタンを押すと、再生中のループ情報を記憶します。
   - メモリーカードが挿入されている場合は、HOT CUEボタンへの登録情報をメモリーカードに記憶し、同一ディスクを再び再生する際に設定情報を読み出すことができます。☞ P. 46

■ ホットキューの開始

1. HOT CUE REC MODEボタンを押して、HOT CUE A、B、Cボタンのインジケーターを緑色または橙色に点灯させる。
   - ホットキューポイントが登録されているボタンは緑色に点灯します。
   - ループ情報が登録されているボタンは橙色に点灯します。
   - 登録されていないボタンは点灯しません。
2. 再生中、ポーズ中またはキュースタンバイ中に 、登録してあるボタン(A、B、C)を押す。
   - 再生中、ポーズ中またはキュースタンバイ中に緑色または橙色に点灯しているボタンを押すと、ボタンに登録された情報で瞬時に再生を開始します。この場合、CUEボタンに設定されたキューポイント情報やRELOOP/EXITボタンに設定されたループ情報は上書きされず、そのまま残ります。
   - ループ情報が登録されたHOT CUEボタンを押すと瞬時にループ再生を行います。この場合、通常のループ再生と同様にRELOOP/EXITボタンでループ再生を解除でき、またIN/REALTIME CUE/IN ADJUSTボタンでのループポイントの修正やOUT/OUT ADJUSTボタンでのループアウトポイントの修正も可能です。ループ情報を修正した場合は、ボタンに登録されたループ情報も随時修正されます。
   - メモリーカードが挿入されている場合は、ディスクを挿入したときに、以前にメモリーカードに記憶されたホットキューやループ情報を復帰できます。☞ P. 47

※ DVDでタイトルサーチ等がディスクにより禁止されている場合は、HOT CUEポイントから再生を行えない場合があります。
表示部の禁止マーク「⃠」が点灯し、画面に「⃠」が表示されて再生を続けます。
※ MP3のときは、同一フォルダー内でのホットキューが可能です。

ループ再生をするには DJ

★ **この機能は後面パネルのNORMAL/DJスイッチがNORMAL位置のときは動作しません。**

■ ループを作るには

1. PLAY/PAUSE(▶/❚❚)ボタンを押して再生する。

2. 再生中に、ループインポイントでIN/REALTIME CUE/IN ADJUSTボタンを押す。

- あらかじめ記録してあるキューポイントをループの先頭にする場合は、この操作は不要です。
- ループインポイント入力動作中は、約2秒間IN/REALTIME CUE/IN ADJUSTボタンが点滅します。

3. 再生中、ループアウトポイントでOUT/OUT ADJUSTボタンを押す。

- インポイントからアウトポイント間でとぎれなくリピート再生(ループ再生)を開始します。
- フレームサーチで精密なアウトポイントの設定ができます。
- ループアウトポイントを設定する前にアングル切り換えや音声切り換えを行うと、アウトポイントを指定できない場合があります。
- リバース再生中に、ループアウトポイントの設定はできません。
- MP3の場合は、キューポイントが設定された同一トラックのみでループが可能です。

■ ループを抜け出す(解除する)には

ループ再生中にRELOOP/EXITボタンを押す。

- ループアウトポイントになってもインポイントに戻らずに再生を継続します。

■ ループインポイントを変えるには

1. ループ再生中に、IN/REALTIME CUE/IN ADJUSTボタンを押す。

- 表示部にインポイントの時間が表示され、IN/REALTIME CUE/IN ADJUSTボタンは速い点滅に、OUT/OUT ADJUSTボタンは消灯に変わります。

2. REV◀◀/FWD▶▶ボタンを押す、またはジョグダイヤルを回す。

- 1フレーム単位でループインポイントが移動します。
インポイントの修正可能範囲はCDでは±30フレーム、DVD再生時は±6フレームまでで、アウトポイントより前方です。
- MP3の場合は、キューポイントが設定された同一トラックのみでループ修正が可能です。
- リバース再生中やスクラッチ中に、ループインポイントの修正はできません。
- IN/REALTIME CUE/IN ADJUSTボタンを押すか、30秒間放置すると修正モードを抜けループプレイに戻ります。

■ ループアウトポイントを変えるには

1. ループ再生中に、OUT/OUT ADJUSTボタンを押す。

- 表示部にアウトポイントの時間が表示され、OUT/OUT ADJUSTボタンは速い点滅に、IN/REALTIME CUE/IN ADJUSTボタンは消灯に変わります。

2. REV◀◀/FWD▶▶ボタンを押す、またはジョグダイヤルを回す。

- 1フレーム単位でループアウトポイントが移動します。
- ループアウトポイントはループインポイントの前には移動できません。
- OUT/OUT ADJUSTボタンを押すか、30秒間放置すると修正モードを抜けループ再生に戻ります。
- リバース再生中にループアウトポイントを修正することはできません。
- MP3の場合は、キューポイントが設定された同一トラックのみでループ修正が可能です。

■ 再度ループに戻るには(リ・ループ)

ループ再生解除後、再生中にRELOOP/EXITボタンを押す。

- 前に設定したループインポイントに戻り、ループ再生を再開します。
- MP3の場合は、同一フォルダーのみでリ・ループが可能です。

■ ループを自動設定する

4ビートループ

再生中に4-BEAT/ONE-TRACKボタンを押す。

- 通常のループ再生時の表示(OUT/OUT ADJUSTボタンとIN/REALTIME CUE/IN ADJUSTボタンの点滅)となります。
- 押された時点がループインポイントになり、以下のようにループアウトポイントが設定されてループ再生を行います。
  - ・直前のBPM値がわかっている場合は、4ビート後をループアウトポイントにします。
  - ・直前のBPM値が不明な場合は、4秒後をループアウトポイントにします。
- RELOOP/EXITボタンを押すと、ループプレイを解除して通常再生になります。
- リバース再生中に4ビートループを指定することはできません。

ワントラックループ(チャプター/トラックリピート)

再生中に4-BEAT/ONE-TRACKボタンを1秒間以上押す。

再生中に4-BEAT/ONE-TRACKボタンを1秒間以上押すと、再生中のチャプター/トラックをループ再生するワントラックループとなります。

- 表示部に「CHAPTER LOOP」(DVD再生時)または、「TRACK LOOP」(CD、MP3再生時)と表示し、再生中のチャプターまたはトラックの頭をサーチし、ループインポイントに設定します。
- 通常のループ再生時の表示(OUT/OUT ADJUSTボタンとIN/REALTIME CUE/IN ADJUSTボタンの点滅)となり、チャプターエンドまたはトラックエンドをループアウトポイントとして、再生を行います。
- RELOOP/EXITボタンを押すと、ループプレイを解除して通常再生になります。
- メモリーカードに記録するには、トラックエンドまで再生を行ってから記録してください。
- リバース再生中にワントラックループを指定することはできません。

[バック&フォースループモード]

- BACK&FORTHボタンを押してループモードインジケーターを点灯すると、ループ再生はバック&フォースループモードとなります。
- バック&フォースループモードはループインポイントからループアウトポイントまでフォワード再生後、ループアウトポイントからループインポイントまでリバース再生を繰り返すプレイ方式です。
- 再度BACK&FORTHボタンを押してループモードインジケーターを消灯させると、通常のループモードとなります。

リバース再生をするには DJ

★ **この機能は後面パネルのNORMAL/DJスイッチがNORMAL位置のときは動作しません。**

DIRECTION FWD/REVスイッチをREV位置(手前)にする。

リバースインジケーターが点灯し、逆方向に再生します。

- ジョグダイヤルの回転による再生の加・減速が逆向きになります。
- リバース再生中は、ループ作成、ループアウトポイント修正はできません。
- トラックサーチ、ループなどを行うと、ジョグダイヤルの「音声／映像メモリー状態表示」が1〜2秒間点滅して、スクラッチ／リバースの操作が行えないことがあります。

フェーダースタートプレイについて DJ

★ **この機能は後面パネルのNORMAL/DJスイッチがNORMAL位置のときは動作しません。**

本機のコントロール端子(CONTROL)とパイオニアのDJミキサー(別売)のコントロール端子(CONTROL) を付属のコントロールコードで接続することにより、DJミキサーのチャンネルフェーダーを上げるとプレーヤーのキュースタンバイが解除して瞬時に曲がスタートします。クロスフェーダーの操作でもプレーヤーのフェーダースタートができます。また、フェーダーの位置を元に戻すとプレーヤーをキューポイントまで戻せます(バックキューする)。

2台のプレーヤーを使ったリレープレイ DJ

★ **この機能は後面パネルのNORMAL/DJスイッチがNORMAL位置のときは動作しません。**

本機および他のCDJシリーズのCDプレーヤーのコントロール端子どうしを付属のコントロールコードで接続すると、リレープレイが可能になります。

- 2台のプレーヤーのオートキュー機能はオンにします(表示部のA.CUEインジケーターが点灯)。
- DJミキサーと接続している場合、DJミキサーのフェーダーコントロールはセンター位置にしてください。

1. 先に再生するプレーヤーの再生を開始する。
2. 再生中の曲が終了すると、待機中のプレーヤーが自動的に再生を開始する。
3. 始めに再生していたプレーヤーは次の曲の始めの位置でCUEスタンバイ状態になる。
   - この繰り返しにより、自動的に2台のプレーヤーでの交互再生ができます。
   - 待機中のプレーヤーのディスクを交換して選曲すれば、聞きたい曲を次々に再生することができます。
   - 待機中のプレーヤーでキューポイントを設定しておくと、希望の曲の希望のポイントにリレーすることができます。
     ☞ P. 39「**キューポイントの設定**」参照

ご注意

- **2台のプレーヤーの音声出力端子を、同じDJミキサーに接続していない場合には、うまくリレープレイできないことがあります。**
- **再生中のプレーヤーの電源が切れた場合には、もう一方のプレーヤーが再生を始めることがあります。**
- **フェーダースタートとリレープレイはコントロールコードの接続が異なるため、同時に行うことはできません。**

MP3ナビゲーターを使って選曲する(MP3のみ)

1. MENUボタンを押す。
- MP3ナビゲーター画面が表示されます。

2. カーソルボタンの後側(∧)/前側(∨)でトラックまたは聞きたいトラックのあるフォルダーを選ぶ。

3. フォルダーにカーソルがあたっているときは、ENTERボタンを押して、選んだフォルダーを開く。
- カーソルボタンの右側(>)を押してもフォルダーを開けます。
- カーソルボタンの左側(<)を押すと上位のフォルダーに戻ります。

4. 手順2，3を繰り返して聞きたいトラックを選ぶ。

5. ENTERを押す。
- 選んだトラックが再生します。

ガイド表示を見るには

DISPLAYボタンを押すことでガイド表示のオン／オフを行います。

DJモードでは、メインビデオ出力にはガイド表示を行いません。プレビュービデオ出力に表示されるホットキュー、キューポイント表示、再生時間等のガイド表示をオン／オフします。

[DJモード時のDVDでは]

ガイド表示オン　　ガイド表示オフ

NORMALモードでは、メインビデオ出力とプレビュービデオ出力の両方にガイド表示のオン／オフを行います。DISPLAYボタンを押すたびに下のように表示内容が切り換わります。

[NORMALモード時のDVDでは]

- タイトルによってはチャプターや時間が表示されないものがあります。

* 転送レートとはDVDに記録されている画像の情報量を示す値です。転送レートのレベルが高いほど情報量は多くなりますが、画質が良いとは限りません。

メモリーカードを使った操作 DJ

大切なデータを保護するために

- 書き込み禁止スイッチを「LOCK」にします。新たに記憶させるときは解除してください。
- データの書き込み中はCARDインジケーターが点灯します。このときカードを抜いたり、本機の電源を切ったりしないでください。データが破壊されることがあります。
（お客様の記憶されたデータの損失ならびに、その他の直接・間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。）

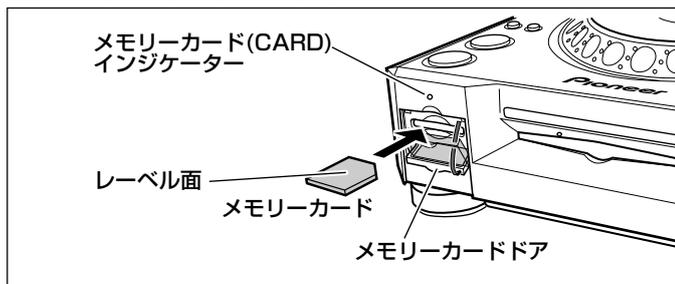
■ メモリーカードの使い方

本機は、ディスク識別情報、登録されたキューポイントとループポイント情報、ホットキュー情報をSDメモリーカードまたはマルチメディアカード(MMC)に記憶できます。キューポイント、ループポイント情報については、各ポイントの位置情報の他に、オーディオチャンネル、アングル情報、サムネイル画面などが記憶されます。ただし、コピーが禁止されているディスク（マクロビジョン等を含む）の場合は、サムネイル画面を記憶することはできません。

★ 使用するメモリーカードは「SD Memory Card Specifications Part2 FILE SYSTEM SPECIFICATION Version1.0」に沿ってフォーマットされていなければなりません(SDメモリーカードはメーカーからの出荷時点で上記規格で標準フォーマットされています)。フォーマットされていないメモリーカードを挿入すると「UNFORMAT」と表示され、使用できません。

★ PCやデジタルカメラ等でフォーマットされたカードは、使用できない場合があります。

★ CDJ-1000、CDJ-1000MK2でフォーマットされたマルチメディアカード(MMC)では以下の制限事項があります。
- DVDおよびMP3の情報は記憶できません。
- ホットキューに設定したループ情報は記憶できません。
- PCによるコピー、バックアップ等はできません。
- ループポイントを記憶したときは、1つで2ポイントのエリアを使用します。
- 本機でフォーマットすることはできません。

■ メモリーカードの入れ方

メモリーカードドアを開け、メモリーカードのレーベル面を上に切り欠きを先にして、水平にゆっくりと止まるまで差し込み、メモリーカードドアを閉じてください。
「SD CARD」（SDメモリーカード規格に準拠したカード時）または「CDJ CARD」（CDJ-1000、CDJ-1000MK2でフォーマットされたカード時）表示後に、記憶されているディスク枚数が表示されます。

●取り出すとき

メモリーカードドアを開け、CARDインジケーターが消灯してから、メモリーカードを一度押し込んで戻ってきたあと、まっすぐ、ていねいに引き抜いてください。

ご注意
- **CARDインジケーターが点滅中にカードドアを開けたり、電源を切らないでください（記憶データが壊れる恐れがあります）。**
- **メモリーカードは精密電子機器です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。また、静電気や電気ノイズの発生しやすい環境で、使用・保管しないでください。**
- **メモリーカードは衝撃や静電気により壊れることがあります。取り扱いには注意をお願いします。大切なデータは定期的に複製を作ることをお勧めします。**☞P.49
- **お客様の記憶されたデータの損失ならびに、その他の直接・間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**

メモリーカードに記憶するには

- ディスク1枚あたりキュー／ループポイントが100ポイントまで記憶できます。100ポイント記憶された状態で、さらにポイントを記憶しようとすると「POINT FULL」と表示され、記憶できません。
- カードの空き領域が不足した場合は、「CARD FULL」と表示されます。
- カードが書き込み禁止(LOCK)の場合は「CARD PROTECTED」と表示されます。

■ キューポイントを記憶する

1. オートキュー機能またはCUEボタンでキューポイントを入力する。

2. MEMORYボタンを押す。
- 表示部にキューポイントの位置情報および「CARD MEMORY」と表示され、キューポイントがメモリーカードに記憶されます。
- メモリーカードが装着されていない場合は「NO CARD」と表示されます。
- メモリーカードは装着されているが、メモリーカードドアが閉められていない場合は「CLOSE CARD DOOR」と表示されます。

■ ループポイントを記憶する

1. ループインポイント／ループアウトポイントを入力してループ再生する。

2. ループ再生中にMEMORYボタンを押す。
- 表示部にキューポイントの位置情報および「CARD MEMORY」と表示され、ループイン／ループアウトポイントがメモリーカードに記憶されます。
- メモリーカードが装着されていない場合は「NO CARD」と表示されます。
- メモリーカードは装着されているが、メモリーカードドアが閉められていない場合は「CLOSE CARD DOOR」と表示されます。

■ キュー、ループポイント登録時の表示

本体表示部への表示	内　容
「CARD MEMORY」	キューポイントまたはループポイントが正しくメモリーカードに記憶されました。
「CANNOT MEMORIZE ON THIS CARD」	DVD/MP3 再生時、CDJ-1000 または CDJ-1000MK2 でフォーマット・記憶したカードを装着して、登録操作を行った場合に表示されます。ポイント情報は記憶されません。
「CARD FULL」	メモリーカードの空き領域が不足時に表示されます。ポイント情報はメモリーカードに記憶されません。
「CARD PROTECTED」	メモリーカードが書き込み禁止状態（LOCK）の時に表示されます。ポイント情報はメモリーカードに記憶されません。
「INTERNAL MEMORY」表示後、「NO CARD」が表示される	メモリーカードが装着されていない場合に表示されます。
「INTERNAL MEMORY」表示後、「CLOSE CARD DOOR」が表示される	メモリーカードは装着されているが、メモリーカードドアが閉められていない場合に表示されます。ドアを閉めてから再度登録してください。
「UNFORMAT」	SD メモリーカード規格に準拠していないカードまたは CDJ-1000、CDJ-1000MK2 形式（MMC）でフォーマットされていないカードが装着されている場合に表示されます。ポイント情報はメモリーカードに記憶されません。
「CARD ERROR」	メモリーカードが壊れていると判断した場合に表示されます。
「POINT FULL」	キューポイントとループポイントの登録総数が、すでに100ポイント記憶済みの場合に表示されます。
「CARD MEMORY」表示後「PICTURE IS NOT RECORDED」が表示される	コピー禁止ディスクのポイントを登録した時に表示されます。サムネイル画面はメモリーカードに記憶されません。

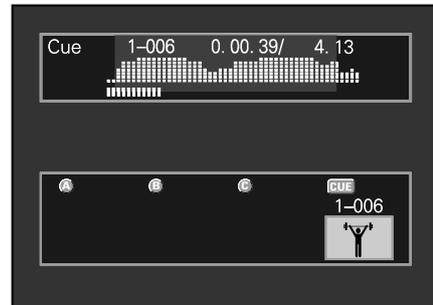
キューポイント情報、ループポイント情報、ホットキュー情報、WAVE情報などを記憶させる場合は、メモリーカードを挿入してください。
メモリーカード未挿入状態では、電源を切ったり、ディスクを取り出すと情報は消去されます。

■ ホットキューポイントA、B、Cの記憶

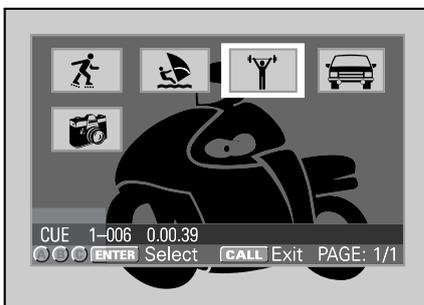
ホットキューポイントA、B、Cは、自動的にメモリーカードに記憶されます。

■ WAVE表示

自動的にメモリーカードに記憶されます。

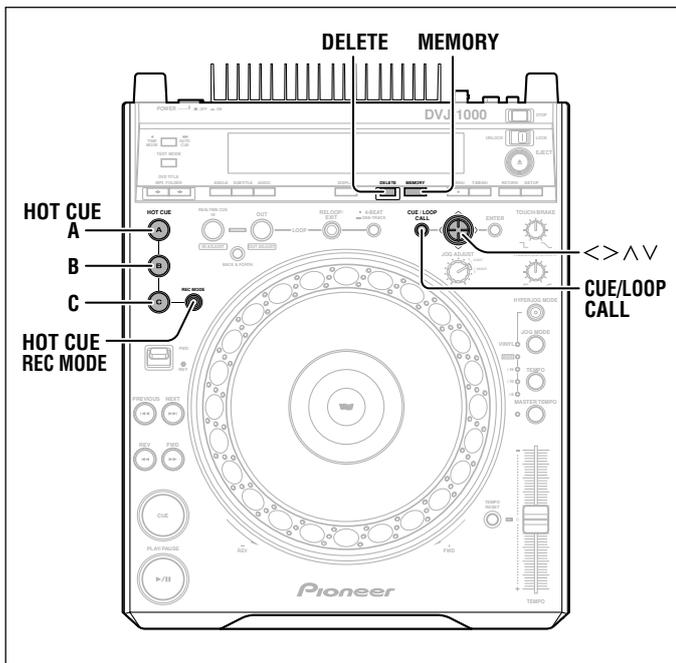
※ 32 MBのSDメモリーカード使用時の一例として、ディスク1枚あたり20ポイント、75枚分のキューポイント／ループポイントを記憶できます（DVDで、すべてのポイントのサムネイル画面を記憶できた場合）。

メモリーカードに記憶した内容を呼び出すには

■ 記憶したキュー/ループポイントを呼び出す

1. CUE/LOOP CALLボタンを押す。
   - プレビュー画面にキューポイントナビ表示を行います。

コール画面表示中は、本機の表示部にもポイント情報を表示します。

2. カーソルボタンで希望のサムネイル画面を選び、ENTERボタンを押す。

呼び出し中は、本機の表示部に「CUE Readin」または「LOOP Readin」と表示されます。

- キューポイントまたはループポイントの読み込みが行われ、メモリーポイントの時間を表示して、キュースタンバイ状態になります。

■ 記憶したキュー/ループポイントをホットキューに呼び出す

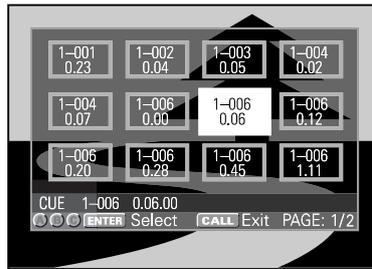
1. CUE/LOOP CALLボタンを押す。
   - プレビュー画面にキューポイントナビ表示を行います。

コール画面表示中は、本機の表示部にもポイント情報を表示します。

2. カーソルボタンで希望のサムネイル画面を選び、HOT CUE REC MODEボタンを押してHOT CUE A、B、Cボタンのインジケーターを赤色に点灯させてから、読み込みたいボタン(A、B、C)を押す。

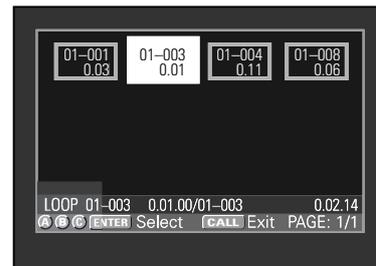
呼び出し中は、本機の表示部に「HOT∗Readin」と表示されます。

- 呼び出しが終了すると再生を開始します。

- コピーが禁止されているディスクの場合は、登録ポイントのサムネイル画面をメモリーカードに記憶することはできません。

サムネイル画面が記憶されていない場合は、キューポイントまたはループポイントのメモリーポイントの時間等の情報を表示します。

- CD挿入時のキューポイントナビ画面表示は下のようになります。

プレビューモニタが無くても選択できるように、本機の表示部にもポイント情報を表示します。

- MP3再生時のキューポイントナビ画面表示は下のようになります。

プレビューモニタが無くても選択できるように、本機の表示部にもポイント情報を表示します。

■ 記憶したホットキューポイントを呼び出す

ホットキューポイントA、B、Cは、自動的にメモリーカードに記憶されます。ディスク挿入時に記憶されている場合は、HOT CUEボタンのA、B、Cが緑色または橙色で点滅します。メモリーされているホットキューポイントをコールする場合はA、B、Cボタンを押してください。緑色または橙色の点滅が点灯に変わります(コールする場合、瞬時に音は出ません)。コールする必要がない場合は、HOT CUE REC MODEボタンを押してください。インジケーターが赤色に変わり、ホットキューポイントが設定できる状態になります。(メモリーカードにメモリーされているホットキューポイントをコールしたい場合は、ディスクまたはメモリーカードを一度取り出し、再び挿入してA、B、Cボタンが点滅しているときにコールしてください。)

■ WAVE表示

以前にWAVE表示した同じ曲を再生すると、自動的に記憶されているWAVE表示が呼び出されて表示されます。

メモリーカードに記憶した内容を消去するには

■ 個々のキュー/ループポイントの記憶を消去する

1. CUE/LOOP CALLボタンを押す。
   - プレビュー画面にキューポイントナビ表示を行います。
2. カーソルボタンで消去するサムネイル画面を選び、DELETEボタンを押す。
   - 表示部に「DELETE」と表示されて、指定したキューポイントまたはループポイント情報がメモリーカードから消去されます。

■ ディスク単位でキュー/ループポイントの記憶を消去する

1. メモリーから情報を消去したいディスクを装着する。
2. DELETEボタンを5秒以上押す。
   - 表示部に「DISC DELETE? PUSH MEMORY」とスクロール表示されます。
3. MEMORYボタンを押す。
   - 装着されているディスクに関するキュー・ループ情報が、メモリーカードから消去されます。
   - MEMORYボタン以外のボタンを押すと、デリートモードが解除されます。

■ メモリーカードの記憶をすべて消去する

1. ディスクを装着していない状態で、DELETEボタンを5秒以上押す。
   - 表示部に「ALL DELETE? PUSH MEMORY」とスクロール表示されます。
2. MEMORYボタンを押す。
   - メモリーカードからすべての情報が消去されます。
   - MEMORYボタン以外のボタンを押すと、デリートモードが解除されます。

メモリーカードを複製するには

1. ディスクとメモリーカードを装着していない状態で、MEMORYボタンを5秒以上押す。
   - 表示部に「COPY MODE」「CARD A IN」とスクロール表示されます。
2. コピー元のメモリーカードを装着する。
   - 表示部に「READING」と表示され、数分後に「CARD B IN」と表示されます。
3. コピー元のメモリーカードを取り出し、コピー先のメモリーカードを装着する。
   - コピー先のメモリーカードは、あらかじめ内容を消去しておいてください。
   - 表示部に「WRITING」と表示され、数分後に「CARD A IN」と表示されます。
4. コピー先のメモリーカードを取り出し、コピー元のメモリーカードを装着する。
   - 表示部に「READING」と表示され、数分後に「CARD B IN」と表示されます。
5. 手順3、4を繰り返し行う。
   - 表示部に「COMPLETE」と表示されたら、複製は完了です。
   - 32 MBのメモリーカードでは最大3回、手順3と4を繰り返す必要があります。
   - コピー先のメモリーカードの容量が不足していると、「CAPACITY ERROR」と表示されます。

- お手持ちのPCにメモリーカードリーダー／ライターがある場合は、PCを使ってメモリーカードを複製することができます。
  （CDJ-1000、CDJ-1000MK2でフォーマットしたマルチメディアカード(MMC)はPCでは複製できません。）
  ☞ P. 46（メモリーカードのフォーマットに関する注意）

故障かな？と思ったら

故障かな？…と思ったら、ちょっとチェックしてみてください。意外な操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。同時に使用している電気機器もあわせてお調べください。
下の項目をチェックしても直らない場合は、お買い上げの販売店またはパイオニア修理受付センター（裏表紙参照）へご連絡ください。

症　状	考えられる原因	処　置
電源が入らない。	● 電源コードがつながっていない。	● 電源コンセントへつなぐ。
EJECTボタンを押してもディスクが取り出せない。	● イジェクト・ストップモード切換スイッチがLOCK 位置になっている。	● ポーズ状態またはキュースタンバイ状態にしてから EJECT ボタンを押す。 ● イジェクト・ストップモード切換スイッチをUNLOCK位置にしてからEJECTボタンを押す。
ディスクを入れても再生が始まらない。 再生を始めてもすぐに停止してしまう。	● オートキュー機能がオンになっている。 ● ディスクの表と裏を逆にして装着している。 ● ディスクのくもりなど。 ● リージョンナンバーが一致していない。	● TIME MODE/AUTO CUE ボタンを 1 秒以上押し続けて、オートキュー機能をオフにする。 ● レーベル面を上にして装着する。 ● ディスクをクリーニングする。 ● リージョンナンバーが一致しているか確認する。一致していない場合は本機で再生できません。
DVD-R、DVD-RWが再生できない。「NOT VIDEO FORMAT」が表示される。	● ビデオフォーマットで記録されていない。	● ビデオフォーマットで記録を行う。
DVD が再生できない。	● NORMAL/DJ スイッチが「DJ」になっている。DVDでは、ディスクによりDJモードでの再生が禁止されている場合があります。	● NORMAL/DJ スイッチを「NORMAL」にする。
マークが表示される。	● ディスクまたはプレーヤーにより禁止されている操作を行っている。	● 正しい操作を行う。
MP3 を再生できない。	● フォーマットが合わない。	● 「MP3 再生について」（9 ページ）をご覧ください。
MP3 でサーチできない。	● MP3 で別のフォルダー内へサーチ（早送り／早戻し）しようとした。	● MP3でのサーチは同一フォルダー内のみで可能です。
画面が映らない。	● 出力コードが正しく接続されていない、または外れている。 ● テレビまたは、ビデオミキサー等を正しく操作していない。	● 正しく接続する。 ● テレビまたは、ビデオミキサー等の設定を確認する。
音が出ない。	● 出力コードが正しく接続されていない、または外れている。 ● オーディオミキサーを正しく操作していない。 ● 接続のための端子やプラグが汚れている。 ● プレーヤーがポーズモードになっている。	● 正しく接続する。 ● オーディオミキサーのスイッチ類と音量調整を確認する。 ● 汚れを拭き取って接続する。 ● PLAY/PAUSE ボタンを押して、演奏する。
音が歪む、雑音が出る。	● 出力コードが正しく接続されていない。 ● 接続のための端子やプラグが汚れている。 ● テレビからの影響を受けている。	● オーディオミキサーのライン入力端子へ接続する。マイク端子へは接続しないでください。 ● 汚れを拭き取って接続する。 ● テレビの電源を切る。または本機を離す。
特定のディスクで大きなノイズが出る。 再生が中断してしまう。	● ディスクに大きなキズやそりがある。 ● ディスクが極端に汚れている。	● ディスクを交換する。 ● ディスクの汚れを拭き取る。
DVD と CD で音量差を感じる。	● ディスクの記録方式の違いによるものです。	● 故障ではありません。
オートキュー機能をオンにしていて、トラックサーチが終了しない。	● 曲間の無音部分が長い場合にはトラックサーチも長くかかる場合がある。 ● 無音部分が 10 秒以上続くような場合、オートキュー機能がオフでないと演奏しません。	● TIME MODE/AUTO CUEボタンを1秒以上押し続けて、オートキュー機能をオフにする。
再生中に CUE ボタンを押しても、バックキュー機能が働かない。	● キューポイントを設定していない。 ● NORMAL/DJ スイッチが「NORMAL」になっている。 ● DVD では、ディスクにより再生中のポイントのDJ 操作が禁止されている場合があります。 ● MP3 で別のフォルダー内にキューポイントがある。	● キューポイントを設定する。（39ページ参照） ● NORMAL/DJ スイッチを「DJ」にする。 ● DJ 操作可能な場所を再生させる。 ● MP3でのバックキューは同一フォルダー内のみで可能です。

症　状	考えられる原因	処　置
OUT/OUT ADJUST ボタンを押してもループプレイにならない。	● キューポイント（ループインポイント）を設定していない。 ● NORMAL/DJ スイッチが「NORMAL」になっている。 ● キューポイントとアングル、音声設定状態が違う。 ● DVD では、ディスクにより再生中のポイントの DJ 操作が禁止されている場合があります。	● ループインポイントを設定する。（43 ページ参照） ● NORMAL/DJ スイッチを「DJ」にする。 ● アングル、音声の状態を同じにする。 ● DJ 操作可能な場所を再生させる。
オートキュー等の設定が記憶されない。 すべての設定を出荷時に戻すことができない。	● 設定変更または操作後、すぐに電源を切った。	● 設定変更後、10 秒程度待ってから電源を切る。
ジョグダイヤルが機能しない。 ジョグダイヤルが希望の機能と違う動作をする。	● NORMAL/DJ スイッチが「NORMAL」になっている。 ● ジョグモードが違う。 ● ハイパージョグモードの設定が違う。 ● DVD では、ディスクにより再生中のポイントの DJ 操作が禁止されている場合があります。	● NORMAL/DJ スイッチを「DJ」にする。 ● JOG MODE ボタンを押して、希望の機能のジョグモード(VINYL オン / オフ)を選ぶ。 ● HYPERJOG MODE ボタンを押して、希望のモードを選ぶ。 ● DJ 操作可能な場所を再生させる。
DJ 操作できない。	● NORMAL/DJ スイッチが「NORMAL」になっている。 ● DVD では、ディスクまたはプレーヤーにより再生中のポイントの DJ 操作が禁止されている場合があります。 ● 「DISABLE DJ MODE」が表示されている。 ● DVDでは、初期設定画面から再生するとDJ操作できない場合があります。	● NORMAL/DJ スイッチを「DJ」にする。 ● DJ 操作可能な場所を再生させる。 ● DJ操作ができない状態です。DJ操作が可能な場所を再生させてください。
電源 ON の状態でディスクが停止している。	● ポーズ状態で 100 分間以上操作しないと自動的にディスクの回転を停止します。 ● ディスクの最終曲が終了した場合などでは、ディスクの回転を停止します。	● PLAY/PAUSEボタンを押すと演奏を開始します。また、EJECT ボタンを押すとディスクが出てきます。
画面が止まり、操作を受け付けない。	● ディスクにより操作が禁止されている。	● ストップボタンを押してから、もう一度再生してください。
初期設定画面に設定項目が出てこない。	● 初期設定モードで「**ベーシック**」を選択している。	● 初期設定モードで「**エキスパート**」を選択する。
デジタル音声が出力できない。	● 「**デジタル出力**」の設定が「**オフ**」となっている。	● 「**デジタル出力**」の設定を「**オン**」にする。
96 kHz 音声がデジタル出力できない。	● 「**96kHz PCM出力**」の設定が「**96kHz►48kHz**」になっている。 ● ディスクにより 96 kHz 出力が禁止されている。	● 「**96kHz PCM 出力**」の設定を「**96kHz**」にする。
DTS 音声が出ない。	● DTS 音声対応アンプ、またはデコーダーと接続されていない。	● オーディオボタンで DTS 以外の音声を選ぶ。
画面が縦または横に伸びている。	● 「**テレビ画面**」の設定が間違っている。 ● S 端子映像出力で接続している。	● 「**テレビ画面**」の設定を正しく選択する。 ● テレビ側の信号処理により映像が横方向に伸びてしまう場合があります。このときは「**S端子映像出力**」の設定を「**S1**」にします。
DVD再生中に画像が乱れる、または暗い。	● ディスクにアナログコピープロテクト方式のコピー禁止信号が入っている。	● 故障ではありません。
字幕（サブタイトル）が表示されない。	● NORMAL/DJスイッチが「DJ 」になっている。DJ モードでは、字幕は表示されません。	● NORMAL/DJスイッチを「NORMAL」にする。
初期設定モードに切り換わらない。	● DJ モードで再生中は、初期設定は行えません。	● ストップ状態で設定を変更する。 ● NORMAL モードで設定を行う。
アングルを切り換えると再生が一旦停止する。	● DJ モードでは、特殊再生を行うため、アングル切換時に一旦再生が停止します。	● 故障ではありません。
音声を切り換えると再生が一旦停止する。	● DJ モードでは、特殊再生を行うため、音声切換時に一旦再生が停止します。	● 故障ではありません。
タイトル、またはチャプターサーチができない。	● DVD では、ディスクにより操作が禁止されている場合があります。	● 故障ではありません。
ディスク挿入前に指定したタイトル、チャプターから再生できない。	● DVD では、ディスクにより最初に再生させる場所が指定されている場合があります。	● 故障ではありません。
キューポイントナビ画面でサムネイル画面が表示されない。	● ディスクにコピー禁止信号が入っている。 ● メモリーカードが挿入されていない。 ● CD を再生している。	● ディスクにコピー禁止信号が入っている場合は、サムネイル画面をメモリーカードに記憶できません。 ● SD メモリーカード規格に準拠した形式でフォーマットされたメモリーカードを挿入する。 ● サムネイル画面は表示されません。

症　状	考えられる原因	処　置
キューポイントメモリーが記憶できない。	● DVD/MP3 再生で CDJ-1000、CDJ-1000MK2 で記憶したメモリーカードが挿入されている。 ● メモリーカードが挿入されていない。 ● SDメモリーカードが書き込み禁止設定となっている。	● CDJ-1000、CDJ-1000MK2で記憶したマルチメディアカード(MMC)には DVD/MP3 は記憶できません。 ● SDメモリーカード規格に準拠した形式でフォーマットされたメモリーカードを挿入する。 ● SD メモリーカードを書き込み可能にする。
SD メモリーカードが使用できない。	● SD メモリーカードが挿入されていない。 ● SD メモリーカードが書き込み禁止設定となっている。 ● SD メモリーカードが正しくフォーマットされていない。	● SD メモリーカードを挿入する。 ● SD メモリーカードを書き込み可能にする。 ● SDメモリーカード規格に準拠した形式でフォーマットされたメモリーカードを挿入する。

- 静電気等、外部からの影響により、本機が正常に動作しない場合があります。このような時は電源スイッチを一度オフにし、ディスクが完全に停止してから再度オンすることにより正常に動作します。
- 本機はビデオフォーマットで記録されたDVD-R/DVD-RWディスクで、ファイナライズされていないディスクの再生はできません。
- 本機はVRフォーマットで記録されたDVD-R/DVD-RWディスクの再生はできません。
- 本機はCD-R/CD-RW ディスクの未ファイナライズディスク(パーシャリーディスク)の再生はできません。
- 本機は一般の12 cmディスクおよびアダプターを装着した8 cmディスク以外の特殊な形のディスクの再生はできません。(故障・事故の原因になることがあります。)
- 本機でアダプターを装着した8 cm CD ディスクを使用すると、12 cm ディスク使用時に比べてスクラッチ、リバース等の動作スピードが低下することがあります。本機はディスクを高速で回転して高いパフォーマンスを得ていますが、アダプターを装着した8 cm CD ディスクの場合は安全のために回転速度を下げるためであり、故障ではありません。
- 本機で測定したBPM値が、DVD、CDの記載値や当社のDJミキサー等と異なる場合がありますが、これはBPMの測定方法などが違うためであり故障ではありません。
- DVD-R/DVD-RW、CD-R/CD-RW ディスクの場合、記録品質によりパフォーマンスが低下することがあります。
- 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあります。そのようなディスクを再生した場合、一部画像に横じまが入るなどの症状が出るものがありますが、故障ではありません。また、VTRを通して再生したり、VTRに録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません。
- DJモードでは、初期設定の設定値にかかわらず、以下の設定に変更されます。

初期設定項目	設定状態
テレビ画面:	4:3(パンスキャン)選択時、4:3(レターボックス)で出力。
ポーズモード:	オート
アングルインジケーター:	オフ

- DVD再生時、DJモードとNORMALモードでは、同じディスクを再生した場合でも再生パターンが異なる場合があります。
- 一般にOSの標準フォーマットソフトウェアでフォーマットしたSDメモリーカードのファイルシステムは、SDメモリーカード規格に準拠していません。

エラー表示

正常に動作できない場合には、表示部にエラーコードを表示します。下に示す表で確認して処置をしてください。下表に無いエラーコードが出た時や、処置をしても同じエラーコードが出る場合には、お買い上げの販売店またはパイオニア修理受付センター(裏表紙参照)へご連絡ください。

エラーコード	エラータイプ	エラー内容	原因と処置
E−72 01	TOC READ ERROR	TOCデータが読み取れない。	ディスクにひび割れがある。 →ディスクを交換する。
E−83 01 E−83 02 E−83 03	PLAYER ERROR	正常に演奏できないディスクが装着されている。	ディスクが汚れている。 →ディスクをクリーニングする。 他のディスクで正常に動作する場合はディスクに原因があります。
E−83 04	MP3 DECODE ERROR	正常に演奏できないディスクが装着されている。	MP3フォーマットに従っていない。 →MP3フォーマットに従ったディスクに交換する。
E−83 05	DATA FORMAT ERROR		
E−91 01	MECHANICAL TIME OUT	規定時間の内にメカ動作が終了しなかった。	ディスク挿入部に異物が入っている。 →異物を取りのぞく。
E−72 02	WRONG REGION NO.	リージョンナンバーが一致していない。	リージョンナンバーが一致しているか確認する。 リージョンナンバーが一致していない場合、本機では再生できません。

ドットマトリックス部ガイド表示一覧

表示メッセージ	イベント・表示タイミング
LOAD IN	ディスクを挿入した時に表示されます。
END	ディスクの再生が終了した時に表示されます。
EJECT	ディスクの排出動作中に表示されます。
NO DISC	ディスクが未挿入状態の場合に表示されます。
STOP	ストップボタンを押した時に表示されます。
RESUME	レジュームモード中に表示されます。
STILL	NORMAL モードで DVD 再生時のスチル動作中に表示されます。
PLAY	NORMAL モードで DVD 再生中に表示されます。
PAUSE	NORMAL モードで DVD ポーズ中に表示されます。
SEARCH	NORMAL モードで DVD のチャプターサーチまたはタイトルサーチ中に表示されます。
▸▸1、▸▸2、▸▸3	NORMAL モードで DVD の早送り中に速さが表示されます。
◂◂1、◂◂2、◂◂3	NORMAL モードで DVD の早戻し中に速さが表示されます。
CHAPTER LOOP	DVD 再生時にワントラックループを受け付けた時に表示されます。
TRACK LOOP	CD および MP3 再生時にワントラックループを受け付けた時に表示されます。
NO TRACK	MP3 ファイルがない CD-ROM/CD-R/CD-RW を挿入すると表示されます。
DISABLE DJ MODE	DJ モードでDVD再生時、DJ 操作が行えないポイントで操作した時に、表示されます。
NOT VIDEO FORMAT	ビデオフォーマットで記録されていないDVDを再生した時に表示されます。（VR フォーマット、DVD オーディオ、MP3 ファイルがない DVD-ROM/DVR-R/DVD-RW など）
SETUP	テレビ画面にセットアップメニュー画面を表示中に表示されます。
MENU	DVD再生でメニュー、トップメニューを再生中に表示されます。
NO TEXT	対応するテキスト情報がない場合に表示されます。
NORMAL	ＮＯＲＭＡＬ モードで電源を投入した時や、NORMAL/DJ スイッチを NORMAL へ切り換えた時に表示されます。またNORMALモードで動作しないボタンなどを操作した場合にも表示されます。
DJ MODE	DJ モードへ切り換えた時に表示されます。
SD CARD	SD メモリーカード規格に準拠したカードを挿入した時に表示されます。
CDJ CARD	CDJ-1000またはCDJ-1000MK2でフォーマットしたカードを挿入した時に表示されます。
*****DISCS	カード挿入時、記憶されているディスク枚数が上記表示に続けて表示されます。
CARD MEMORY	キューポイントまたはループポイントをメモリーカードへ記憶した時に表示されます。
CANNOT MEMORIZE ON THIS CARD	DVD/MP3 再生時、CDJ-1000 またはCDJ-1000MK2 でフォーマットしたカードを装着して、登録操作を行った場合に表示されます。
CARD FULL	メモリーカードの空き領域が不足している時に表示されます。
CARD PROTECTED	メモリーカードが書き込み禁止状態（LOCK）の時に表示されます。
INTERNAL MEMORY	メモリーカードが正しく装着さていない状態でキューポイントまたはループポイントの登録操作を行った場合に表示されます。
NO CARD	メモリーカードが装着されていない場合に表示されます。
CLOSE CARD DOOR	メモリーカードは装着されているが、メモリーカードドアが閉められていない場合に表示されます。

表示メッセージ	イベント・表示タイミング
UNFORMAT	SD メモリーカード規格に準拠していないカードまたはCDJ-1000、CDJ-1000MK2 形式（MMC）でフォーマットされていないカードが装着されている場合に表示されます。
CARD ERROR	メモリーカードが壊れていると判断した場合に表示されます。
POINT FULL	キューポイントとループポイントの登録総数が、すでに 100 ポイント記録済みの場合に表示されます。
PICTURE IS NOT RECORDED	コピー禁止ディスクのポイントを登録した時に表示されます。
READ ERROR	データが壊れているカードが挿入されている場合に表示されます。
CUE POINT	キューポイントナビでキューポイントデータを選択時に表示されます。
LOOP POINT	キューポイントナビでループポイントデータを選択時に表示されます。
NO POINT	キューポイントナビでポイントデータが記憶されていない場合に表示されます。
CUE Readin	キューポイントナビでキューポイントデータの呼び出し中に表示されます。
LOOP Readin	キューポイントナビでループポイントデータの呼び出し中に表示されます。
HOT A Readin	キューポイントナビからホットキューAへの呼び出し中、またはディスク挿入後のホットキューポイントを再読込中に表示されます。
HOT B Readin	キューポイントナビからホットキューBへの呼び出し中、またはディスク挿入後のホットキューポイントを再読込中に表示されます。
HOT C Readin	キューポイントナビからホットキューCへの呼び出し中、またはディスク挿入後のホットキューポイントを再読込中に表示されます。
COPY-MODE	メモリーカードの複製モードに入ると表示されます。
CARD A IN	複製モードで、コピー元のメモリーカードが未装着の時に表示されます。
READING	複製モードで、コピー元のメモリーカードからデータを読み出し中に表示されます。
CARD B IN	複製モードで、コピー先のメモリーカードが未装着の時に表示されます。
WRITING	複製モードで、コピー先のメモリーカードへデータを書き込み中に表示されます。
COMPLETE	メモリーカードの複製が終了すると表示されます。
CAPACITY ERROR	コピー先のメモリーカード容量が不足している場合に表示されます。
NO DATA	コピー元のメモリーカードにデータが無い場合に表示されます。
DISC DELETE ? PUSH MEMORY	メモリーカードからディスク単位でキューポイント / ループポイントの記憶を消去する場合の確認用に表示されます。
ALL DELETE ? PUSH MEMORY	メモリーカードからすべての情報を消去する場合の確認用に表示されます。
DELETE	メモリーカードの消去動作中に表示されます。
A.CUE-**dB	オートキューレベルを表示します。
AUTO	ビデオ出力のTV方式設定がAUTOモードの時に表示されます。
PAL	ビデオ出力のTV方式設定がPALモードの時に表示されます。
NTSC	ビデオ出力のTV方式設定がNTSCモードの時に表示されます。
factory defaults	すべての設定を出荷時の設定に戻す操作をしたときに表示されます。

仕　様

1. 一般

形式 .... DVDビデオ、CD
電源 .... AC 100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力 .... 36 W
動作温度 .... +5 ℃～+35 ℃
動作湿度 .... 5 %～85 %（結露のないこと）
質量 .... 5.4 kg
最大外形寸法
.... 320 mm（幅）×408 mm（奥行）×109 mm（高さ）

2. 映像出力部

コンポジット出力（2系統）
出力レベル .... 1 Vp-p (75 Ω)
出力端子 .... RCA端子 (1系統)、BNC端子 (1系統)
S1／S2映像出力
Y出力レベル .... 1 Vp-p (75 Ω)
C出力レベル .... 286 mVp-p (75 Ω)(NTSC)
300 mVp-p (75 Ω)(PAL)
出力端子 .... S端子

3. プレビュー映像出力部

コンポジット出力
出力レベル .... 1 Vp-p (75 Ω)
出力端子 .... RCA端子
S1／S2映像出力
Y出力レベル .... 1 Vp-p (75 Ω)
C出力レベル .... 286 mVp-p (75 Ω)(NTSC)
300 mVp-p (75 Ω)(PAL)
出力端子 .... S端子

4. 音声出力部

音声出力（2チャンネル）
音声出力レベル .... 2.0 Vrms (1 kHz、0 dB)
チャンネル数 2
出力端子 .... RCA端子
デジタル音声出力特性
周波数特性 (CD) .... 4 Hz ～ 20 kHz
周波数特性 (DVD (96 kHz)) .... 4 Hz ～ 44 kHz
S／N比 .... 115 dB 以上（JEITA）
全高調波歪率 .... 0.004 %（JEITA）
デジタル出力
同軸デジタル出力 .... RCA端子

5. その他の端子

コントロール端子 .... ミニジャック (φ3.5)
同期入力端子 .... BNC端子

6. 付属品

- 電源コード 1
- オーディオケーブル 1
- ビデオケーブル 1
- コントロールコード 1
- 強制イジェクトピン（本体底面に装着） 1
- 取扱説明書 1
- 保証書 1
- ご相談窓口・修理窓口のご案内 1

上記の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされております。
営利的目的での（収益の発生するような）、実際の放送（地上波放送・衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送）、インターネットやイントラネット（企業内ネット）あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またその他の電子的情報を提供するシステム（音楽の有料配信など）のためにはライセンスされておりません。
このような使用には個別にライセンスを取得する必要があります。
詳しくは**http://www.mp3licensing.com** をご参照ください。

Fraunhofer Institut
Integrierte Schaltungen

MPEG レイヤー 3 によるオーディオ圧縮技術は、Fraunhofer IIS および Thomson Multimedia によりライセンス供与されます。

保証とアフターサービスについて

保証書（別に添付してあります）について

保証書は、必ず「取扱店名・購入日」等の記入を確かめ取扱店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間と保証内容について

● **保証期間について**
保証期間は、取扱説明書の注意に従った使用で、ご購入日より1年間です。

● **次のような場合には保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、性能、動作の保証をいたしません。また、故障した場合の修理についてもお受けいたしかねます。**
本機を改造して使用した場合、不正使用や使用上の誤りの場合または他社製品や純正以外の付属品と組み合わせて使用したときに、動作異常などの原因が本機以外にあった場合。

● **故障、故障の修理その他にともなう営業上の機会損失（逸失利益）は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず補償いたしかねますのでご了承ください。**

補修用性能部品の保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後8年間保有しています。

修理を依頼されるとき

本書の「故障かな？と思ったら」をお読みいただき、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しないときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

● **保証期間中は**
万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社無料修理規定に基づき修理いたします。お求めの販売店またはパイオニア修理受付センター（裏表紙参照）にご相談ください。保証書の規定に従って修理致します。

連絡していただきたい内容
- ご住所 ・ ご氏名 ・ 電話番号
- 製品名 ・ 型番 ・ ご購入日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- 訪問先までの道順と目標（建物、公園など）

● **保証期間が過ぎているときは**
お求めの販売店またはパイオニア修理受付センターにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

メモリーカードに記憶されたデータについて

**メモリーカードの取り扱いについては、お客様の管理の元で定期的に複製を作ることをお勧めします。
万一、本機やメモリーカードの不都合または静電気など外的要因などによってメモリーカード内のデータが破壊・消失した場合、データの補償やそれに付随する損害については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。**

ご相談窓口・修理窓口のご案内

パイオニア製品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。
なお、修理を依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな？と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名　②ご購入日　③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

＜下記窓口へお問い合わせの時のご注意＞
市外局番「0120」で始まる フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

商品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

■ **テクニカルサポートセンター**（フリーダイヤル）
受付　月曜～金曜　10：00 ～ 18：00、土曜・日曜・祝日　10：00 ～ 12：00、13：00 ～ 17：00　（弊社休業日は除く）

▽ DJ機器のご相談窓口　電話（フリーダイヤル）　**0120-545-676**
ファックス　**03-3763-9503**

▽ インターネットホームページ　*http://pioneer.jp/support/*
※ 商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

部品のご購入についてのご相談窓口

部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入については、部品受注センターへお問い合わせください。

■ **部品受注センター**
受付　月曜～金曜　9：30 ～ 18：00、土曜・日曜・祝日　9：30 ～ 12：00、13：00 ～ 18：00　（弊社休業日は除く）

電話（フリーダイヤル）　**0120-5-81095**
一般電話　**0538-43-1161**
ファックス（フリーダイヤル）　**0120-5-81096**

修理についてのご相談窓口

お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合は、修理受付センターへ（沖縄県の方は、沖縄サービスステーションへ）

■ **修理受付センター**（沖縄県を除く全国）
受付　月曜～金曜　9：30 ～ 19：00、土曜・日曜・祝日　9：30 ～ 12：00、13：00 ～ 18：00　（弊社休業日は除く）

電話（フリーダイヤル）　**0120-5-81028**（ゴーバイオニア）
一般電話　**03-5496-2023**
ファックス（フリーダイヤル）　**0120-5-81029**

▽ インターネットホームページ　*http://pioneer.jp/support/repair.html*
※ インターネットによる修理受付対象品は、家庭用オーディオ／ビジュアル商品に限ります。

■ **沖縄サービスステーション**（沖縄県のみ）
受付　月曜～金曜　9：30 ～ 18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

一般電話　**098-879-1910**
ファックス　**098-879-1352**

愛情点検

長年ご使用の製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか?
◆ 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
◆ 電源コードにさけめやひび割れがある。
◆ 電源が入ったり切れたりする。
◆ 本体から異常な音、熱、臭いがする。

⇩

すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、故障や事故防止のため電気店または当社修理受付センターに点検（有料）をご依頼ください。

パイオニア株式会社　〒153-8654　東京都目黒区目黒1丁目4番1号

Printed in Japan　<DRA1415-A>